DENON

パーソナル オーディオ システム

D-MX33MD
D-MX11

取扱説明書

安全にお使いいただくためにー必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

はじめに

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

絵表示について　この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害のみの発生が想定される内容を示しています。

【絵表示の例】

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

警告

■安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

電源プラグをコンセントから抜け

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

内部に異物を入れない

ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

水が入ったり、濡らしたりしないように

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

キャビネット（天板・裏ぶた）を外したり、改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 警告 つづき

■安全上お守りいただきたいこと

ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

ACアウトレットのご使用は表示供給電力内で

接続する装置の消費電力の合計が表示供給電力を超えないようにしてください。火災の原因となります。
また供給電力内であっても、電源を入れたときに大電流の流れる機器（電熱器具・ヘアードライヤー・電磁調理器など）は接続しないでください。

雷が鳴り出したら

電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

乾電池は充電しない

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

落としたり、キャビネットを破損した場合は

まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■取り扱いについて

風呂・シャワー室では使用しない

水場での使用禁止

火災・感電の原因となります。

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

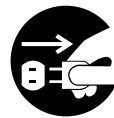
■安全上お守りいただきたいこと

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。
差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。
また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。
発熱し、火災の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

注意 つづき

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

CD挿入口やMD挿入口に手を入れない

手を挟まれないように注意

特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。
万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

指のケガに注意

レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

電池を交換する場合は

極性表示に注意し、表示通りに正しく入れてください。間違えますと電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

■置き場所について

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど、高温になるところ

壁や他の機器から少し離して設置する

壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意 つづき

■取り扱いについて

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 仰向けや横倒しし、逆さまにする
- 押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたんや布団の上に置いて使用する

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

重いものをのせない

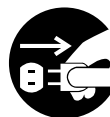
機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

移動させる場合は

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■使わないときは

長時間の外出・旅行の場合は

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

■お手入れについて

お手入れの際は

安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。

5年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。
なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

取り扱い上のご注意

結露現象について

■ 結露とは

冬期に暖房をした部屋の窓ガラスに水滴がつくような現象をいいます。

■ 結露が起こる条件は

冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、本機内部の動作部に露がつき、正常に動作しなくなることがあります。

結露は、夏にエアコンの風が直接当たるところでも起こることがあります。その場合には本機の設置場所を変えてください。

■ 結露後の処置は

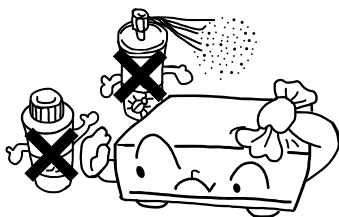
◎結露が起こった場合は、電源を入れてしばらく放置しておいてください。周囲の状況によって異なりますが、1～2時間で使用できるようになります。

◎ディスクに露が付いている場合がありますので、きれいに拭き取ってください。

お手入れについて

■ キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、柔らかい布を使用して軽く拭き取ってください。

◎化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますので使用しないでください。

メモ

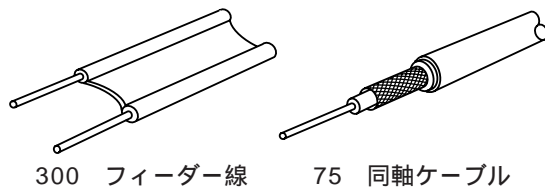
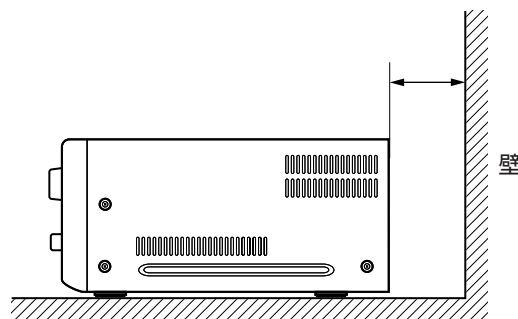
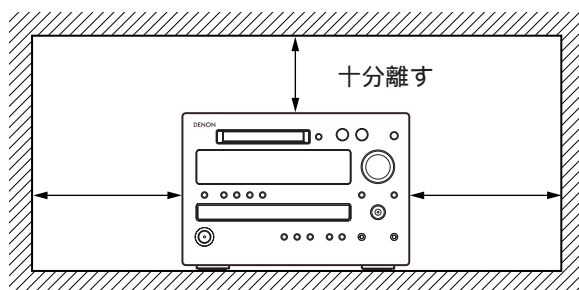
- 本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので、実物とは異なる場合があります。

設置の際のご注意

■ 本機やマイコンを搭載した電子機器をチューナーやテレビと同時に使用する場合、チューナーやテレビの音声や映像に、雑音や画面の乱れが生じることがあります。このような場合には次の点に注意してください。

◎本機をチューナーやテレビからできるだけ離してください。

◎チューナーやテレビのアンテナ線を本機の電源コードおよび入出力などの接続コードから離して設置してください。

◎特に室内アンテナや300Ωフィーダー線をご使用の場合に起こりやすいので、屋外アンテナおよび75Ω同軸ケーブルのご使用をおすすめします。

■ 放熱のため、本機の天面、後面および両側面と壁や他のAV機器などとは十分離して設置してください。（下図参照）

携帯電話使用時のご注意

■ 本機の近くで携帯電話を使用すると、雑音（ノイズ）が入ることがあります。携帯電話は本機から離れた位置でお使いください。

換気についてのご注意

■ 本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

その他のご注意

■ 説明のためのイラストは、原型と異なる場合があります。

■ 取扱説明書を保存してください。
この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保存してください。また、裏表紙の記入欄に必要事項を記入しておくと便利です。

使わないときは

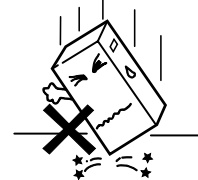
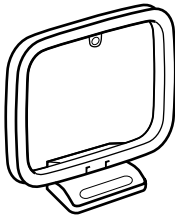
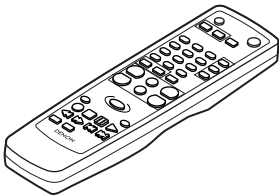
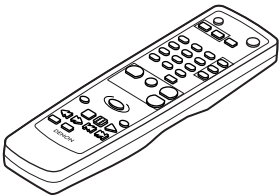
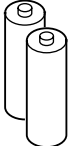
■ ふだん使わないとき

◎電源を切ってください。

◎外出やご旅行の場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ 移動させるとき

◎衝撃を与えないでください。

◎MDやCDを取り出し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、他のオーディオ機器との接続コードなどを外したことを確認してから移動させてください。
ディスクをセットしたまま移動させると、ディスクが本機の内部に脱落して故障の原因になることがあります。

ステレオ音のエチケット

◎楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。

◎隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。

◎ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。

◎特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

◎窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

◎お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

付属品について

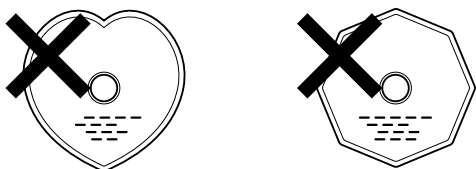
本体とは別に下記の付属品がついています。ご使用の前にご確認ください。

FMアンテナ　1本	AMループアンテナ　1個	スピーカーケーブル　2本 （スピーカー部に付属）
【D-MX33MD】 リモコン（RC-1012）　1個	【D-MX11】 リモコン（RC-1086）　1個	単4形乾電池　2本
取扱説明書（本書）　1冊	製品のご相談と 修理・サービス窓口一覧表　1枚	保証書（本体部の梱包箱に貼り付けられています。）

※本体部とスピーカー部は別梱包になっています。

CDの取り扱いとご注意

CDについて

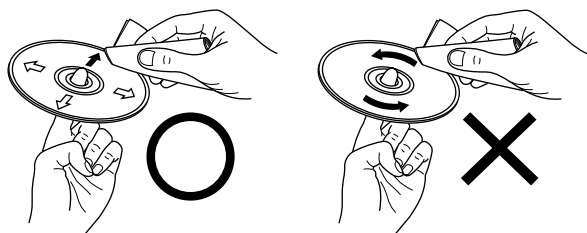
本機では、右のマークが入ったCDをご使用ください。
但し、ハート型や八角形など特殊形状のCDは再生できません。機器の故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

CDの持ちかた

CDをセットしたり取り出すときは、できるだけ表面を触らないようにしてください。

信号記録面（虹色に光っている面）には、指紋などを付けないようにしてください。

CDのお手入れのしかた

■ CDに指紋や汚れが付いたときは、汚れを拭き取ってから使用してください。CDの信号には影響しませんが、音質が低下したり音が途切れることがあります。

■ 拭き取るには、市販のディスククリーニングセットまたは柔らかい布などをご使用ください。

内周から外周方向へ軽く拭く。

円周に沿っては拭かない。

ご注意

レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品も使用しないでください。

取り扱いについてのご注意

- 指紋、油、ゴミなどを付けないでください。
- 表面に傷を付けないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。
- 曲げたりしないでください。
- 熱を加えないでください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書かないでください。
- 屋外などの寒い場所から急に暖かい場所へ移すと表面に水滴が付くことがありますが、ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。

保存についてのご注意

- 再生後は必ずCDを取り出してください。
- ほこり、傷、変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。
- 次のような場所には置かないでください。
  1．直射日光が長時間当たるところ
  2．湿気、ほこりなどが多いところ
  3．暖房器具などの熱が当たるところ

CDをセットする際のご注意

- CDは1枚だけセットしてください。2枚以上重ねてセットしますと故障の原因になり、CDを傷付けることにもなります。
- 8cm CDは、確実にディスクガイド（凹部）に合わせてセットしてください。正しくセットしないとCDが脱落し、ディスクホルダーが開かなくなる場合があります。
- ディスクホルダーが引き込まれるときに、指を挟まないように注意してください。
- CD以外のものをディスクトレイに載せないでください。
- ひび割れ、変形または接着剤などで補修したCDは使用しないでください。
- CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものは使用しないでください。そのまま使用しますと、CDが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

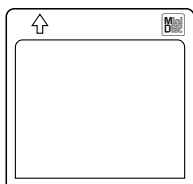
CD-R/RW ディスクについて

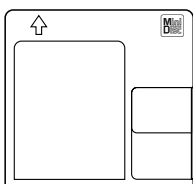
CD-R/RW ディスクは傷や汚れ、および記録状態や記録機器の特性により演奏できない場合があります。また、ファイナライズされていないディスクは演奏できません。

MDの取り扱いとご注意（D-MX33MDのみ）

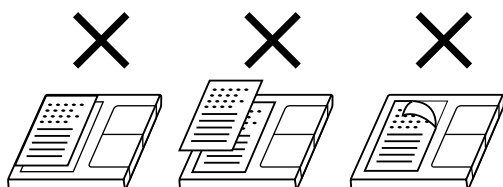
- MDには、再生専用MDと再生/録音用MDがあります。
- 本機で再生/録音できるMDは右のマークがついているものです。

再生専用MD

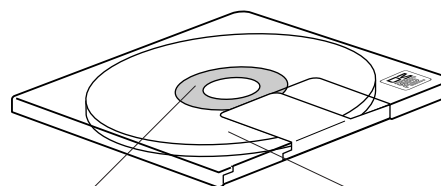
- 再生のみが可能なMDで、市販のミュージックMDソフトはこのタイプです。
- 再生専用MDは、CDと同じ光ディスクです。
- 曲の編集などはおこなえません。

再生/録音用MD

- 再生/録音が可能なMDで光磁気ディスクを使用しており、磁界変調方式で録音をおこないます。
- 書き替えも可能です。

取り扱いについてのご注意

MDはカートリッジの中にディスクが収納されているため、汚れや傷を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。しかしカートリッジの汚れやソリなどが誤動作の原因になることもあります。
次のことに注意してください。

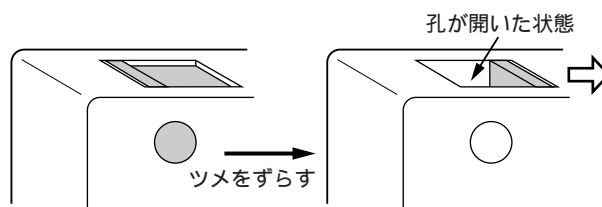
◎ディスク面に直接触れないでください。
◎シャッターを手で開けないでください。
◎ほこりやチリ、湿気の多いところには置かないでください。
◎直射日光が当たるところなど温度の高いところには置かないでください。
◎カートリッジにラベルを貼り付けるときは、必ず次のことをお守りください。
正しく貼り付けないと、MDが内部につまって取り出せなくなることがあります。

- ラベルは指定の場所（エリア内）に正しく貼ってください。（指定エリア以外には貼り付けないでください。）
- ラベルを重ねて貼り付けないでください。
- ラベルがめくれたり、浮いたりしているときは、新しいラベルに貼り替えて使用してください。

MDの書き込みについて

MDには曲や音声を録音する部分と、曲番や曲名などの情報を記録する部分があります。

■ TOC（トック）とは

MDには曲や音声とともに曲番、曲名や録音場所など曲を認識するための目次情報（TOC：Table of Contents）が記録されます。再生するときはこのTOCを手がかりにします。また、曲の編集はTOCを書き替えることによっておこなわれます。
このTOCは、編集の後にMD取り出しボタン（⏏）を押してMDを排出する操作と、電源操作ボタンを押して電源をスタンバイ状態にする操作をしたときにMDに書き込まれます。またTOCは録音が終わったときや録音を途中で止めるために停止ボタン（■）を押したときにもMDに書き込まれます。
書き込みをはじめると、“ TOC ” 表示が点滅します。このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。録音した情報が記録されません。

誤録音/誤消去防止ツメについて

再生/録音用MDには誤録音や誤消去を防止するためのツメが付いています。
録音した内容を誤って消さないために、このツメをずらして孔を開けた状態にしてください。（下図参照）この状態にすることで録音や消去などの編集ができなくなり、録音内容を保護することができます。
再び録音や消去などの編集をおこなう場合は、ツメを元に戻して孔を閉じてください。

お手入れについて

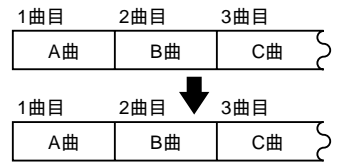
カートリッジの汚れやほこりなどは無理な力を加えないで、乾いた布で拭き取ってください。

曲番について

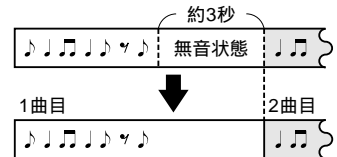
MDに曲や音声を録音すると、自動的に曲番が付けられます。追加録音したときは順に曲番が上がります。

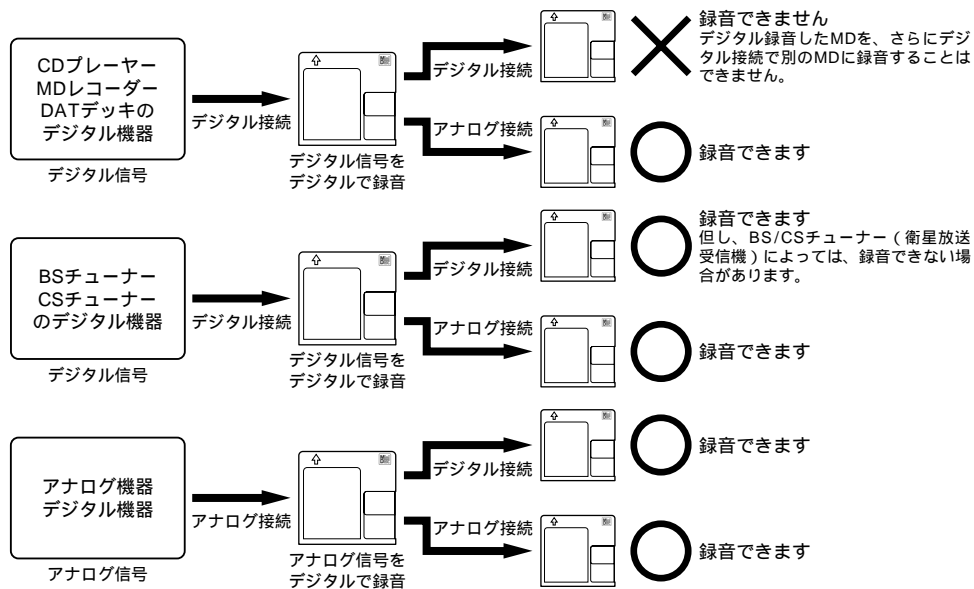
■ デジタル（CD）でMDに録音したとき

CDについている曲番と同じところに、1曲ごとの曲番が自動的に付きます。

- CDからMDに録音したときにCDの曲番と録音されたMDの曲番が一致しないことがあります。

■ アナログ（TUNER、AUX、TAPE、PORTABEL）でMDに録音したとき

オートトラックマーク機能がオンのとき、約3秒以上の無音部分を曲間として、曲番が自動的に付きます。

- 信号に雑音があるときなど録音する内容によっては、正しい位置に曲番が付かないこともあります。
- オートトラックマーク機能をオフにすることもできます。(☞ 39ページ)
- 手動で曲番を付加することもできます。(☞ 39ページ)

デジタルコピーについて

デジタル入力でCDなどを録音したMDをさらに別のMDやDATなどにデジタル録音（コピー）することはできません。これは、SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）により定められた規格です。

- 他の機器でデジタル信号をデジタル録音されたCD-R/RWは、本機ではアナログで録音することができます。(☞ 41〜45ページ)

各部の名前

各部のはたらきなど詳しい説明については（　）内のページを参照してください。

フロントパネル

1 **電源ボタン（ON/STANDBY）**
（ ☞ 21ページ）

2 **ラインボタン（LINE）**
（ ☞ 67、70ページ）

3 **FM/AMボタン（FM/AM）**
（ ☞ 32ページ）

4 **【チューナーファンクション】**
チューニングボタン（ ∨ , ∧ ）
（ ☞ 32ページ）

【CD/MDファンクション】
マニュアルサーチボタン（◄◄, ►►）
（ ☞ 28、31ページ）

5 **シンクロ録音（オールトラック）ボタン**
（SRS ALL TRACK） （ ☞ 42ページ）

6 **シンクロ録音（任意の1トラック）ボタン**
（SRS 1 TRACK） （ ☞ 44ページ）

7 **MD録音ボタン（MULTI REC）**
（ ☞ 39、41、45、49、70ページ）

8 **編集ボタン（EDIT）** （ ☞ 51、55ページ）

9 **タイトル/キャラクタボタン**
（TITLE/CHARA） （ ☞30、55、57ページ）

10 **ポータブル入力端子（PORTABLE IN）**
（ ☞ 67ページ）

11 **マルチジョグダイヤル（MULTI JOG）**
エンター/プログラムボタン
（PUSH ENTER/PROG）（ ☞22、35ページ）
【チューナーファンクション】
プリセットボタン（−, +） （☞ 33ページ）
【CD/MDファンクション】
オートマチックサーチボタン
（I◄◄, ►►I） （ ☞ 28、31ページ）
【各モード設定】
マルチジョグダイヤル （ ☞ 23ページ）

12 **ヘッドホン端子（PHONES）**
（ ☞ 23ページ）

13 **設定ボタン（SET）**
（ ☞ 24、33、36、74ページ）

14 **CD開閉ボタン（⏏）** （ ☞ 27ページ）

15 **音量調節つまみ（VOLUME）** （ ☞ 22ページ）

16 **リモコン受光部** （ ☞ 17ページ）

17 **停止ボタン（■）** （ ☞ 27、30ページ）

18 **CD再生/一時停止ボタン**
（CD ►/II） （ ☞ 27ページ）

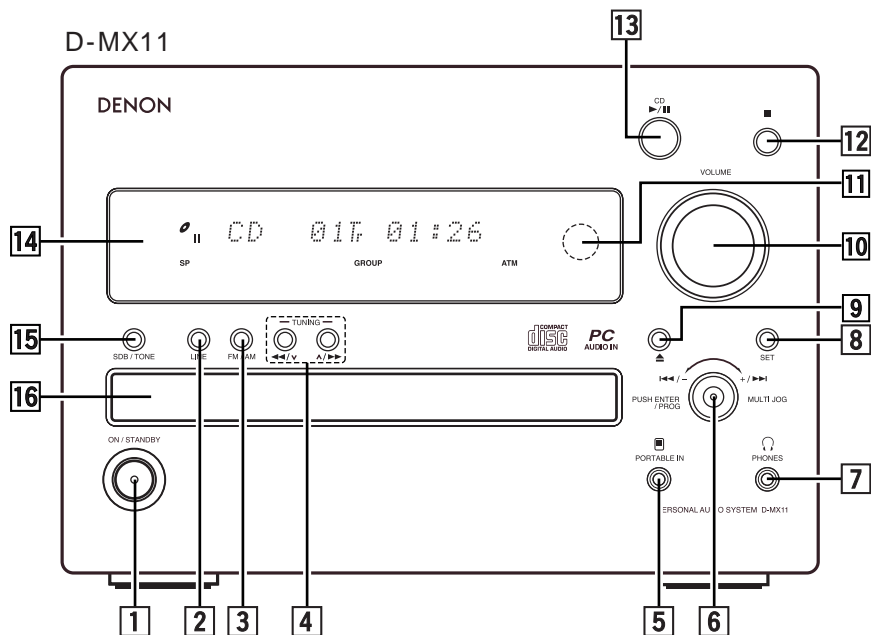
19 **MD再生/一時停止ボタン**
（MD ►/II） （ ☞ 30ページ）

20 **MD取り出しボタン（⏏）** （ ☞ 30ページ）

21 **MD挿入口** （ ☞ 30ページ）

22 **ディスプレイ** （ ☞ 16ページ）

23 **重低音/音質ボタン**
（SDB/TONE） （ ☞ 22ページ）

24 **ディスクホルダー** （ ☞27ページ）

1 **電源ボタン（ON/STANDBY）** （☞ 21ページ）

2 **ラインボタン（LINE）** （☞ 67、70ページ）

3 **FM/AMボタン（FM/AM）** （☞ 32ページ）

4 **【チューナーファンクション】**
チューニングボタン（∨, ∧） （☞ 32ページ）

【CDファンクション】
マニュアルサーチボタン（◄◄, ►►） （☞ 28、31ページ）

5 **ポータブル入力端子（PORTABLE IN）** （☞ 67ページ）

6 **マルチジョグダイヤル（MULTI JOG）**
エンター/プログラムボタン
（PUSH ENTER/PROG） （☞ 22、35ページ）
【チューナーファンクション】
プリセットボタン（−, ＋） （☞ 33ページ）
【CD/MDファンクション】
オートマチックサーチボタン
（I◄◄, ►►I） （☞ 28、31ページ）
【各モード設定】
マルチジョグダイヤル （☞ 23ページ）

7 **ヘッドホン端子（PHONES）** （☞ 23ページ）

8 **設定ボタン（SET）** （☞ 24、33、36、74ページ）

9 **CD開閉ボタン（⏏）** （☞ 27ページ）

10 **音量調節つまみ（VOLUME）** （☞ 22ページ）

11 **リモコン受光部** （☞ 17ページ）

12 **停止ボタン（■）** （☞ 27、30ページ）

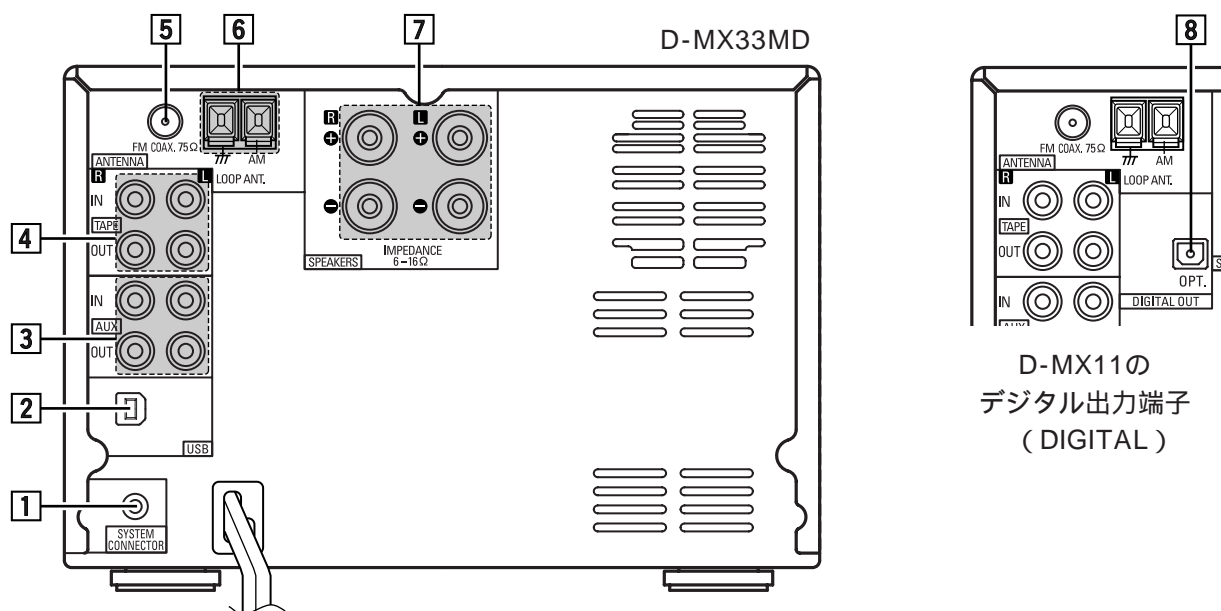
13 **CD再生/一時停止ボタン**
（CD ►/II） （☞ 27ページ）

14 **ディスプレイ** （☞ 16ページ）

15 **重低音/音質ボタン**
（SDB/TONE） （☞ 22ページ）

16 **ディスクホルダー** （☞27ページ）

リアパネル

D-MX11の
デジタル出力端子
（DIGITAL）

1 **システム端子（SYSTEM CONNECTOR）**
（☞ 68、69ページ）

2 **USB端子**
（☞ 71ページ）

3 **外部機器入出力端子（AUX）**
（☞ 68、69ページ）

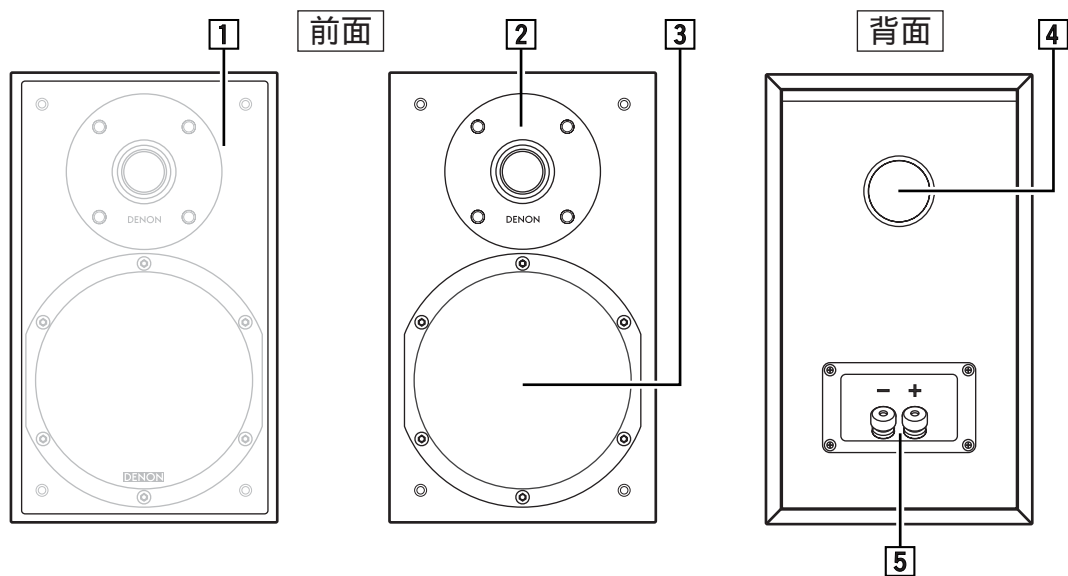
4 **カセットデッキ入出力端子（TAPE）**
（☞ 68、69ページ）

5 **FMアンテナ端子（FM）**
（☞ 18、19ページ）

6 **AMアンテナ端子（AM）**
（☞ 18、19ページ）

7 **スピーカー端子（SPEAKERS）**
（☞ 20ページ）

8 **デジタル出力端子（DIGITAL OUT）（D-MX11のみ）**
（☞ 68、69ページ）

スピーカー

1 スピーカーネット（着脱式）

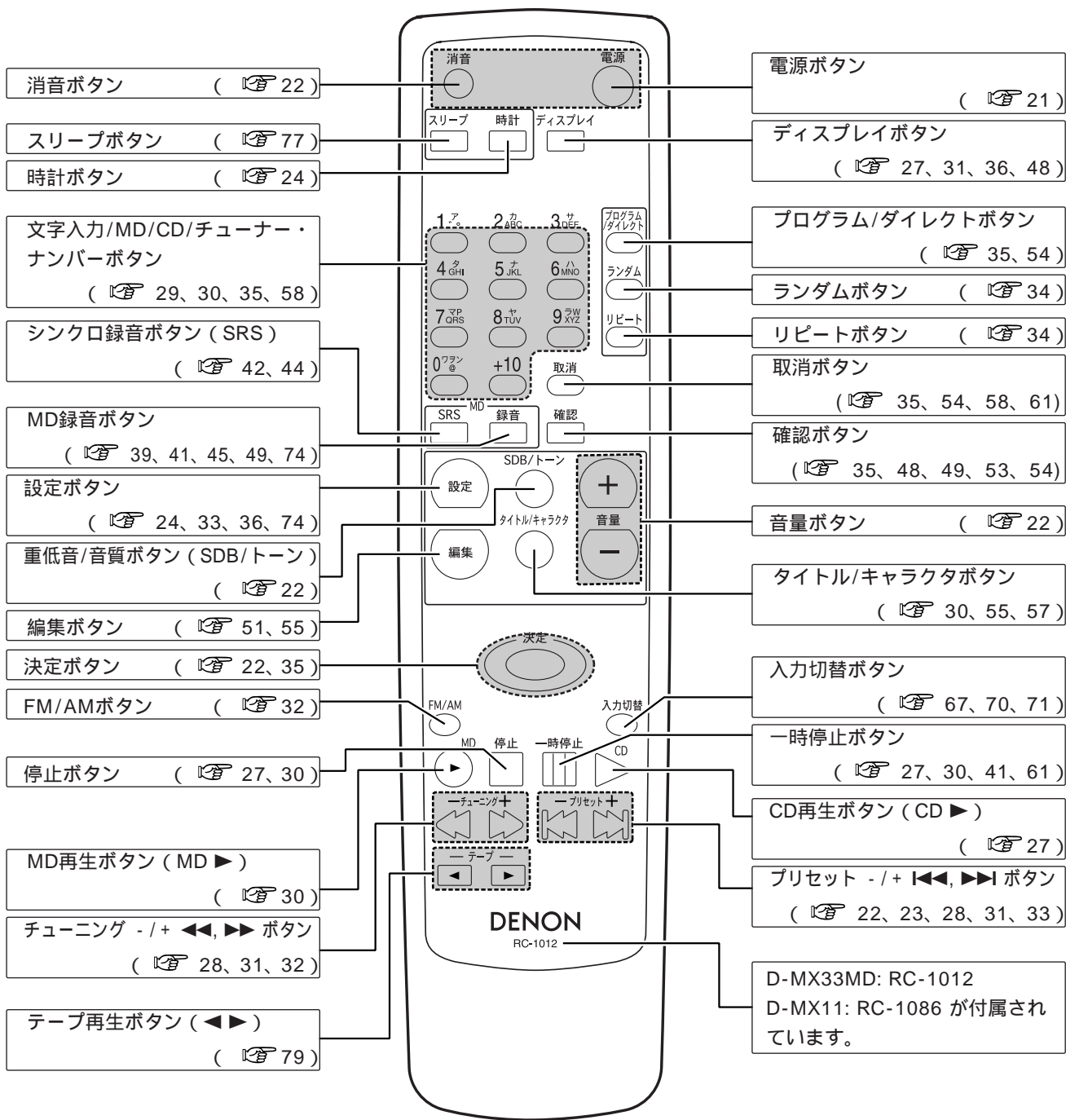
2 ツィーター

3 ウーハー

4 バスレフダクト

5 スピーカー接続端子

リモコン

◎は、リモコンだけの操作ボタンです。
※は、D-MX33MDのみの操作ボタンです。

ディスプレイ

ディスプレイの明るさは、3段階に調節できます。（☞ 25ページ）
※は、D-MX33MDのみです。

※1 **SP LP24表示**
- 録音モードを点灯します。
  MD再生時は、再生しているMDの録音モードを表示します。

※2 **HI-SPEED表示**
- 高速録音のときに点灯します。

※3 **PICK REC表示**
- ピックレック中に点灯または点滅します。

※4 **TOC表示**
- 録音、消去およびタイトル入力などの編集操作がおこなわれ、MDの内容が変更されているときに点灯または点滅します。

5 **リピート表示、録音状態表示**
- リピート再生
  ・全曲リピート：　ALL REPEAT
  ・1曲リピート：　1 REPEAT
- MD録音状態のとき：
  ●が点滅する。（D-MX33MDのみ）
- シンクロ録音（D-MX33MDのみ）
  ・全曲シンクロ録音：　SRS ALL
  ・1曲シンクロ録音：　SRS 1

6 **PROGRAM表示**
- プログラム選曲時に点灯します。

7 **TOTAL REMAIN表示**
- CDやMDの再生中にディスプレイボタンを押すと点灯し、曲の残時間や経過時間などが確認できます。
  また、MD停止時に押すと録音可能時間を表示します。
  （録音可能時間の表示は、D-MX33MDのみです。）

8 **TUNED表示**
- 正しく同調したときに点灯します。

9 **RANDOM表示**
- ランダム再生のときに点灯します。

10 **AUTO ST MONO表示**
- FMステレオ受信モードの状態を表示します。

※11 **1-GROUP表示**
GROUP：　グループモードがオンのときに点灯します。
1-GROUP：　1-GROUP再生モードのときに点灯します。

※12 **録音レベル表示**
- 録音レベル調整モードのときに点灯します。

13 **MEMO表示**
- 放送局をメモリーするときにエンター/プログラムボタンを押すと点灯します。

※14 **DIGITAL ANALOG表示**
- 録音状態（DIGITAL/ANALOG）を表示します。

15 **TONE表示**
- BASS、TREBLEレベルが調節されているときに点灯します。

16 **SDB表示**
- SDBモードがオンのときに点灯します。

17 **SLEEP表示**
- スリープ動作中に点灯します。

18 **モード表示**
- セットモード、エディットモード（D-MX33MDのみ）に入っているときに点滅します。

※19 **ATM表示**
- オートトラックマーク機能がオンのときに点灯します。

※20 **タイマー録音表示**
- タイマー動作がオンのとき点灯します。

21 **PRESET表示**
- 放送局をプリセットするときにエンター/プログラムボタンを押すと点灯します。

22 **インフォメーションディスプレイ**
- 受信バンド、受信周波数、時計およびタイマーの時刻を表示します。
- CDの曲数、曲番、再生時間、各種動作内容を表示します。
- MDの曲数、曲番、再生時間、タイトル、各種動作内容、メッセージなどを表示します。（D-MX33MDのみ）
- 録音レベル調整モードのとき、レベルメーターとなります。（D-MX33MDのみ）

※23 **グループ表示**
- グループ登録されているMDを入れると点灯します。

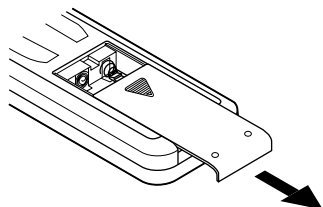
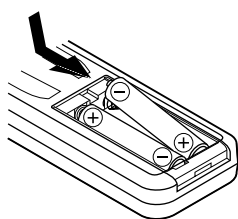
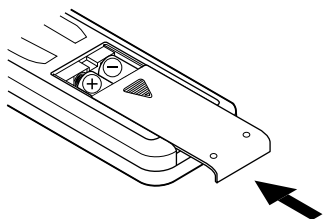
24 **CD, MD表示**
- CDやMDがセットされているときに点灯し、再生のときは点滅します。CDをMDに録音しているときは矢印が点灯します。（D-MX33MDのみ）

25 **プレイモード表示**
- CDやMDの再生時は“ ▶ ”表示が点灯し、一時停止時は“ ❚❚ ”表示を点灯します。

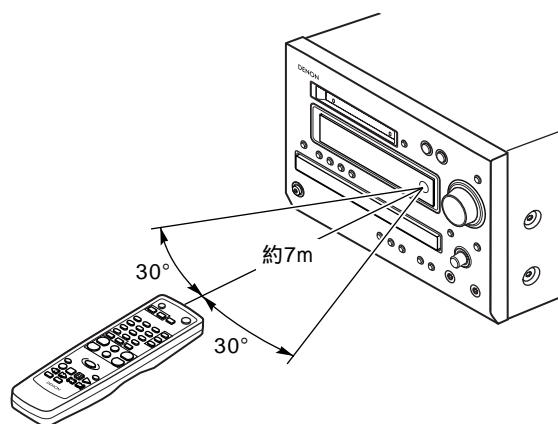
リモコンについて

付属のリモコン（RC-1012またはRC-1086）を使用すると、離れたところから本機をコントロールすることができます。

乾電池の入れかた

① リモコンの裏ぶたを外してください。

② 単4形乾電池（2本）をそれぞれ乾電池収納部の表示通りに入れてください。

③ 裏ぶたを元通りにしてください。

乾電池についてのご注意

- リモコンには単4形乾電池をご使用ください。
- リモコンの使用回数にもよりますが、乾電池は約1年毎に新しいものと交換してください。
- 1年経っていなくても、リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。（付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。）
- 乾電池を入れるときは、リモコンの乾電池収納部の表示通りに、⊕側・⊖側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - ・新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - ・違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - ・乾電池をショートさせたり、分解や加熱、または火に投入したりしないでください。
- リモコンを長時間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

リモコンの使いかた

- リモコンは、図のようにリモコン受光部に向けて使用してください。
- 直線距離では約7m離れたところまで使用できますが、障害物があったり、リモコン受光部に向いていませんと受信距離は短くなります。
- リモコン受光部を基準にして左右30 °までの範囲で操作できます。

ご注意

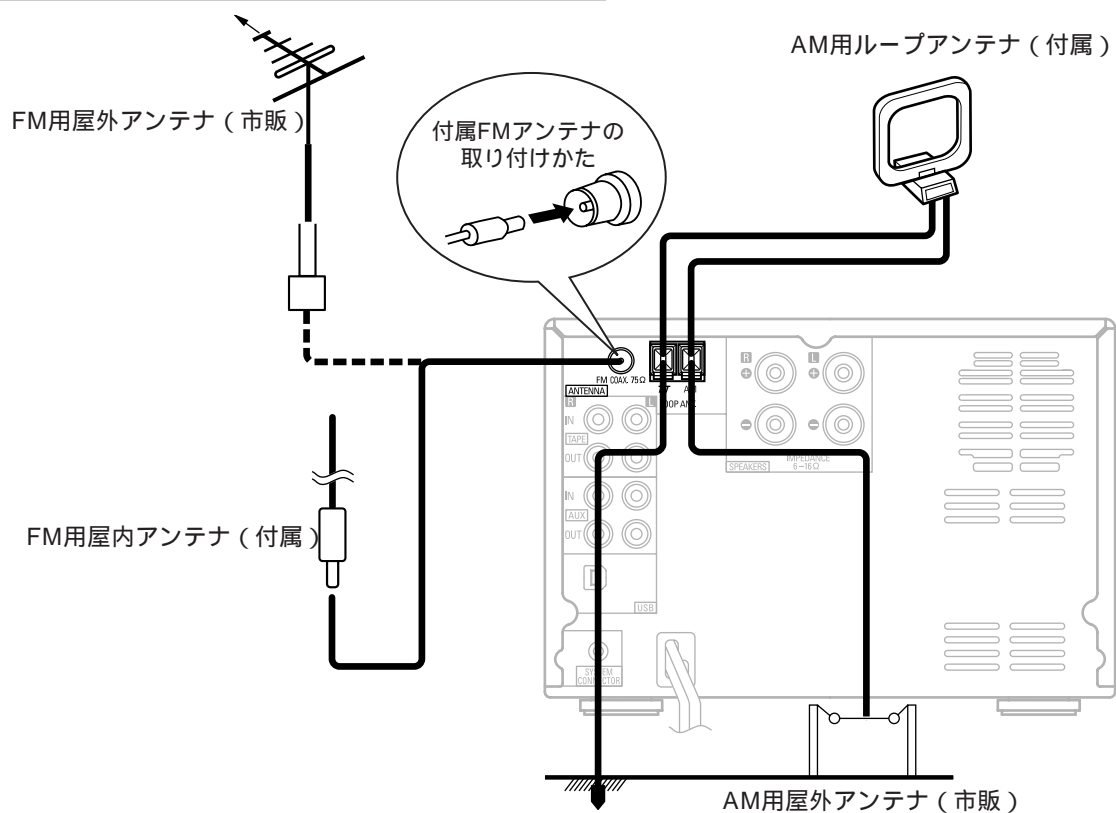
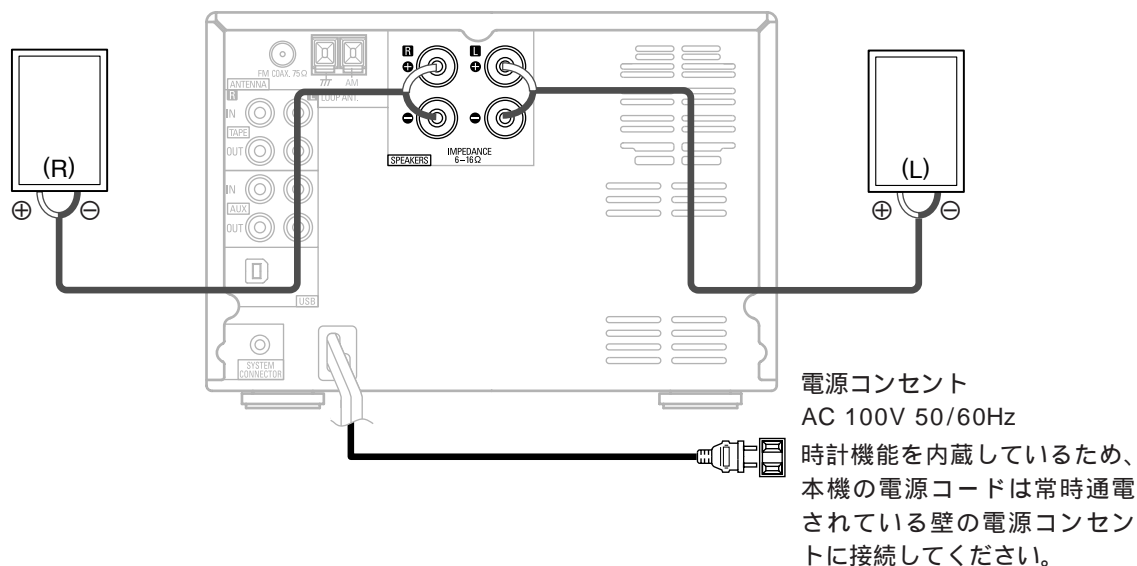
- リモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。
- 本機とリモコンの操作ボタンを同時に押さないでください。誤動作の原因になります。

接続

接続のしかた

アンテナ端子

スピーカー端子、電源コンセント

電源コンセント
AC 100V 50/60Hz
時計機能を内蔵しているため、本機の電源コードは常時通電されている壁の電源コンセントに接続してください。

スピーカーシステムの接続

左チャンネル（L側）のスピーカーシステムをL端子に、右チャンネル（R側）のスピーカーシステムをR端子に接続します。スピーカーは必ずインピーダンスが6Ω以上のものを使用してください。
(☞ 20ページ)

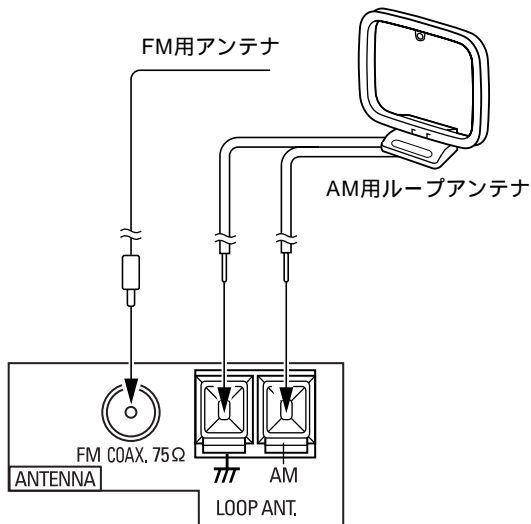
メモ

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないようにしてください。
- 接続コードは確実に差し込んでください。
  不完全な接続は雑音発生の原因になります。

ご注意

- ガス管に接続して大地アースをとるのは、大変危険ですのでおやめください。

FM用屋内アンテナの設置方法

FM放送を受信（☞ 32ページ）し、音を聞きながら歪みや雑音の最も少ない位置にアンテナの先端をテープや押しピンなどで固定してください。
付属のFM用アンテナは電波が十分強い場所などでの一時的な受信のためのものです。良好な受信のためには、FM用屋外アンテナを使用した75Ω同軸ケーブルの接続をおすすめします。

FM用屋外アンテナのつなぎかた

付属のFM用アンテナで放送がきれいに受信できないときはFM用屋外アンテナを使用し、同軸ケーブルに市販の変換アダプターをつないで、本機のFMアンテナ端子（FM COAX. 75Ω）に接続してください。

屋外アンテナを立てる場所について

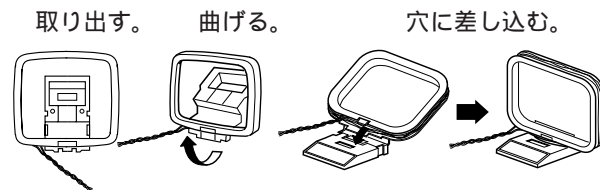
- 放送局の送信アンテナがある方向に立てます。
- ビルや山のかげなどでは、最も良く受信できるところに立てて方向を変えてください。
- 送電線の下には立てないでください。送電線がアンテナに触れると大変危険です。
- 自動車や電車の雑音が入らないよう、道路や線路から離れたところへ立ててください。
- 落雷の恐れがありますので、あまり高いところには立てないでください。

AM用ループアンテナの設置方法

AM放送を受信（☞ 32ページ）し、音を聞きながら本機からできるだけ離して歪みや雑音の最も少ない位置に設置してください。接続の極性を逆にした方が良い場合もあります。
AM用ループアンテナを接続しなかったり、また接続しても金属部分に接近していますと、AM放送を良好に受信することができません。

AM用ループアンテナの組み立てかた

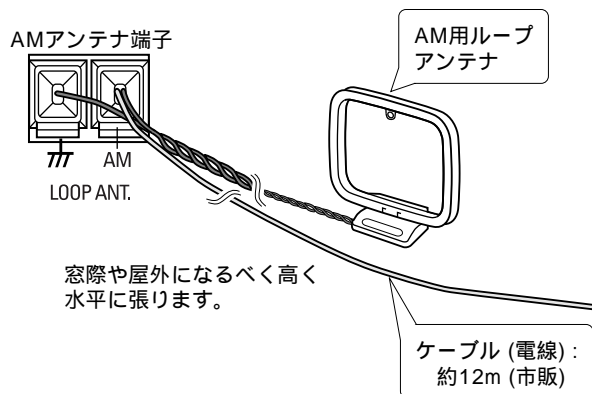
AM用ループアンテナをアンテナスタンド部に挿入して下図のように組み立ててください。

① 取り出す。 ② 曲げる。 ③ 穴に差し込む。

AM用ループアンテナのつなぎかた

付属のAM用ループアンテナを図のようにアンテナターミナルに接続してください。

① レバーを倒します。 ② アンテナ線を差し込みます。 ③ レバーを戻します。

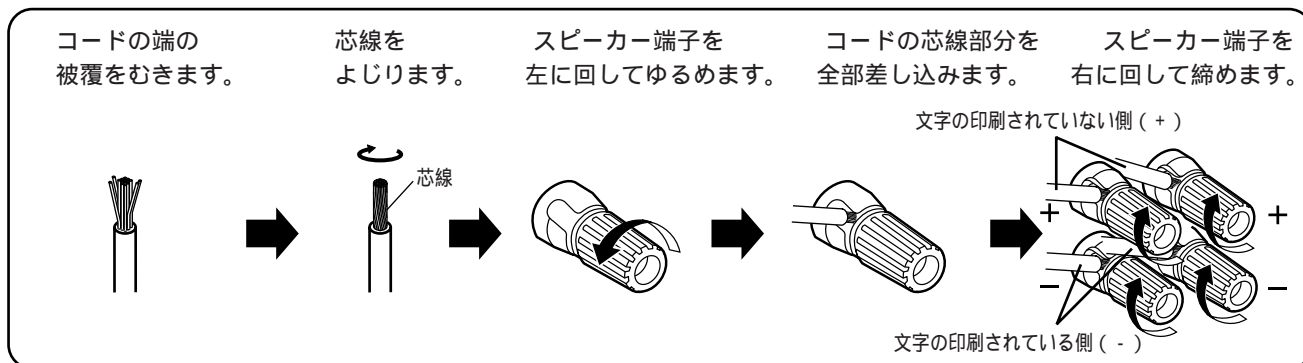
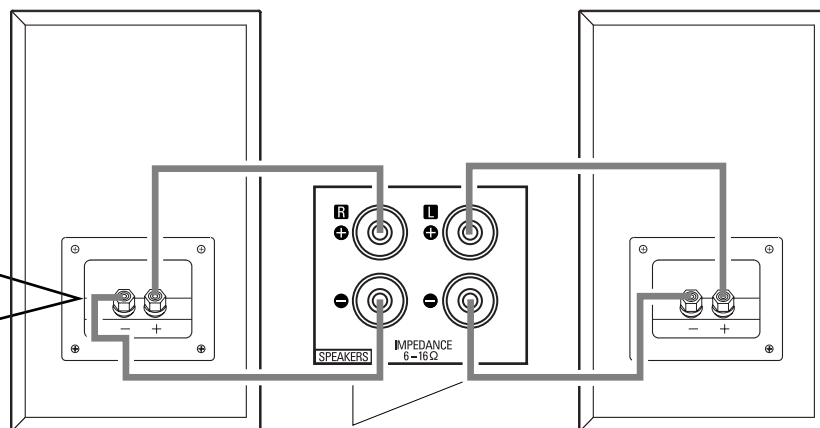
AM用屋外アンテナのつなぎかた

付属のAM用ループアンテナは取り外さないで、一緒に接続しておいてください。

保護回路について

本機には高速プロテクター回路が内蔵されています。これはパワーアンプの出力が誤って短絡された際に大電流が流れたり、本機の周囲の温度が異常に高くなったり、または長時間にわたり、本機を大出力で使用した際の極端な温度上昇などが発生した場合に、スピーカーを保護するためのものです。
保護回路が動作すると、スピーカー出力は遮断され、電源表示が点滅します。このような場合は、必ず本機の電源を一度切り、電源コードを抜いてからスピーカーケーブルや入力ケーブルの配線に異常がないかを確認の上、本機の温度が極端に上がっている場合は本機が冷えるのを待って、周囲の通風状態を良くしてから、もう一度電源コードを挿入して、本機の電源を入れ直してください。
配線や本機の周囲の通風に問題がないのにも関わらず、保護回路が動作してしまう場合は、本機が故障していることも考えられますので、電源を切った上で、弊社お客様相談窓口または修理相談窓口にご連絡ください。

スピーカーのつなぎかた

付属のスピーカーコードを使用して、本体とスピーカーを接続します。
- スピーカーを本体に接続する場合は、必ず電源コードを抜いてからおこなってください。

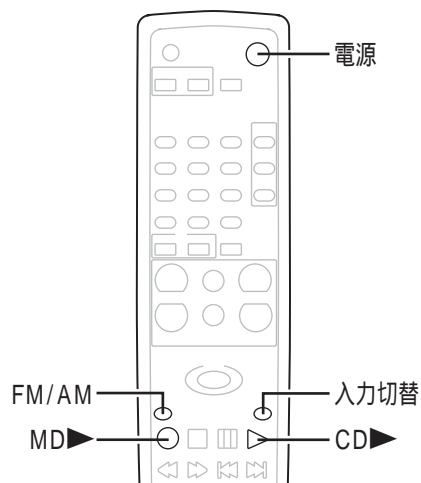
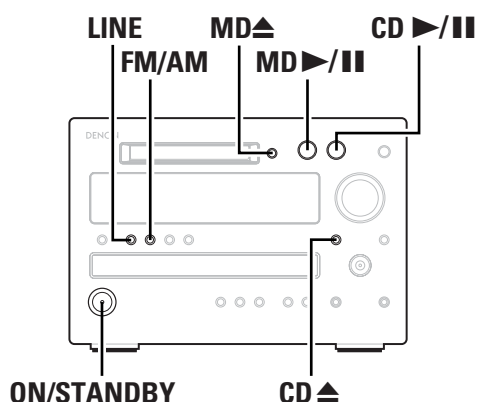
■スピーカーとコードのつなぎかた【赤端子が（+）、黒端子が（−）です。】

- コードを軽く引いてみて、しっかり接続されているか確認してください。

設置上のご注意

- 低音域が不自然に強調されたりする場合には、コンクリートブロックなどの固い台の上にのせるようにしてください。
- スピーカーの背面や前面に壁やガラス戸などがある場合には、共振や反射を防止するために、厚手のカーテンなどを掛けるようにしてください。
- スピーカーには強力なマグネットがついていますので、時計・磁気テープなどの近くには置かないでください。
- スピーカーシステム（SC-MX33）はテレビとの近接使用が可能な防磁形スピーカーシステムですが、テレビの種類によっては色むらを生じる場合があります。その場合には一度テレビの電源を切り、15〜30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁回路により、画面への影響が改善されます。その後も色むらが残るような場合には、スピーカーをさらに離してご使用ください。
- スピーカーをレコードプレーヤーと同じ台や棚の上に設置しますと、ハウリングを起こすことがありますのでご注意ください。
- スピーカーを移動させる場合、サランネットに強く触れますと、スピーカーを破損させることがありますのでご注意ください。

使用上のご注意

- スピーカー端子とスピーカーは必ず同じ極性（⊕と⊕、⊖と⊖）を接続してください。極性を間違えて接続しますと、中央の音が抜けたようになり、楽器の定位がはっきりせず、ステレオの方向感が損なわれます。
- テープレコーダーの早送り信号や正弦波などの特定な信号を連続して再生することは、絶対に避けてください。

準備

電源『ON』/『スタンバイ』について

電源を " ON " にするには

ON/STANDBY ボタンまたは **電源** ボタンを押します。

- インジケーターが緑色になります。

電源を " スタンバイ " にするには

電源 " ON " の状態から **ON/STANDBY** ボタンまたは **電源** ボタンを押すと、スタンバイ状態になります。

- **スタンバイ（タイマー " OFF "）のとき：**
  ON/STANDBY ボタンが赤色に点灯します。
- **タイマー " ON " のとき：**
  ON/STANDBY ボタンがオレンジ色に点灯します。
  （タイマー " ON " の設定方法は、74〜77ページを参照してください。）

 メモ

- **電源** ボタン以外でも電源を " ON " にすることができます。

" スタンバイ " のときに自動的に電源を " ON " にするには

本体のボタンで操作するとき

MD⏏ ボタン(D-MX33MDのみ)
MDが入っているときは、MDが取り出せます。

MD▶/❚❚ ボタン(D-MX33MDのみ)
MDデッキにMDが入っているときは、再生がはじまります。

CD⏏ ボタン
ディスクホルダーが出てきます。

CD▶/❚❚ ボタン
ディスクホルダーにCDが入っているときは、再生がはじまります。

FM/AM ボタン
前回聞いていた放送局を受信します。

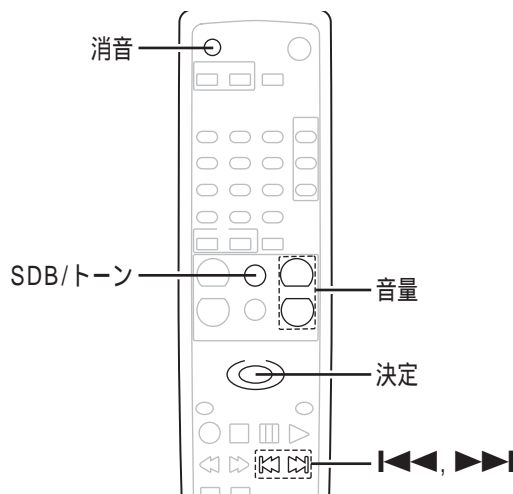
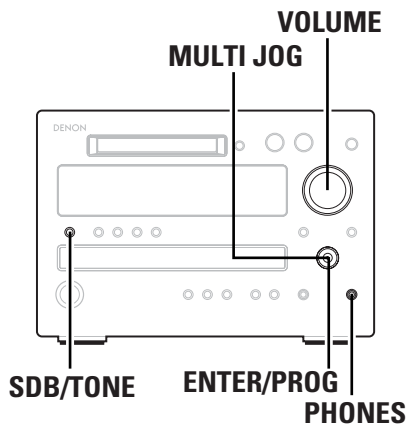
LINE ボタン
前回のファンクションで電源を " ON " にします。

リモコンのボタンで操作するとき

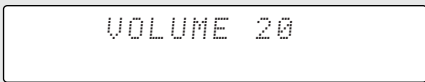
MD▶ ボタン(D-MX33MDのみ)
MDデッキにMDが入っているときは、再生がはじまります。

CD▶ ボタン
ディスクホルダーにCDが入っているときは、再生がはじまります。

FM/AM ボタン
前回聞いていた放送局を受信します。

入力切替 ボタン
前回のファンクションで電源を " ON " にします。

音量や音質を調整する

音量を調整する

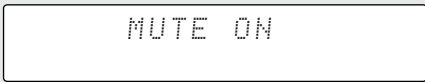
VOLUME つまみを回すか、 音量 ボタンを押す。

VOLUME 20

※ **VOLUME** つまみを 右（Ω）に回すと音量が大きくなり、左（Ω）に回すと音量が小さくなります。
※ 音量はMIN、01～62、MAXの範囲で調整できます。
※ お買い上げのときは、“ VOLUME 12 ” になっています。

メモ

- 電子コントロール式の音量調節のため、つまみは音量レベルの表示を確認しながらゆっくりと回してください。

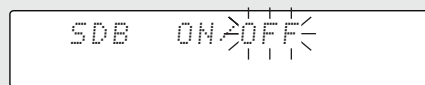
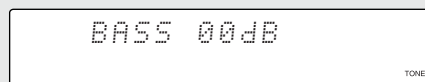
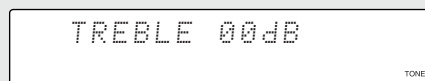
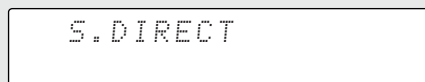
一時的に消音する

消音 ボタンを押す。

MUTE ON

※ 解除するときはもう一度、 **消音** ボタンを押してください。
“ MUTE OFF ” が表示され、ミュートを解除します。
※ ミュートの解除は、以下の操作でもおこなえます。
VOLUME つまみを回すか、**音量** ボタンを押します。

音質を変える

1 **SDB/TONE ボタンまたは SDB/トーン ボタンを押して、調整したいモードを選ぶ。**

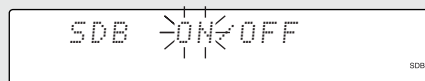
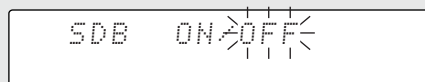
※ BASS、TREBLEはそれぞれ－10dB～＋10dBの範囲で調整できます。（2dB単位）

2 **SDBモードを設定するとき**

MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、“ ON ” または “ OFF ” に設定してから、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

強調する

SDB ON OFF

強調しない

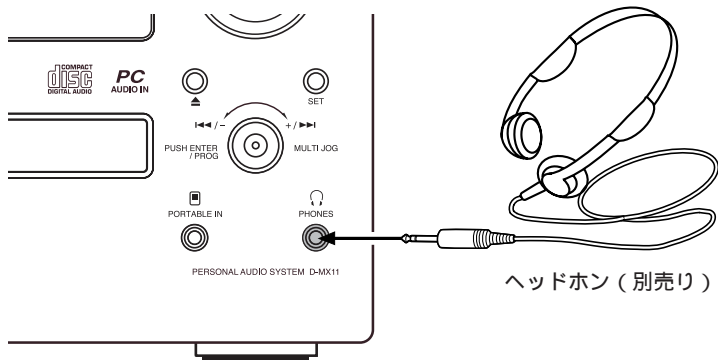
SDB ON OFF

BASS/TREBLEレベルモードを設定するとき

MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、レベルを調整してから、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

S.DIRECT(ソースダイレクト)を設定するとき

ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

- S.DIRECTではトーンとSDBをOFFにし、フラットな特性になります。

ヘッドホンで聞く

ヘッドホンのプラグを PHONES 端子に差し込む。

- ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用します。
- スピーカーから音が出なくなります。

※ 音量や音質の調整は、22ページを参照してください。

ご注意

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間、聞くことは避けてください。

セット機能について

- いろいろな機能の操作および設定をおこなうことができます。
- **SET** ボタンまたは **設定** ボタンを押してから **MULTI JOG** ダイヤルを回すかまたは **|◀◀, ▶▶|** ボタンを押すと、次の機能の操作および設定ができます。
- 表示される機能名称は、各ファンクションやファンクション内の動作状態により異なります。

		MUTLI JOG ダイヤルまたは |◀◀, ▶▶| ボタンで選択
※	1	REC LEVEL?
※	2	MD REC MODE?
※	3	GROUP REC?
※	4	1-GROUP?
	5	CLOCK
◎	6	TIMER ON/OFF?
◎	7	TIMER SET?
	8	AUTO PWR OFF?
◎	9	BRIGHTNESS?
※	10	ANALOG A.T.M?
	11	AUTO PRESET?

◎は、スタンバイ状態からでも設定が可能です。
※は、D-MX33MDのみです。

ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

	MUTLI JOG ダイヤルまたは |◀◀, ▶▶| ボタンで選択	**設定事項**	**参照ページ**
1	L R ======= −∞ −12 −4 0dB OVER	録音レベルの調節	40
2	MDLP/LP STAMP	録音モードの設定	36
3	GROUP ON/OFF	グループ機能のON/OFF設定	37
4	1-GP ON/OFF	1-GROUP機能のON/OFF設定	53
5	DISP./ADJUST	時計の確認/設定	25
6	TIMER ON/OFF	タイマーON/OFF設定	76
7	CHECK/ADJUST	タイマーの確認/設定	74〜76
8	AUTO ON/OFF	オートパワーオフのON/OFF設定	26
9	NORM/LOW/OFF	ディスプレイの明るさ設定	25
10	A.T.M ON/OFF	オートトラックマーク機能のON/OFF設定	39
11	PRESET START?	チューニング自動設定	33

時計の合わせかた

現在時刻の合わせかた（24時間表示）

■時計ボタンからの操作

[例] 現在時刻を " 19時30分（午後7時30分）" に合わせるとき

1 **ON/STANDBY ボタンまたは 電源 ボタンを押して、電源を入れる。**

2 **時計 ボタンを3秒以上押す。**

- 時の桁が点滅します。

ADJ 0:00

3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、時の桁を " 19 " に設定する。**

- 時の桁が " 19 " 点滅します。

ADJ 19:00

4 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- 時の桁が " 19 " 点灯し、分の桁が点滅します。

ADJ 19:00

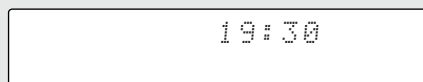
5 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、分の桁を " 30 " に設定する。**

- 時の桁の " 30 " が点滅します。

ADJ 19:30

6 **時間に合わせて、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- 時の桁の " 30 " 点灯し、現在時刻が表示されます。

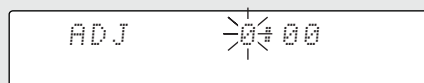
19:30

※ 時計の精度は、月におよそ1～2分程度のズレが生じることがあります。
このようなときは、時刻を合わせ直してください。

※ 電源コードを抜いていたり停電があったときなどは時計の設定は消えてしまいます。そのときはもう一度時計を合わせ直してください。

電源が " ON " のときに現在時刻を確認するには

時計 ボタンを押す。

- 現在時刻が約5秒間表示されます。
- 時計の設定がされていないときは、自動的に設定モードになります。

ADJ 0:00

電源が " スタンバイ " のときに現在時刻を確認するには

SET ボタンまたは 設定 ボタンを押す。

- 現在時刻が表示されます。
- 現在時刻が設定されていないときは " 0:00 " が点滅します。
- もう一度、 **SET** ボタンまたは **設定** ボタンを押すと表示が消え、スタンバイ状態に戻ります。

メモ

- 現在時刻が表示されているときは、本機の待機消費電力が増えます。低待機電力状態にするには時計表示を消してください。

■セットボタンからの操作

電源が " ON " / " スタンバイ " のどちらでも操作できます。

電源が " ON " のときに時計を合わせるには

1 **SET ボタンまたは 設定 ボタンを押す。**

2 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、" CLOCK " を表示させてから、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

DISP. ADJUST

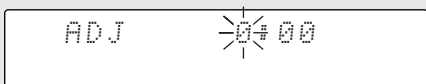
3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、" ADJUST " を選び、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

4 **24ページ " 時計ボタンからの操作 " の3～6の操作をおこなう。**

電源が " ON " のときに現在時刻を確認するには

操作3で " DISP. " を選び、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

- 現在時刻が約5秒間表示されます。
- 時計の設定がされていないときは、" CLOCK ERROR " が表示され自動的に設定モードになります。

ADJ 0:00

電源が " スタンバイ " のときに時計を合わせるには

1 **SET ボタンまたは 設定 ボタンを押す。**

- 現在時刻が表示されます。
- 現在時刻が設定されていないときは " 0:00 " が点滅します。

2 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- 時の桁が点滅します。

ADJ 0:00

3 **24ページ " 時計ボタンからの操作 " の3～6の操作をおこなう。**

メモ

- 現在時刻が表示されているときは、本機の待機消費電力が増えます。低待機電力状態にするには時計表示を消してください。

表示部の明るさを変える

1 **SET ボタンまたは 設定 ボタンを押す。**

2 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、" BRIGHTNESS? " が表示されたら、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、選択する。**

暗くするとき

" LOW " を点滅させ、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

- ディスプレイが暗くなります。

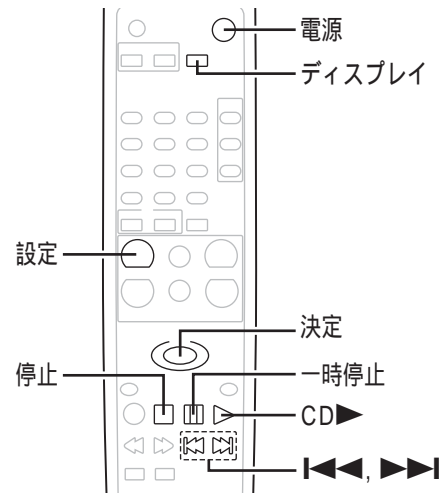
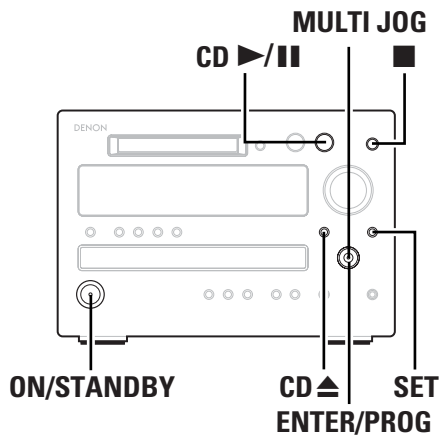
消すとき

" OFF " を点滅させ、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

- ディスプレイを消灯します。
- **ON/STANDBY** ボタンのインジケーターは点灯（緑色）のままです。
- 何かボタンが押されると " LOW " より暗い明るさで約10秒間ディスプレイを点灯します。
- 録音中はディスプレイを消すことはできません。録音中は " LOW " より暗い明るさでディスプレイを点灯します。
- 各モード設定中（セット、エディット、MDLP/LP STAMP）は、ディスプレイは表示します。

元の明るさに戻すとき

" NORM " を点滅させ、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

- 元の明るさに戻ります。

オートパワーオフの設定

オートパワーオフの設定が " ON " のときに、CDまたはMD（D-MX33MDのみ）の操作を約30分間おこなわないと、自動的に " スタンバイ状態 " にします。

- お買い上げのときは、" OFF " の設定になっています。

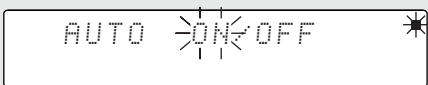
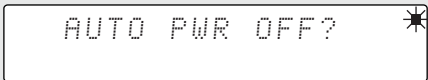
オートパワーオフを " ON " にするには

1 **SET ボタンまたは 設定 ボタンを押す。**

2 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ⏮, ⏭ ボタンを押して、" AUTO PWR OFF? " が表示されたら、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ⏮, ⏭ ボタンを押して、" ON " を点滅させ、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

AUTO PWR OFF?

AUTO ON OFF

オートパワーオフを解除するには

操作4で " OFF " を点滅させ、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

基本操作

CDの再生のしかた

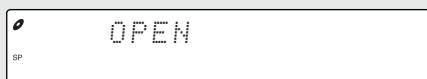
再生のしかた

- CD-R/RWディスクをお使いになる前に、CDの取り扱いとご注意（☞ 8ページ）をお読みください。
- MP3などの音声ファイルの再生またはCDテキストの表示には対応しておりません。
- 音楽用のCDフォーマット以外で記録したことのあるCD-RWディスクは、いったん全曲を消去して、音楽用のCDフォーマットで記録し直してご使用ください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。

1 ON/STANDBY ボタンまたは 電源 ボタンを押して、電源を入れる。

2 CD⏏ ボタンを押す。

- ディスクホルダーが開きます。
- ディスプレイに“ OPEN ”が表示されます。
- ディスクマーク“ ”が点灯します。

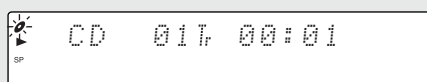
OPEN
SP

3 印刷のある面を上にしてディスクホルダーにCDを置く。

4 CD⏏ ボタンを押す。

- ディスクホルダーが閉じます。
- ディスプレイに“ CLOSE ”が表示されます。
- ディスクの印刷面を上にし、8cmのCDは内側のくぼみに入れます。
- **CD▶/II** ボタンまたは **CD▶** ボタンを押しても自動的にディスクホルダーが、閉まります。この場合は、1曲目から再生がはじまります。

5 CD▶/II ボタンまたは CD▶ ボタンを押して再生をはじめる。

- 1曲目から順に再生が始まり、最後の曲が終わると自動的に停止します。
- 再生中はディスクマーク“ ”が点滅します。

CD 01Tr 00:01
SP

再生を止めるには

再生中に ■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。

一時的に再生を止めるには

再生中に CD▶/II ボタンまたは 一時停止 ボタンを押す。

- “ ▶ ”表示が消灯して“ II ”表示が点灯し、再生を一時停止します。
- **CD▶/II** ボタンまたは **CD▶** ボタンを押すと、止めた位置から再生をはじめます。（“ ▶ ”表示が点灯し、“ II ”表示は消灯します。）

CDを取り出すには

CDを停止させた後、CD⏏ ボタンを押す。

- CDを取り出した後は、再度 **CD⏏** ボタンを押して、ディスクホルダーを閉じてください。

メモ

- ディスクホルダーは無理に手で止めたり、押し込まないでください。故障の原因になります。
- ディスクホルダーに異物を入れないでください。故障の原因になります。
- CDを入れるときや取り出すときは、CDを傷つけないようにご注意ください。
- 製品を移動するときは、必ずCDを取り出してください。CDに傷がつくことがあります。

時間表示を変えるには

CDを再生中、 ディスプレイ ボタンを押すたびに、ディスプレイの表示が切り替わる。

※ ランダム再生中には、①と②のみ表示されます。

① 再生中の曲の経過時間

CD 09Tr 00:52
SP

↓

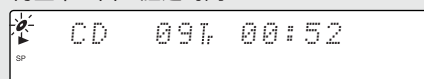
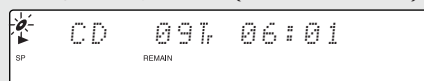
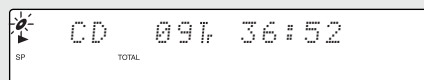
② 再生中の曲の残り時間（“ REMAIN ”点灯）

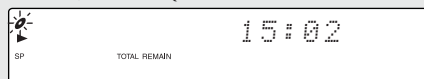
CD 09Tr 06:01
SP REMAIN

↓

③ 全体の経過時間（“ TOTAL ”点灯）

CD 09Tr 36:52
SP TOTAL

↓

④ 全体の残り時間（“ TOTAL REMAIN ”点灯）

15:02
SP TOTAL REMAIN

メモ

- CDがセットされていない場合、CDを裏返しにセットされた場合、ファイナライズされていないCD-R/RWがセットされた場合およびCDの情報をCDの傷や汚れなどで正しく読み取れなかった場合は、ディスプレイが下図のようになり再生できません。

CD 00Tr 00:00
SP

早聞きしながら好きな曲を探すとき『マニュアルサーチ』

早送りするとき

再生中に Λ/ ▶▶ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押し続ける。

- ボタンから指を離せば、そこから通常の再生をおこないます。

早戻しするとき

再生中に ◀◀ /V ボタンまたは ◀◀ ボタンを押し続ける。

- ボタンから指を離せば、そこから通常の再生をおこないます。

メモ

- マニュアルサーチから通常の再生に戻るときに、若干音が途切れることがあります。

再生途中で曲の頭出しをするとき『オートマッチクサーチ』

次の曲の頭出しするとき

MULTI JOG ダイヤルを右に回すか、 ▶▶I ボタンを押す。

- MULTI JOG ダイヤルを右に回すか、 ▶▶I ボタンをくり返し押すと、次々と後ろの曲の頭出しをすることができます。
- 最後の曲を再生中に押すと、1曲目を再生します。

聞いている曲の頭出しするとき

MULTI JOG ダイヤルを左に回すか、 I◀◀ ボタンを押す。

- MULTI JOG ダイヤルを左に回すか、 I◀◀ ボタンをくり返し押すと、次々と前の曲の頭出しをすることができます。
- 1 曲 目 を 再 生 中 に 押 し て 、 時 間 表 示 が “ 00:00 ” になっている間にもう一度押すと、最後の曲を再生します。

好きな曲を聞くとき（リモコンのみ）『ダイレクト再生』

［例］ CDの8曲目を聞くとき

ナンバー ボタン“8”を押す。

10曲目以上の曲番を選ぶとき

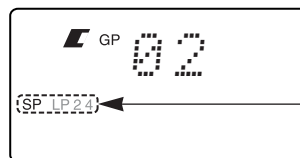
［例］ 12曲目を聞きたいとき
ナンバー ボタン“**+10**”、“**2**”を押す。

［例］ 20曲目を聞きたいとき
ナンバー ボタン“**+10**”、“**+10**”、“**0**”を押す。

MDの再生のしかた（D-MX33MDのみ）

MDを再生する前に

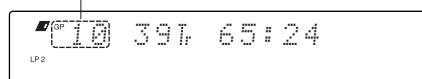
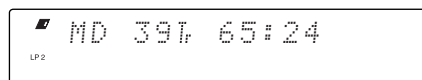
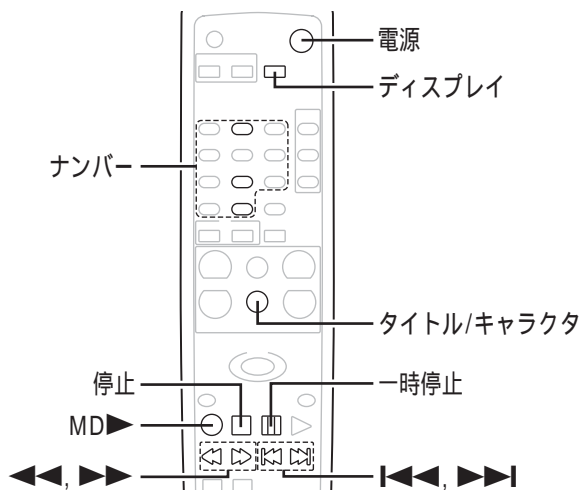
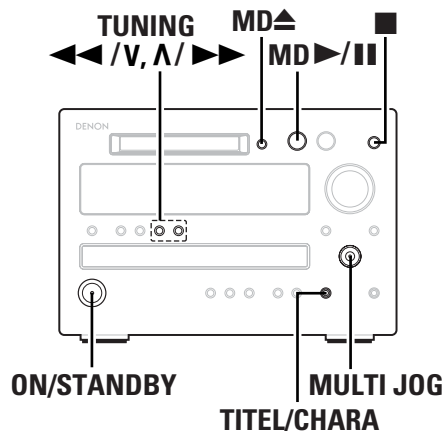
■ MDの再生モードについて

- MDは、録音したときの録音モードで再生されます。
- 再生がはじまると、ディスプレイにそのMDの再生モードが表示されます。
  （停止時は現在設定されている録音モードが表示されます。36、37ページをご覧ください。）

◎**SP**： 本機でステレオ録音したMDまたはMDLPに対応していないMDレコーダーで録音したMDのとき
◎**LP2**：2倍長時間録音（ステレオ）したMDのとき
◎**LP4**：4倍長時間録音（ステレオ）したMDのとき

■ グループ管理MDについて（MDグループ機能については、50ページをご覧ください。）

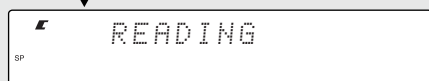
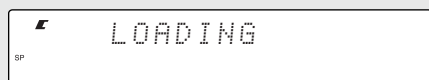
本機にはグループ機能があります。グループ管理されているMDと管理されていないMDで、ディスプレイの表示が異なります。

- グループ管理されているMDの場合

グループ管理数が表示されます。

- グループ管理されていないMDの場合

再生のしかた

1 **ON/STANDBY ボタンまたは 電源 ボタンを押して、電源を入れる。**

2 **MD挿入口にMDを入れる。**

- ミニディスク上面の矢印の向きに従ってMD挿入口に差し込んでください。
  ミニディスクは自動的に引き込まれます。
- ファンクションが " MD " のときに次のようになります。

※ディスク名が入力されていない場合、ディスク名は表示されません。

※ ディスク名を表示させたいときは、停止状態で **TITEL/CHARA** ボタンまたは **タイトル/キャラクタ** ボタンを押してください。
もう一度押すと、時間表示に戻ります。

3 **MD▶/❚❚ ボタンまたは MD▶ ボタンを押して再生をはじめる。**

- 1曲目から順に再生が始まり、最後の曲が終わると自動的に停止します。
- 再生状態で **TITEL/CHARA** ボタンまたは **タイトル/キャラクタ** ボタンを押すと、再生している曲のタイトルが表示されます。
  もう一度押すと、時間表示に戻ります。

再生を止めるには

再生中に ■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。

一時的に再生を止めるには

再生中に MD▶/❚❚ ボタンまたは 一時停止 ボタンを押す。

- " ▶ " 表示が消灯して " ❚❚ " 表示が点灯し、再生を一時停止します。
- **MD▶/❚❚** ボタンまたは **MD▶** ボタンを押すと、止めた位置から再生をはじめます。(" ▶ " 表示が点灯し、" ❚❚ " 表示は消灯します。)

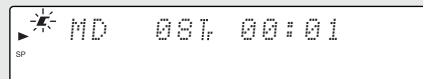
MDを取り出すには

MDを停止させた後、 MD≜ ボタンを押す。

好きな曲を聞くとき（リモコンのみ）『ダイレクト再生』

[例] MDの8曲目を聞くとき

1 **ナンバー ボタン " 8 " を押す。**

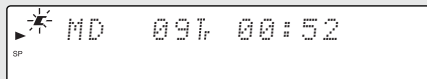
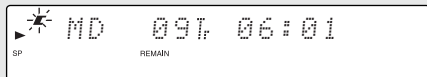
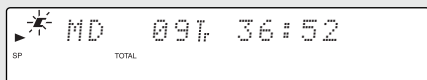
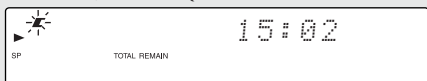
MD 08 00:01

10曲目以上の曲番を選ぶとき

[例] 12曲目を聞きたいとき
ナンバー ボタン " **+10** "、" **2** " を押す。

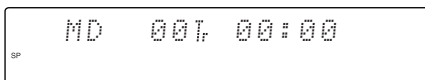
[例] 20曲目を聞きたいとき
ナンバー ボタン " **+10** "、" **+10** "、" **0** " を押す。

時間表示を変えるには

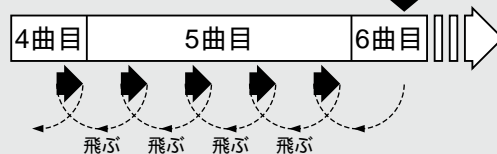
MDを再生中、ディスプレイ ボタンを押すたびに、ディスプレイの表示が切り替わる。

※ ランダム再生中には、①と②のみ表示されます。

① 再生中の曲の経過時間

メモ

- MDがセットされていない場合およびMDの情報をMDの傷や汚れなどで正しく読み取れなかった場合は、ディスプレイが下図のようになり再生できません。

MD 00Tr 00:00
SP

早聞きしながら好きな曲を探すとき『マニュアルサーチ』

早送りするとき

再生中に ∧/►► ボタンまたは ►► ボタンを押し続ける。

- ボタンから指を離せば、そこから通常の再生をおこないます。

早戻しするとき

再生中に ◄◄ /V ボタンまたは ◄◄ ボタンを押し続ける。

- ボタンから指を離せば、そこから通常の再生をおこないます。

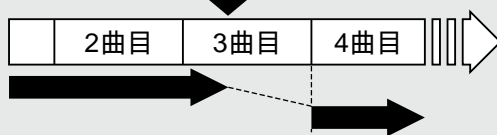
メモ

- マニュアルサーチから通常の再生に戻るときに、若干音が途切れることがあります。

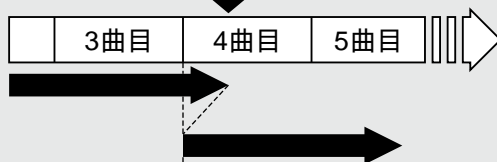
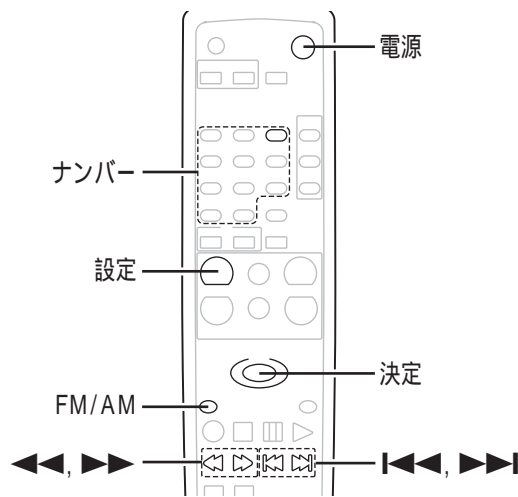
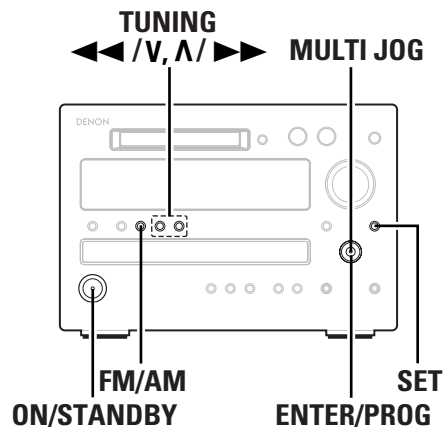
再生途中で曲の頭出しをするとき『オートマッチクサーチ』

次の曲の頭出しするとき

MULTI JOG ダイヤルを右に回すか、►►I ボタンを押す。

- **MULTI JOG** ダイヤルを右に回すか、►►I ボタンをくり返し押すと、次々と後ろの曲の頭出しをすることができます。
- 最後の曲を再生中に押すと、1曲目を再生します。

聞いている曲の頭出しするとき

MULTI JOG ダイヤルを左に回すか、I◄◄ ボタンを押す。

- **MULTI JOG** ダイヤルを左に回すか、I◄◄ ボタンをくり返し押すと、次々と前の曲の頭出しをすることができます。
- 1曲目を再生中に押して、時間表示が“ 00:00 ”になっている間にもう一度押すと、最後の曲を再生します。

ラジオ放送を聞くとき

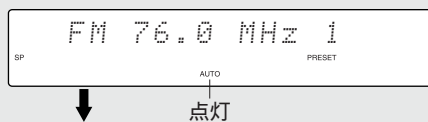
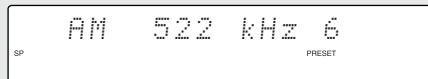
選局のしかた

本機はFMワイドバンド仕様で、通常のFM放送のほか、テレビ1～3チャンネルの音声（モノラル）の受信ができます。

1 **ON/STANDBY ボタンまたは 電源 ボタンを押して、電源を入れる。**

2 **FM/AM ボタンを押して、“ FM AUTO ”、“ FM MONO ” または “ AM ” を選ぶ。**

- 選択したバンドや受信モードが表示されます。
- ボタンを押すたびにディスプレイの表示が切り替わります。

“ FM AUTO ”

3 **◀◀/∨，∧/▶▶ ボタンまたは ◀◀, ▶▶ ボタンを押して、放送局を選ぶ。**

FM 82.5 MHz

TUNED　AUTO　ST

FM放送を受信すると、点灯する。

- **自動同調（オートチューニング）：**
  ボタンを2秒以上押し続けて離すと、電波の強い放送局を自動的に受信します。
  オートチューニングを止めたいときは、もう一度ボタンを押してください。
- **手動同調：**
  ボタンを小さざみに押して、希望する放送局を受信します。

※ テレビ音声は、次の周波数で受信できます。

1チャンネル：FM 95.75MHz
2チャンネル：FM 101.75MHz
3チャンネル：FM 107.75MHz

FMステレオ受信するには

- 受信モードが “ AUTO ” のときにステレオ放送を受信すると、“ ST ” 表示が点灯してステレオ受信になります。
- アンテナ入力レベルが低く、ステレオ受信が困難なときは、受信モードを “ MONO ” にしてモノラル受信にすると聞きやすくなります。受信モードは、最後に設定した状態を保持します。

メモ

- FM/AMアンテナは本体や電源コード、スピーカーケーブルから離してください。近づけて使用すると雑音が入ることがあります。
- AM放送受信中に近くでテレビなどを使用すると、“ ピー ” という雑音が入る場合があります。このような場合は、本機をテレビなどからできるだけ離して設置してください。

■プリセットについて

- すでにプリセットされている番号にプリセットすると、前のメモリーは消去されて、新しい放送局がプリセットされます。
- 電源コードを抜いたり、停電などで一時的に電源が切れても、すぐにはプリセットされたメモリーは消えませんが、長時間放置してメモリーが消えてしまった場合は、もう一度プリセットし直してください。

プリセットのしかた

[例] 選局したFM 82.5MHzをプリセット番号 “ 3 ” にプリセットするとき

1 **登録したい放送局を受信する。**

2 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- “ MEMO ” 表示と “ PRESET ” 表示が点灯し、プリセット番号が点滅します。

FM 82.5 MHz 1
SP PRESET MEMO TUNED AUTO ST

3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、登録するプリセット番号を選ぶ。**

- リモコンで操作するときは、 **ナンバー** ボタン “ **3** ” を押して選ぶこともできます。

FM 82.5 MHz 3
PRESET MEMO TUNED AUTO ST

4 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- “ MEMO ” 表示が消灯して、プリセットが完了します。

FM 82.5 MHz 3
PRESET TUNED AUTO ST

※ 同じように操作して、FM/AMを合わせて30局までプリセットすることができます。

オートプリセットのしかた

オートプリセットは、FM放送局のみ可能です。
※ 低い周波数から順番にプリセットします。

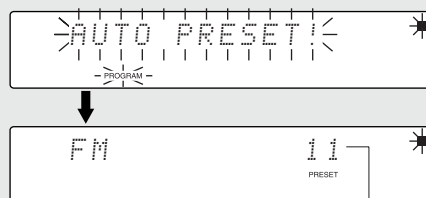
1 **ファンクションが “ TUNER ” のときに SET ボタンまたは 設定 ボタンを押す。**

2 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して“ AUTO PRESET? ” を表示させる。**

3 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- “ PRESET START? ” が表示されます。

4 **もう一度、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

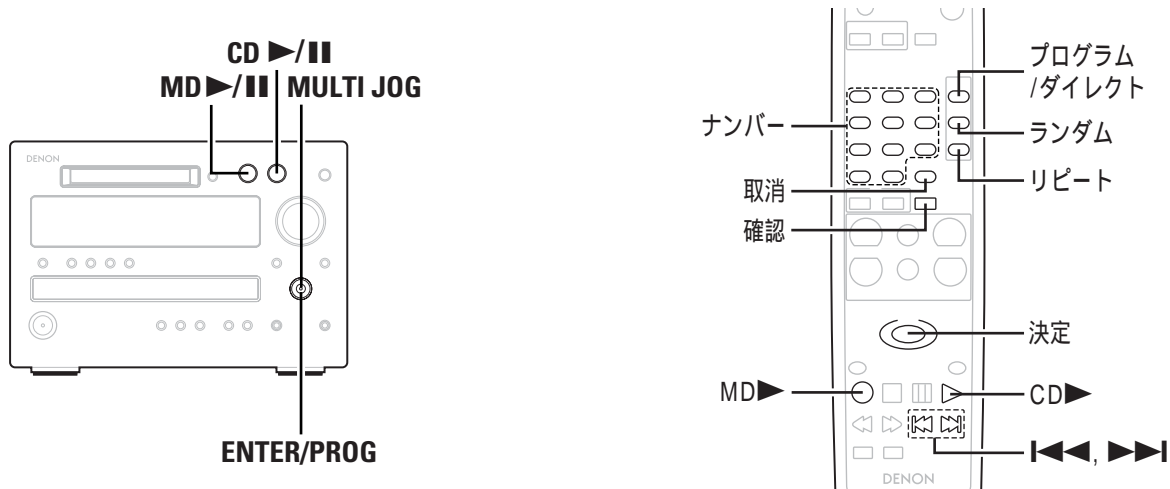
- オートプリセットがはじまります。

プリセットされた局数

5 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押して、プリセットした局数を確定する。**

プリセットした放送局を選ぶには

入力が “ TUNER ” の状態で MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、登録した番号を選ぶ。

※ **ナンバー** ボタンで選ぶこともできます。

いろいろな操作

CDやMDのいろいろな聞きかた

くり返して聞くとき 『リピート再生』

1 **リピート ボタンを押して、再生モードを選ぶ。**

- ボタンを押すたびに、ディスプレイの表示が次のように切り替わります。

"1 REPEAT" ：1曲リピートモード（1曲だけをくり返し再生）
"ALL REPEAT"：全曲リピートモード（全曲またはプログラム全曲をくり返し再生）
"REPEAT"表示なし ：リピート解除

2 **再生を開始する。**

CDを操作するとき

CD►/II ボタンまたは CD► ボタンを押す。

MDを操作するとき（D-MX33MDのみ）

MD►/II ボタンまたは MD► ボタンを押す。

※ 再生中も設定できます。
※ リピート再生を止めるときは"REPEAT"表示が消灯するまで **リピート** ボタンをくり返し押してください。

順不同で聞くとき 『ランダム再生』

1 **ランダム ボタンを押す。**

- "RANDOM"表示が点灯します。

2 **再生を開始する。**

CDを操作するとき

CD►/II ボタンまたは CD► ボタンを押す。

MDを操作するとき（D-MX33MDのみ）

MD►/II ボタンまたは MD► ボタンを押す。

※ 再生中も設定できます。
※ ランダム再生を止めるときは、ランダム再生中にもう一度、**ランダム** ボタンを押してください。
"RANDOM"表示が消灯します。

メモ

- プログラムした状態ではランダムモードを設定することはできません。
- ランダム再生中に1曲リピート再生はできません。
- ランダム再生中に全体の残り時間は確認できません。

好きな曲だけを選んで聞くとき『プログラム再生』

- 最大25曲までプログラムすることができます。
- グループ管理されているMDの操作は異なります。（☞ 54、55ページ）

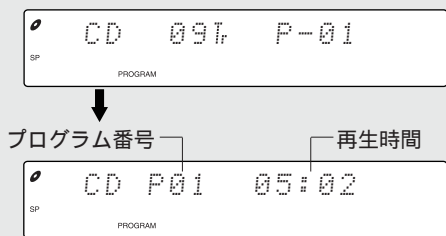
1 **ENTER/PROG ボタンまたは プログラム/ダイレクト ボタンを押す。**

- " PROGRAM " が点灯します。
- ボタンを押すたびに、ディスプレイの表示が次のように切り替わります。

CD　：PROGRAM→表示なし（プログラム）
MD　：TRACK PROGRAM
→GROUP PROGRAM（グループ登録されているMDのときのみ）
→表示なし（プログラム）
となります。

2 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、聞きたい曲番を指定し、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

※ **ナンバー** ボタン " **1** " ～ " **+10** " でも指定できます。

[例] ファンクションが " CD " で、 **ナンバー** ボタン " **9** " を押したとき

曲番を間違えたときは

登録中に 取消 ボタンを押す。

- 最後に選んだ曲が取消されます。
- 続けて押すと、順に取り消されます。

3 ***2*の操作をくり返し、聞きたい曲番を順に指定する。**

- プログラムの総再生時間表示が、CDは " 99:59 "、MDは " 999:59 " を超えると " --:-- "になりますが、記憶はされています。

4 **再生を開始する。**

CDを操作するとき

CD▶/II ボタンまたは CD▶ ボタンを押す。

MDを操作するとき（D-MX33MDのみ）

MD▶/II ボタンまたは MD▶ ボタンを押す。

※ プログラムした曲をリピート再生する場合は、 **リピート** ボタンを押して " ALL REPEAT " モードに設定してください。（☞ 34ページ）

登録した順番を確かめるには

確認 ボタン押す。

- ボタンを押すたびに登録した曲番が順に表示されます。

曲を追加するには

停止中に、操作*3*をくり返す。

- 前に選んでいる曲の後に追加されます。

登録を取り消すには

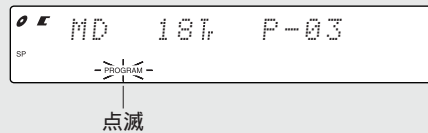
停止中に、 ENTER/PROG ボタンまたは プログラム/ダイレクト ボタンを押す。

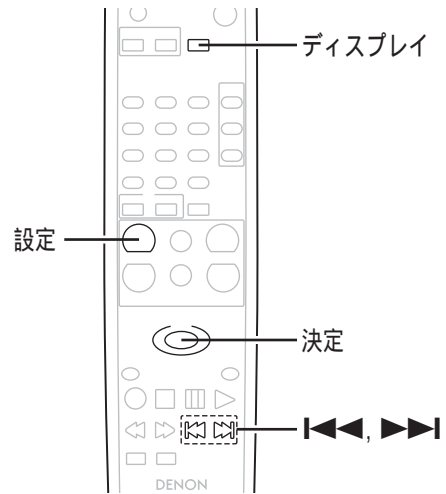
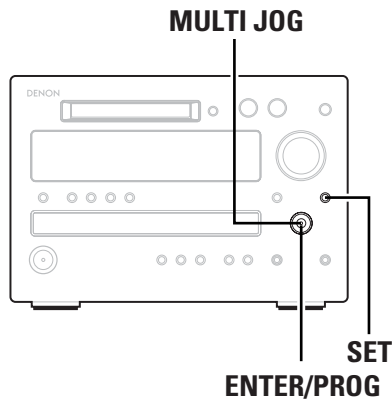
※ CDやMDを取り出したときも、登録は取り消されます。

プログラム内容を訂正するには

[例] MDの3番目にプログラムした18曲目を5曲目に訂正するとき

1 **確認 ボタン押して、訂正する曲を表示させる。**

- " PROGRAM " 表示が点滅します。

2 **" PROGRAM " 表示が点滅している間に MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、" 05 " を表示させたら、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

※ **ナンバー** ボタン " **5** " を押しても訂正できます。

録音をする前に（D-MX33MDのみ）

試し録音について

- 大切な録音をする前に、あらかじめ試し録音をして正常に録音されることを確かめてください。
- 本機を使用中に万一この製品の不具合により録音されなかったとき、もしくは消去されたときの内容の補償についてはご容赦ください。

本機では次の録音ができます。

（1）長時間録音　（2）グループ録音　（3）高速録音

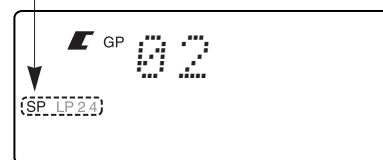
（1）長時間録音

■長時間録音（MDLP）

- 本機ではステレオ音声のままで2倍または4倍の長時間録音ができます。
- 1枚のMDに別々な録音モード（SP：標準、LP2：2倍長時間、LP4：4倍長時間）で録音された曲を混ぜて収録することもできます。

SP：　標準のステレオ録音（MD80で最大80分の録音）
LP2：2倍長時間ステレオ録音（MD80で最大160分の録音）
LP4：4倍長時間ステレオ録音（MD80で最大320分の録音）

録音モード

GP 02
SP LP2 4

録音モードを設定するには

- お買い上げのときは、“ SP ” になっています。

1 **SET ボタンまたは 設定 ボタンを押してから、MULTI JOG ダイヤルを回すか、⏮, ⏭ ボタンを押して、“ MD REC MODE? ” を表示させる。**

2 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- “ MDLP/LP STAMP ” が表示されます。

3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、⏮, ⏭ ボタンを押して、“ MDLP ” を点滅させ、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- “ MDLP SP/LP2/4 ” が表示されます。

4 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、⏮, ⏭ ボタンを押して、録音モードを選ぶ。**

- 選択されているモードが点滅します。

5 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押して、録音モードを確定する。**

※ 録音モードは、次に変更するまで変わりません。

録音可能時間を確認するには

MDが停止状態のときに、 ディスプレイ ボタンを押す。

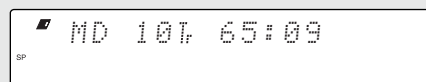
- ボタンを押すたびにディスプレイの表示が切り替わります。

収録曲数、収録時間表示

MD 10Tr 65:09
SP

↓

録音可能時間

MD 10Tr 09:44
SP REMAIN

※ 録音可能時間は、録音モードによって異なります。

メモ

- 録音モード（SP、LP2、LP4）の設定によって、MDの録音残量表示も変わります。
- 録音モードが長時間（SP→LP2→LP4）になるに従って、音質に差が出ます。最良の音質で録音したいときは、録音モードを“ SP ”にしてください。

ご注意

- 本機では、モノラル長時間録音はできません。
- 本機でステレオ2倍長時間録音または4倍長時間録音された曲は、“ MDLP ”に対応したステレオ長時間再生機能を備えた機器以外では再生できません。曲タイトルのはじめに“ LP: ”と表示され、無音状態になります。“ MDLP ”に対応した機器で再生すると、“ LP: ”は表示されません。
- MDの編集をするとき、録音モード（SP、LP2、LP4）の異なる曲をつなげることはできません。

曲タイトルの頭に“ LP： ”を付けない設定にするには

お買い上げのときは、“ LP： ”を自動で付ける設定（“ ON ”）になっています。
ステレオ長時間録音された曲のタイトルの頭に“ LP： ”を付けない設定にすることができます。

1 **“ 録音モードを設定するには ”の操作3で、MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◀◀, ▶▶ ボタンを押して、“ LP STAMP ”を点滅させ、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

2 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◀◀, ▶▶ ボタンを押して“ OFF ”を選ぶ。**

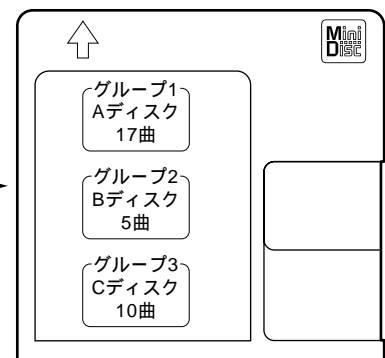
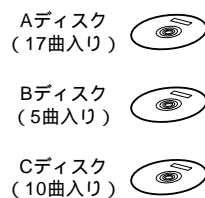
- MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◀◀, ▶▶ ボタンを押すと“ ON ”、“ OFF ”を選択できます。

3 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押して、確定する。**

（2）グループ録音

本機では録音開始から終わりまでを1つのグループとして録音することができます。
ディスプレイの“ GROUP ”表示が点灯しているときは、グループ録音されます。（お買い上げ時の設定はグループ“ OFF ”になっています。）
※ MDグループ機能については50ページをご覧ください。

■グループ録音のイメージ図

グループモードの設定がONのとき
A、B、Cのディスクを順番に録音すると、次のようにグループ管理されます。

グループとして録音するには

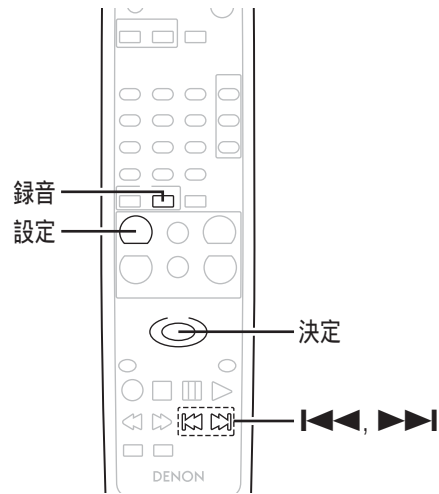
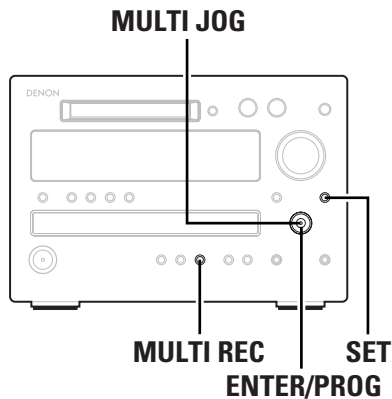
1 **SET ボタンまたは 設定 ボタンを押してから、MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◀◀, ▶▶ ボタンを押して、“ GROUP REC? ”を表示させる。**

2 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- “ GROUPON/OFF ”が表示されます。

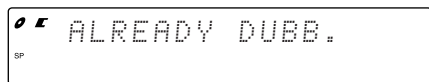
3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◀◀, ▶▶ ボタンを押して、“ ON ”を選択する。**

4 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

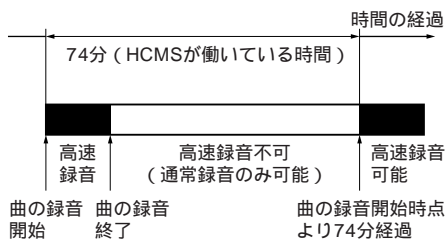
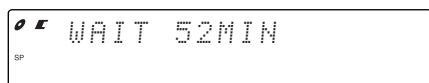
- ディスプレイの“ GROUP ”表示が点灯します。

（3）高速録音（2倍速録音/4倍速録音）

本機では、CDをMDに等速/2倍速/4倍速で録音することができます。
CDを従来の約1/2または約1/4の時間で録音することができます。

■HCMSについて

ある曲を高速録音すると、録音をはじめた時点から74分間は、同一の曲を高速録音することができません。ハイスピードコピーマネージメントシステム（HCMS）では、CDの曲ごとに固有なデータ（ISRC：International Standard Recording Code）をもとに、録音しようとしている曲が74分以内に録音されているかどうかを判定します。
高速録音しようとしている曲が74分以内に録音されていると以下のように表示され、高速録音できません。

ALREADY DUBB.

すでに高速録音された曲を再び高速録音した場合、“ALREADY DUBB.”が表示され、再録音（高速）が可能になるまでの時間が表示されます。

WAIT 52MIN

■高速録音を曲の途中で止めたり、曲の録音中にMDの残り時間がなくなると…

その曲はMDに記録されます。
この場合、記録された曲を消去してから続きを高速録音してください。

■高速録音中に本機の電源を切ったり、スリープタイマーで電源が切れると…

その曲はMDに記録されます。
この場合、記録された曲を消去してから続きを高速録音してください。

■CDのプログラムを高速録音するには…

HCMSは曲の録音の可否を1曲ごとに判定するため、同一の曲がプログラムされていると、高速録音できません。
例えば、CDの1→2→3→2曲目の順番でプログラムされている場合、高速録音しようとすると“CD SAME TRACK”を表示させ、高速録音を禁止します。

■一度に100曲まで録音できます。

- 高速録音を始めて、74分以内に100曲の録音が終了した場合、最初に高速録音を始めた時点から74分が経過するまで、101曲目の録音はできません。
- 録音途中で100曲目の録音が終了したとき、“CANNOT SRS”を表示した後、録音が終了します。

曲番について

■オートトラックマーク機能（ATM機能）

アナログ録音のときに約3秒の無音部分を曲間とみなして、自動的に次の曲番を付ける機能です。
お買い上げのときは“ ON ”に設定されており、ディスプレイの“ ATM ”表示が点灯しています。

ATM機能の設定をOFFにするには

1 **SET ボタンまたは 設定 ボタンを押してから、MULTI JOG ダイヤルを回すか、I◀◀, ▶▶I ボタンを押して“ ANALOG A.T.M? ”が表示させる。**

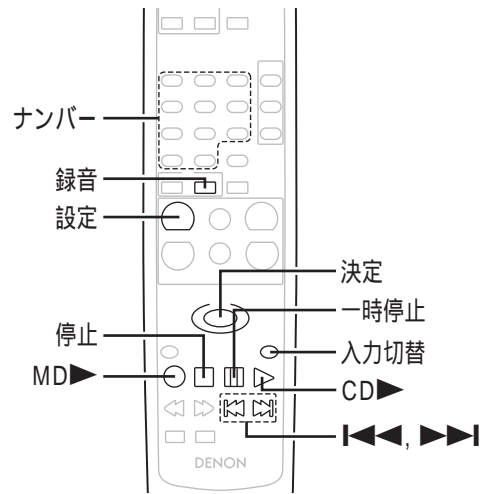
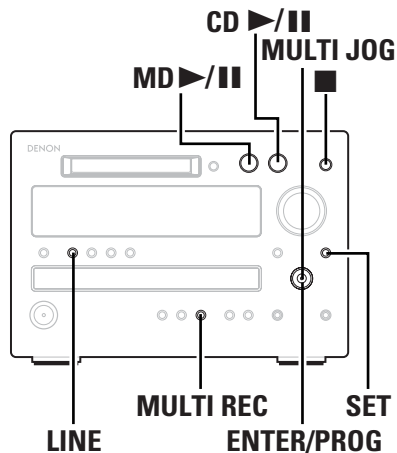
2 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**
- “ A.T.M. ON/OFF ”が表示されます。

3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、“ OFF ”を選択する。**

4 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**
- “ A.T.M. OFF ”が約3秒間表示されます。

※ デジタル録音のときは、ATM機能が“ OFF ”であっても“ ATM ”表示は点灯します。

アナログ録音中に自分で曲番を付けるには（手動で曲番を付けるには）

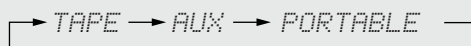
曲番を付けたい位置で MULTI REC ボタンまたは 録音 ボタンを押す。
- “ TRACK MARK ”が約3秒間表示され、この間は次の曲番を付けることができません。
- 曲番が1つ増えて、録音はそのまま続きます。
- ATM機能が“ ON ”、“ OFF ”どちらの場合でもおこなえます。
- デジタル録音中（CDからMDへの録音）はこの機能は使えません。

録音レベルを調節する（D-MX33MDのみ）

- **MULTI REC** ボタンまたは **録音** ボタンを使って録音する場合に録音レベルを調節することができます。
- 録音レベルは、ソース（音源）の違いによる録音レベルのバラツキを整えるときに調節します。

録音レベルを調整するとき

1 録音するソースを選択する。

- CDのとき:
  CDを再生、停止させてファンクションをCDにします。
- ラジオのとき:
  FM/AMボタンを押してファンクションをFMまたはAMにします。
- 外部入力機器のとき:
  LINE ボタンまたは **入力切替** ボタンでソースを切り替えます。

→ TAPE → AUX → PORTABLE →

2 MULTI REC ボタンまたは 録音 ボタンを押して、録音一時停止状態にする。

- 現在設定されている録音レベルが約3秒間表示されます。ただし、現在の録音レベルが0dBに設定されている場合は、録音レベルは表示されません。
- CDにレベルを合わせたい曲がある場合は、**ナンバー** ボタン押して希望する曲を再生します。

3 SET ボタンまたは 設定 ボタンを押す。

- " REC LEVEL? " が表示されます。

4 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

- CD録音のときは、自動的にCDの再生がはじまります。

L R −∞ −12 −4 dB OVER ANALOG

5 MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◄◄, ►►I ボタンを押して、調整をおこなう。

- 調節範囲は、−∞〜+12dBです。
- 最も大きなレベルでレベルメーターが " OVER " の位置まで点灯しないように調節します。

6 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

- 録音一時停止状態に戻ります。
  （録音中でも**3**〜**6**の操作により、録音レベルは調整できます。）

メモ

- 録音レベルは、−∞〜+12dB（1dB単位）の範囲で調節できます。（お買い上げ時は " 00dB " に設定されています。）
- 設定した録音レベルは、録音を終了しても録音をおこなった各ファンクション（CD、TUNERおよびLINE）ごとに記憶されます。
- SCMSによるデジタルコピー禁止のソースの場合、" COPY PROHIBIT " が表示され、録音一時停止状態になりません。

CDからMDへ録音する（D-MX33MDのみ）

- 録音済みのMDを使用するときは、残り時間にご注意ください。（☞ 36ページ）
- 録音済みのMDの内容をすべて消去してMDの頭から録音したいときは、全曲消去操作をおこなってから録音してください。（☞ 65ページ）
- 録音をおこなうときは、誤録音/誤消去防止ツメをずらして孔を閉じてください。（☞ 9ページ）

1 **再生するCDを入れる。**

2 **録音用MDを入れる。**

3 **CD►/❚❚ ボタンまたは CD► ボタンを押してから、 ■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。**

- ファンクションが“ CD ”になり、停止状態になります。

4 **CDからMDにデジタル録音をする場合**

MULTI REC ボタンまたは 録音 ボタンを押して、録音一時停止状態にする。

- 通常録音一時停止状態になります。
- 必要に応じて録音レベルを調節してください。（☞ 40ページ）

点灯

CDからMDにアナログ録音をする場合

録音一時停止状態で、 MULTI REC ボタンまたは 録音 ボタンを3秒以上押し続ける。

- ディスプレイの“ DIGITAL ”表示が消灯して“ ANALOG ”表示が点灯します。

点灯

- 再度デジタル録音をする場合は、もう一度、**MULTI REC** ボタンを押すかまたは **録音** ボタンを3秒以上押し続け切り替えてください。

5 **CD►/❚❚ ボタン, CD► ボタンまたは MD►/❚❚ ボタン, MD► ボタンを押す。**

- 録音が開始されます。

一時的に録音を止めるには

録音中に CD►/❚❚ ボタン, MD►/❚❚ ボタンまたは 一時停止 ボタンを押す。

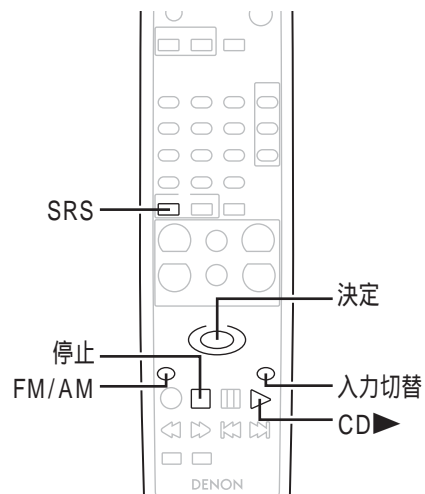
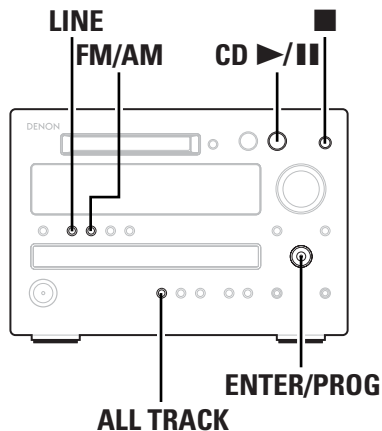
録音一時停止状態から録音を続けるには

CD►/❚❚ ボタン, CD► ボタンまたは MD►/❚❚ ボタン, MD► ボタンを押す。

録音を止めるには

■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。

メモ

- MDが停止するとTOC情報を書き込みます。書き込みをはじめると“ TOC ”表示が点滅します。このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。録音した情報が記録されません。
- TOC情報の書き込みは、以下の操作でもおこなえます。
  - ・ディスクを排出したとき
  - ・他の音源（ソース）を選択したとき
  - ・さらに編集作業を実施したとき（“ 編集内容の取り消し ”は除く）
  - ・電源を切ったとき（スタンバイ状態）

CDのすべての曲を録音する“ オールトラックシンクロ録音 ”（D-MX33MDのみ）

● 高速録音ができます。

1 **再生するCDを入れる。**

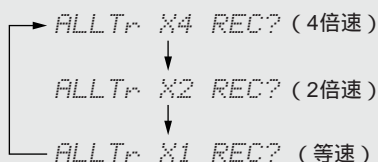
2 **録音用MDを入れる。**

3 **CD►/❚❚ ボタンまたは CD► ボタンを押してから、■ ボタンまたは 停止 ボタン押す。**

● ファンクションが“ CD ”になり、停止状態になります。

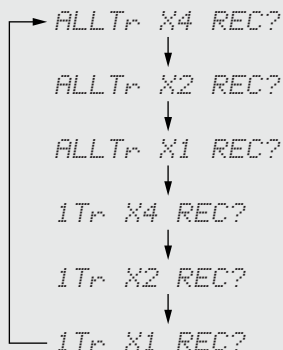
4 **本体で操作するとき**

ALL TRACK ボタンを押すたびに、

ALLTr X4 REC?（4倍速）
↓
ALLTr X2 REC?（2倍速）
↓
ALLTr X1 REC?（等速）

と切り替わるので、希望する録音スピードを選ぶ。

● アナログ録音をおこなう場合は等速録音になります。

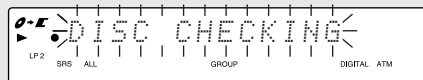
リモコンで操作するとき

SRS ボタンを押すたびに、

と切り替わるので、希望する録音スピードを選ぶ。

● アナログ録音をおこなう場合は等速録音になります。

5 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

● ディスクチェックモード（☞ 43ページ）に入り、ディスクの状態を確認します。

DISC CHECKING

● 問題がなければ、自動的に録音を開始します。
● 4倍速（X4 SPEED）、2倍速（X2 SPEED）録音のときは、CDの音を聞くことはできません。

録音を止めるには

■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。

● MDが停止すると、TOC情報を書き込みます。書き込みをはじめると“ TOC ”表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。録音した情報が記録されません。

メモ

● 高速録音をおこなう際、ディスクによってはノイズが録音される場合があります。このような場合は等速で録音をおこなってください。

■ディスクチェックモード

録音するCDがSCMSによりデジタルコピー禁止のソースか確認します。

- 禁止ソースの場合、アナログ録音となります。（自動的に切り替わります。）

- アナログ録音時は等速録音になります。

■REC ERROR表示

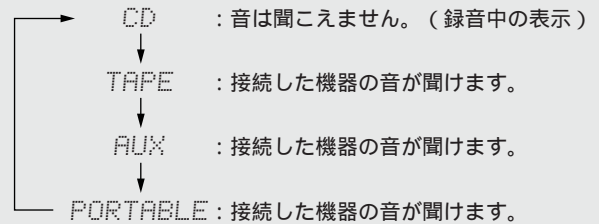
ディスクチェックモードから録音終了までの間にCDの汚れや傷などで録音が途中で停止したときに表示します。

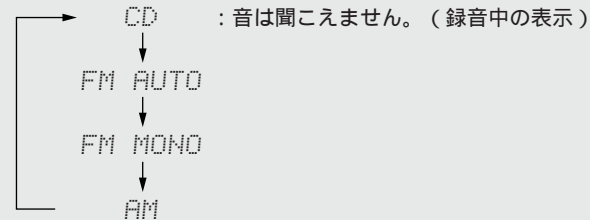
- ボリウム、ボタン操作がない限り表示を解除しません。

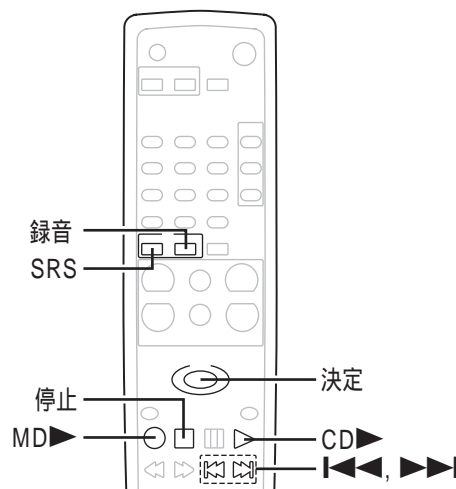
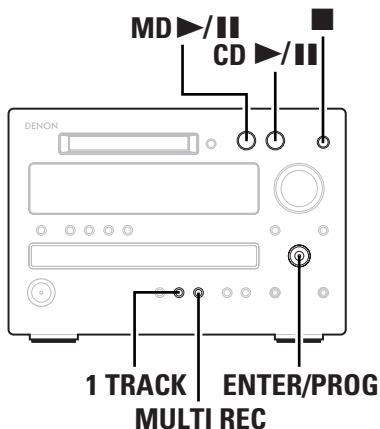
高速録音中に他のファンクションを聞くには

高速録音中に他のファンクションを聞くことができます。（裏再生機能）

本機の接続した機器の音を聞くとき

- 録音中に **LINE** ボタンまたは **入力切替** ボタンを押すと、ファンクションがTAPE、AUXまたはPORTABLEに切り替わり、本機に接続した機器の音を聞くことができます。
  ボタンを押すたびに、下記のようにファンクションが切り替わります。

ラジオ放送を聞くとき

- 録音中に **FM/AM** ボタンを押して、ファンクションがラジオに切り替わり、ラジオ放送を聞くことができます。ボタンを押すたびに、下記のように受信モードが切り替わります。

メモ

- CDからMDへの録音中にラジオ放送を聞く場合、状態によってはラジオ放送に雑音が入る場合があります。
- 高速録音中にUSBファンクションの再生を聞くことはできません。

CDの任意の1曲を録音する“1トラックシンクロ録音”（D-MX33MDのみ）

- 高速録音ができます。
- 高速録音中に、他のファンクションの音を聞くことができます。（裏再生機能（☞ 43ページ））

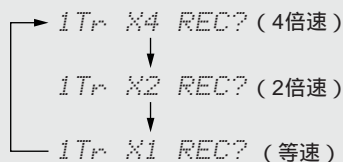
1 **42ページ“CDのすべての曲を録音する（オールトラックシンクロ録音）”の*1*～*3*の操作をおこなう。**

2 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 |◄◄, ►►| ボタンを押して、曲番を選ぶ。**

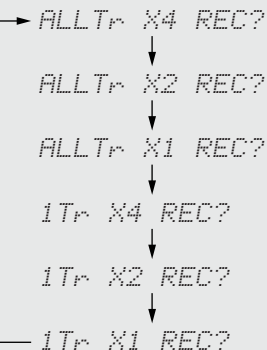
3

本体で操作するとき

1 TRACK ボタンを押すたびに、

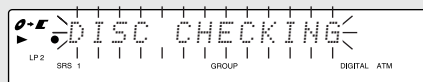
→ 1Tr X4 REC?（4倍速）
↓
1Tr X2 REC?（2倍速）
↓
1Tr X1 REC?（等速）

と切り替わるので、希望する録音スピードを選ぶ。

リモコンで操作するとき

SRS ボタンを押すたびに、

と切り替わるので、希望する録音スピードを選ぶ。

4 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- ディスクチェックモード（☞ 43ページ）に入り、ディスクの状態を確認します。

DISC CHECKING

- 問題がなければ、自動的に録音を開始します。
- 4倍速（X4 SPEED）、2倍速（X2 SPEED）録音のときは、CDの音を聞くことはできませんが、他のファンクションの音を聞くことができます。（裏再生機能（☞ 43ページ））

録音を止めるには

■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。

- MDが停止すると、TOC情報を書き込みます。書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。録音した情報が記録されません。

REC ERROR表示（☞ 43ページ）

メモ

- 高速録音をおこなう際、ディスクによってはノイズが録音される場合があります。このような場合は等速で録音をおこなってください。

曲の途中でその曲の始めから録音する（D-MX33MDのみ）

- 本機をピックレックモードにすることにより、CDやチューナーなどで曲を聞きながら、曲の途中で録音操作をおこなえます。（ピックレック機能）
- ピックレック機能で録音できるのは、本機をピックレックモードに切り替えてピックレックをはじめたときからの内容です。曲の途中でピックレックモードにしたときは、その曲の頭から録音することができません。

CDからのピックレックのはじめかた

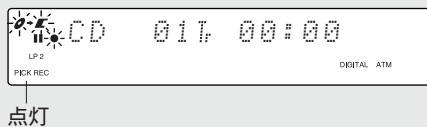
※ チューナーからのピックレックは、49ページをご覧ください。
※ 他の機器からのピックレックは、70ページをご覧ください。

1 CDとMDをセットして、ファンクションを“CD”にする。

- 42ページ“CDのすべての曲を録音する（オールトラックシンクロ録音）”の*1*～*3*参照してください。

2 MULTI REC ボタンまたは 録音 ボタンを2回押して、“PICK REC”表示を点灯させる。

- ピックレック一時停止状態になります。
- 必要に応じて録音レベルを調節してください。（☞ 40ページ）

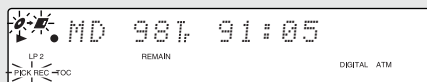
点灯

3 CD►/II ボタン，CD► ボタンまたはMD►/II ボタン，MD► ボタンを押す。

- “PICK REC”を表示後ピックレック可能時間が表示され、ピックレックモードになります。

録音可能時間

4 ピックレック中の曲番を選択するとき

その曲番の再生が終わるまでに、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

- “PICK REC”表示が点滅して、その曲番が選択されます。

- 曲番が変わると“PICK REC”表示が点灯に変わります。

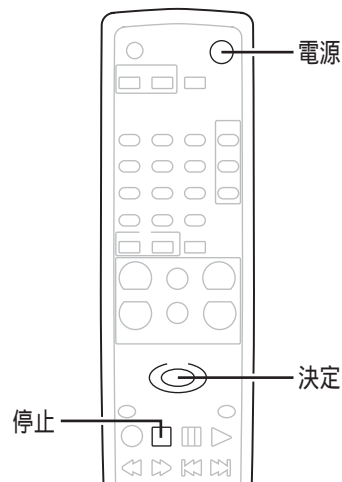
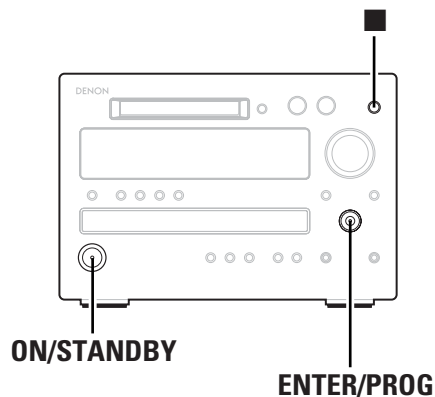
ピックレック中の曲番を選択しないとき

何も操作しない。

※ “PICK REC”表示が点灯している曲番は選択されません。
※ 入力ファンクションが“CD”のときは、不要な曲番を **MULTI JOG** ダイヤルを回すか、 ►►I ボタンで次の曲番へ送ることができます。
- “PICK REC”表示が点灯中（曲番を選択していないとき）は、**MULTI JOG** ダイヤルを右に回すか、 I◄◄，►►I ボタンを押してください。

※ ピックレックをおこなっている場合、曲の途中でも曲番が変わることがあります。
録音したい曲番は、すべて **ENTER/PROG** ボタンまたは **決定** ボタンを押してください。
※ 操作*7*で **ENTER/PROG** ボタンまたは **決定** ボタンを押した後で録音が不要になったときは、その曲番の選択中にもう一度、 **ENTER/PROG** ボタンまたは **決定** ボタンを押してください。
“PICK REC”表示が点灯に変わり、選択を取り消します。

メモ

- ピックレックをはじめてからのピックレック可能時間は、録音用MDの録音可能時間になります。できるだけ長時間録音できるMDを使用するとともに、ピックレック中はディスプレイの可能時間表示を確認して、残り時間に注意してください。
- ピックレック可能時間がなくなったときには、自動的に停止します。この場合は、46ページの“ピックレックの止めかた”によりMDへの書き込みを完了させてください。
- ピックレック可能時間が残っていても、ピックレックをはじめてからの曲番が36以上になると、“PICK REC”表示が2回点滅をくり返します。“PICK REC”表示が2回点滅した後は、録音する/しないの選択ができませんので、一度ピックレックを止めて、MDへの書き込みを完了させて再度ピックレックをはじめてください。

ピックレックの止めかた

1 **■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。**

- 録音が停止して“ P-REC OK? ” が表示されます。

2 **録音する曲の選択がうまくいったとき**

ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

- “ P-REC EDIT ” が表示されます。
- ピックレック中に **ENTER/PROG** ボタンまたは **決定** ボタンを押して、選択された曲番のみをMDに記録します。
- “ P-REC EDIT ” が表示されているときは、他の操作をおこなわないでください。
  記録された内容が損なわれたり、正しく記録されない場合があります。

録音する曲の選択がうまくいかなかったとき

■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。

- “ P-REC CANCEL ” が表示され、ピックレックをはじめてから再生された曲番すべてがMDに記録されます。

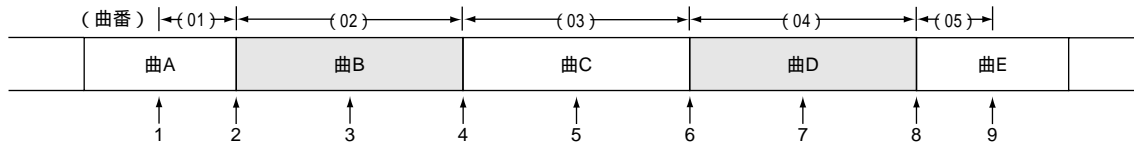
※ ピックレック中に **ON/STANDBY** ボタンまたは **電源** ボタンで、スタンバイにした場合は、ピックレックをはじめてから再生された曲すべてがMDに記録されます。

※ ピックレックをはじめてから数秒で止めた場合でも“ P-REC OK? ” が表示されますが、1曲も録音されていないことがあります。

ピックレックの使用例

音楽CDをピックレックする例を説明します。（ブランクディスクを使用）

(曲番)	(01)	(02)	(03)	(04)	(05)
	曲A	曲B	曲C	曲D	曲E

↑1 ↑2 ↑3 ↑4 ↑5 ↑6 ↑7 ↑8 ↑9

1 **45ページの操作*1*～*3*をおこなって、ピックレックをはじめる。〈曲番：01〉**
- "PICK REC" 表示が点灯します。

2 **曲番が変わる。〈曲番：02〉**
- "PICK REC" 表示は点灯のままです。

3 **曲Bを録音するとき**
ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。
- "PICK REC" 表示が点滅になります。

4 **曲番が変わる。〈曲番：03〉**
- "PICK REC" 表示が点灯に変わります。

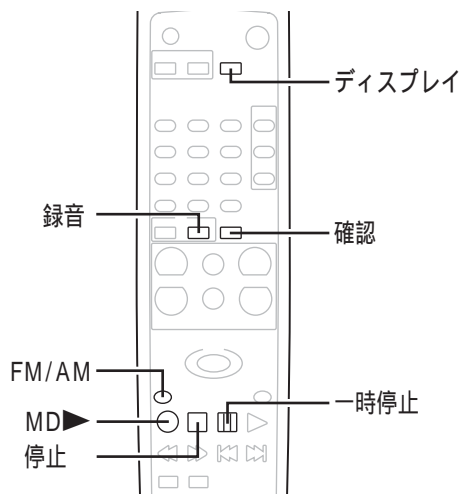
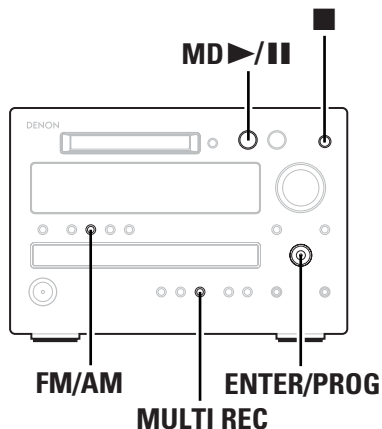
5 **曲Cを録音しないとき**
何も操作しない。
- "PICK REC" 表示は点灯のままです。

6 **曲番が変わる。〈曲番：04〉**
- "PICK REC" 表示は点灯のままです。

7 **曲Dを録音するとき**
ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。
- "PICK REC" 表示が点滅になります。

8 **曲番が変わる。〈曲番：05〉**
- "PICK REC" 表示が点灯に変わります。

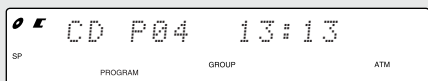
9 **音楽CDが終了したら、46ページの操作*1*、*2*の"録音する曲の選択がうまくいったとき"をおこなって、ピックレックを止める。**
- MDには曲Bと曲Dだけが録音されます。
- 曲番は曲Bが01、曲Dが02に編集されます。

メモ
- アナログ入力の場合、操作***2***、***4***、***6***、***8***で約3秒以上無音部がないと自動的に曲番が変わりません。
  また、ラジオ放送などの場合は番組の内容や電波の状態により、ピックレックが正常に働かない場合があります。この場合は、ピックレック終了後、46ページの"ピックレックの止めかた"の操作***2***の"録音する曲の選択がうまくいかなかったとき"をおこなってから、61～65ページの"通常編集機能"を参照して、分割と消去をおこなってください。

プログラム録音（D-MX33MDのみ）

- CDの好きな曲を好きな順に登録して、MDに録音することができます。
- 録音終了後もプログラムは残りますので、同じ順番で再生したいときに便利です。

1 **録音用MDを入れる。**

2 **再生するCDを入れてプログラムする。**
(☞ 35ページ)

CD P04 13:13

3 **通常録音をおこなうとき**

41ページの操作*4*、*5*をおこなってください。

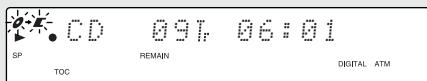
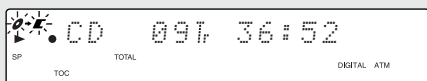
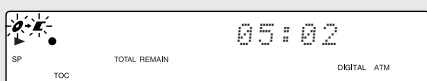
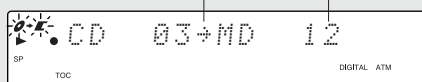
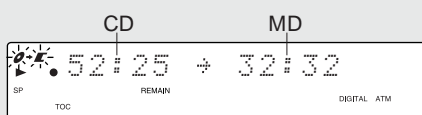
高速録音をおこなうとき

- オールトラックシンクロ録音
  42ページの操作***4***、***5***をおこなってください。
- 1トラックシンクロ録音
  44ページの操作***3***、***4***をおこなってください。

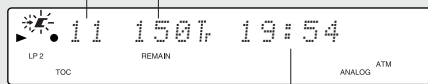
※ 1トラックシンクロ録音で録音するときは、プログラムした最初の曲しか録音できません。
※ 高速録音のときは、裏再生機能が可能です。
(☞ 43ページ)

録音状態を確かめる（D-MX33MDのみ）

CDを録音しているとき

録音中、 ディスプレイ ボタンを押すたびに、ディスプレイの表示が切り替わります。

録音中、 確認 ボタンを押すたびに、ディスプレイの表示が切り替わります。

『FM/AM』,『TAPE』,『AUX』,または『PORTABLE』を録音しているとき

録音中、 確認 ボタンを押すたびに、ディスプレイの表示が切り替わります。

[例]“ TAPE ”をアナログ録音しているとき

ラジオ放送をMDへ録音する（DM-X33MDのみ）

1 **録音用MDを入れる。**

2 **FM/AM ボタンを押す。**
録音したい放送局を受信する。
（☞ 32ページ）

3 **MULTI REC ボタンまたは 録音 ボタンを押す。**
- 通常録音一時停止状態になります。

4 **MD►/II ボタンまたは MD► ボタンを押す。**
- 録音が開始されます。

一時的に録音を止めるには

録音中に MD►/II ボタンまたは 一時停止 ボタンを押す。

録音一時停止状態から録音を続けるには

MD►/II ボタンまたは MD► ボタンを押す。

録音を止めるには

■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。

- TOC情報を書き込みます。
  書き込みをはじめると“ TOC ”表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。編集した情報が記録されません。
- TOC情報の書き込みは、以下の操作でもおこなえます。
  ・ディスクを排出したとき
  ・他の音源（ソース）を選択したとき
  ・さらに編集作業を実施したとき
  （“ 編集内容の取り消し ”は除く）
  ・電源を切ったとき（スタンバイ状態）

MDへの録音可能時間を確かめるには

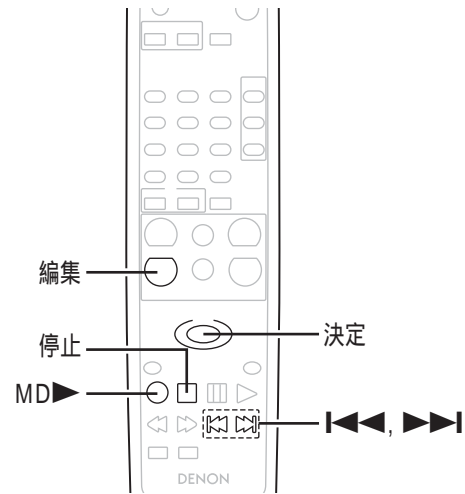
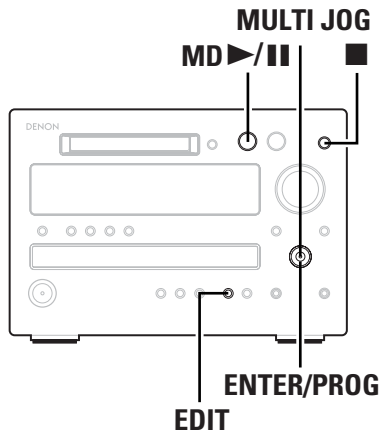
36、49ページをご覧ください。

ピックレックをおこなうには

操作*2*で、 MULTI REC ボタンまたは 録音 ボタンを2回押して“ PICK REC ”表示を点灯させ、 MD►/II ボタンまたは MD► ボタンを押す。

※ 録音している番組が終了したら、46ページの操作*1*、*2*をおこなってピックレックを終了させてください。

メモ

- ラジオ放送をピックレックする場合は番組の内容や電波の状態により、ピックレックが正常に働かない場合があります。
- ピックレックでの曲の選択がうまくいかなかったときは、ピックレック終了後、46ページの“ ピックレックの止めかた ”の操作*2*の“ 録音する曲の選択がうまくいかなかったとき ”をおこなってから、61～65ページの“ 通常編集機能 ”を参照して、分割と消去をおこなってください。
- ATM ONで録音すると、録音する番組によっては短い時間の間に曲数が増え続ける場合があります。（トーク番組など）
  チューナーを録音するときは、ATM OFFで録音することをおすすめします。（☞ 39ページ）

MDグループ機能について（D-MX33MDのみ）

- MDグループ機能とは、MDに収録されている曲をグループ管理する機能です。
- 本機では、MDLP（MD LONG PLAY）フォーマット対応により、通常録音時間の2倍長または4倍長のステレオ録音ができます（MDLP録音）。しかし、従来よりも多くの曲が録音できるようになりましたが、再生するときに曲を見つけるのが大変です。このために録音された曲をグループに分割して管理し、簡単に再生、検索ができるようにしました。
- 本機のグループ機能は下記のような操作ができます。

1．グループを作る
・MDに収録されている連続した複数の曲をグループとして登録し、グループを作ります。
・本機でMD1枚に登録できるグループ数は最大99グループです。
・収録後のグループ登録の変更などができます。

2．聞きたいグループを再生する
・1グループ再生：1グループを再生する場合の機能です。
・グループプログラム再生：登録したグループをプログラム再生する場合の機能です。

3．グループの中の曲を変更およびグループを解除する
・グループに登録されている曲を消去、分割、結合および移動できます。
・グループを解除できます。

4．グループのタイトルをつける、変更する
・登録したグループにグループ名をつけることができます。
・登録したグループのグループ名を変更できます。
・本機で入力できるグループ名の文字数は1グループあたり100文字です。
（ディスク名、グループ名および曲名を合わせて1700文字まで入力できます。）

メモ

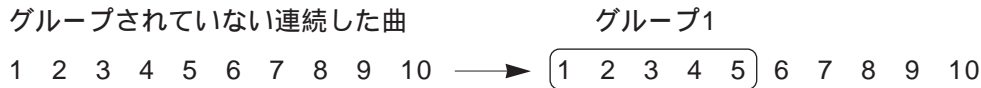
- **グループ機能を搭載していない機器での編集**
グループ登録したディスクをグループ機能が搭載されていない機器で1曲消去、曲の移動などの編集をしないでください。グループとして登録した曲番が編集前と異なり、グループ機能が正しく動作しなくなります。
- **グループ機能を搭載していない機器でのグループ情報の表示**
グループ情報は、実際はディスク名情報の格納部に書かれています。そのため、グループ機能を搭載していない機器でディスク名を表示させると以下のような表示になりますが、故障ではありません。
0；ディスク名//1-5；グループ名1//6-9；グループ名2//…分割と消去をおこなってください。
- **本機のグループ機能の制限**
本機で扱えるグループは最大99グループです。
この制限を超えたMDを使用した場合、また、曲番登録のないグループはグループとして認識しません。
本機で編集作業をおこなうと、本機の制限を超える情報は消去されます。
- **グループタイトル**
1つのグループに多くの文字入力をすると、登録できるグループ数が減ってしまいます。99グループすべてを登録してタイトルを付けるには、“ 1グループ10文字前後の文字入力 ” をおすすめします。

グループを作る（D-MX33MDのみ）

- グループとして管理されていない連続している曲を選んでグループにします。
  1曲でもグループにすることができます。
- 作ったグループ以降のグループ番号は、自動的に消えます。

[例] 1曲から10曲までの連続した曲の1曲目から5曲目を1つのグループにするとき

グループされていない連続した曲　　グループ1

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 ──► [1 2 3 4 5] 6 7 8 9 10

1 **編集するMDをMD挿入口に入れる。**

2 **MD►/II ボタンまたは MD► ボタンを押してから、■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。**

- 停止状態になります。

3 **EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押してから、MULTI JOG ダイヤルを回すか、I◄◄, ►►I ボタンを押して、“ NEW GROUP? ”が表示させる。**

4 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

TRACK 01 01

5 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、I◄◄, ►►I ボタンを押して、グループ登録したい最初の曲番を表示させる。**

6 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- 最初の曲番が確定されます。

TRACK 01-01

7 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、I◄◄, ►►I ボタンを押して、グループ登録したい最後の曲番を表示させる。**

TRACK 01-05

8 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- “ COMPLETE ”表示のあと“ GP NAME IN? ”が表示されます。

9 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

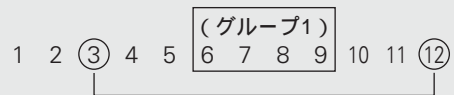
- グループタイトル入力モードになります。

※ タイトルの入力のしかたは、“ ディスク名をつけるには ”（☞ 57、58ページ）の操作を参照してください。

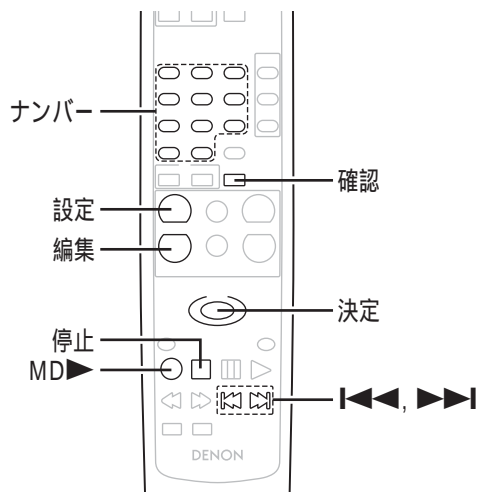
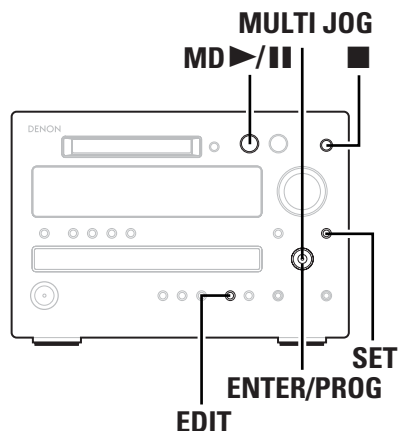
10 **EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押す。**

11 **■ ボタンまたは 停止 ボタン押し、MDへの書き込み動作を完了させる。**

※ 下図のようにグループにする最初の曲（3曲目）と最後の曲（12曲目）は、グループ管理されていなくても、間にグループがはさまれているとグループを作ることはできません。

1 2 ③ 4 5 [（グループ1） 6 7 8 9] 10 11 ⑫

※ このような場合は、“ グループ編集機能 ”（☞ 65ページ）の操作をして、グループを解除してからグループを作り直してください。

メモ

- 一度グループに登録された曲は選択できません。
- 99グループがすでに登録されている場合、“ GROUP OVER ”を表示します。
- ディスク名、グループ名の文字数に制限があるため、99グループ登録できない場合があります。（“ TITLE FULL ”や“ CANNOT EDIT ”が表示されます。）
- 全トラックがすでにグループ登録されている場合は、“ CANNOT EDIT ”が表示されます。

グループの曲を変更する

- グループ内の曲を変更できます。
- グループとして管理されていない曲の前後にグループがある場合、グループにすることができます。

［例］ グループ2（4曲目～8曲目）を3曲目～9曲目に変更するとき

グループ1　グループ2　→　グループ1　グループ2

[1 2] 3 [4 5 6 7 8] 9 10 ──▶ [1 2] [3 4 5 6 7 8 9] 10

1 **編集するMDをMD挿入口に入れる。**
- ディスプレイの“GROUP”表示が点灯していることを確認してください。
消灯しているときは、“グループとして録音するには”（☞ 37ページ）の操作**3**で“ON”を選択してください。

2 **MD▶/II ボタンまたは MD▶ ボタンを押してから、■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。**
- 停止状態になります。

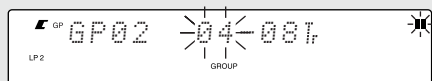
3 **EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押してから、MULTI JOG ダイヤルを回すか、I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、“GP MODIFY?”表示させる。**

4 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

GP01?　01- 02

5 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、変更したいグループを選択する。**

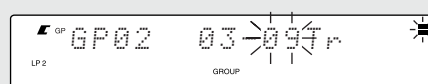
6 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

GP02　04-08Tr

7 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、変更したい最初の曲番を表示させる。**

8 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

GP02　03-08Tr

9 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、変更したい最後の曲番を表示させる。**

GP02　03-09Tr

10 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**
- “COMPLETE”表示後、停止状態になります。

11 **■ ボタンまたは 停止 ボタン押し、MDへの書き込み動作を完了させる。**

グループを再生する（D-MX33MDのみ）

1グループのみを聞く

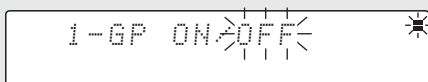
まず“グループを作る”（☞ 51ページ）の操作をおこなってください。

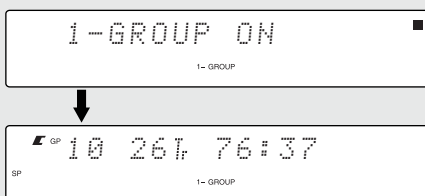
1 **グループ登録したディスクをMD挿入口に入れ、 MD►/❚❚ ボタンまたは MD► ボタンを押してから、 ■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。**

- ファンクションが“MD”になり、停止状態になります。

2 **SET ボタンまたは 設定 ボタンを押してから、MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ❙◄◄, ►►❙ ボタンを押して、“*1-GROUP?*”を表示させる。**

3 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

1-GP ON/OFF

4 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ❙◄◄, ►►❙ ボタンを押して、“*ON*”を点滅させる。**

5 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- グループ登録のないMDのときは“*NO GROUP*”が表示されます。

6 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ❙◄◄, ►►❙ ボタンを押して、グループを選ぶ。**

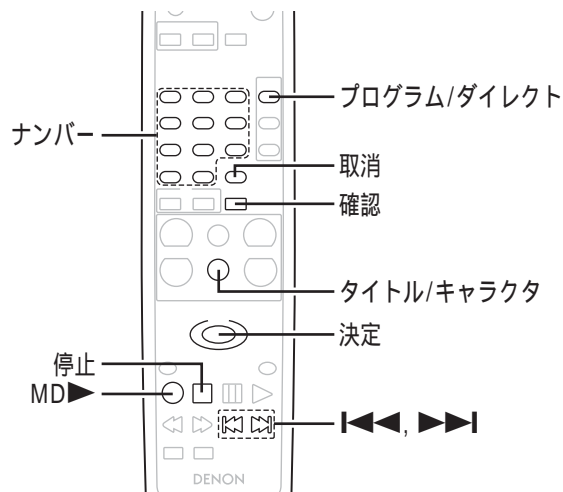
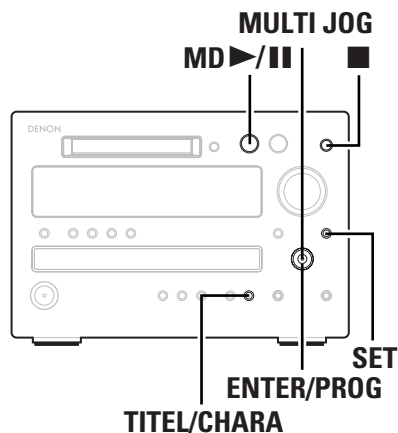
※ **確認** ボタンを押してもグループを選ぶことができます。

7 **ENTER/PROG ボタン, 決定 ボタンまたは MD►/❚❚ ボタン, MD► ボタンを押す。**

- 選んだグループに登録されている曲が再生され、再生が終わると自動的に停止します。

※ 再生中は、**MULTI JOG** ダイヤルを回すか、 **❙◄◄**, **►►❙** ボタンを押すと再生中のグループ内の曲番を頭出しします。
※ 再生中に **確認** ボタンを押すと、次のグループに切り替わります。

メモ

- 1-GROUPモードは、プログラムまたはランダムモードにすると自動的に解除されます。
- 1-GROUPモードは、 **ナンバー** ボタン“**1**”～“**＋10**”を使ってダイレクト再生をすると解除されます。

グループプログラム再生

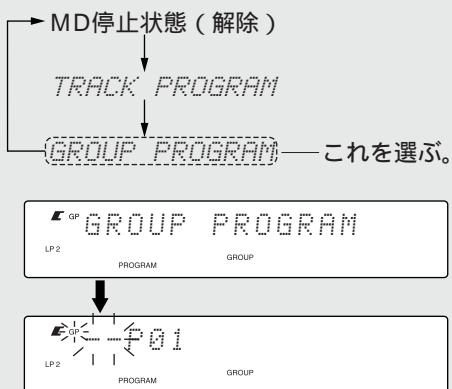
●最大25グループまでプログラムできます。
●まず " グループを作る "（☞ 51ページ）の操作をおこなってください。

1 **グループ登録したディスクをMD挿入口に入れ、MD►/II ボタンまたは MD► ボタンを押してから、■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。**

●ファンクションが " MD " になり、停止状態になります。

2 **ENTER/PROG ボタンまたは プログラム/ダイレクト ボタンを押して " GROUP PROGRAM " を選ぶ。**

●ボタンを押すたびに次のようになります。

MD停止状態（解除）
↓
TRACK PROGRAM
↓
GROUP PROGRAM ── これを選ぶ。

3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、I◄◄, ►►I ボタンを押して、聞きたいグループを指定し、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

● **ナンバー** ボタン " 1 " 〜 " ＋10 " でも指定できます。

グループを間違えたとき

●登録中に **取消** ボタンを押すと、最後に選んだグループが取り消されます。
続けて押すと、順に取り消されます。

4 **操作3をくり返して、聞きたいグループを順に指定する。**

5 **MD►/II ボタンまたは MD► ボタンを押す。**

 メモ

● 同じグループを登録することはできません。
● すべてのグループを登録後に操作**3** をおこなうと、" FULL " が表示されます。

登録した順番を確かめるには

確認 ボタンを押す。

●登録したグループが順に表示されます。

登録を取り消すには

停止中に ENTER/PROG ボタンまたはプログラム/ダイレクト ボタンを押す。

● **MD⏏** ボタンを押してMDを取り出したときも登録は取り消されます。

プログラム内容を訂正するには

［例］2番目にプログラムした3グループを
1グループに訂正するとき

1 **停止中に 確認 ボタンを押して、訂正するグループを表示させる。**

●“ PROGRAM ” 表示が点滅します。

GP 03P02 DENON
LP 2 PROGRAM GROUP

2 **“ PROGRAM ” 表示が点滅している間に MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して “ 01 ” を表示させたら、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

※ **ナンバー** ボタン “ **1** ” を押しても訂正できます。

メモ

● すべてのグループが登録されている場合、訂正はできません。

グループ名の確認方法

停止中のとき

確認 ボタンを押す。

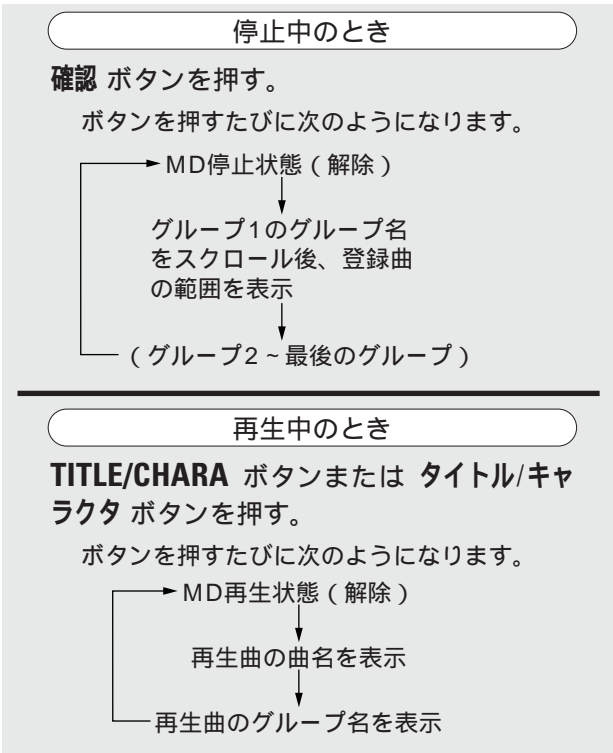
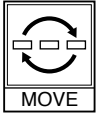
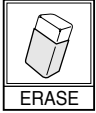
● ボタンを押すたびに次のようになります。

→ **MD停止状態（解除）**
↓
グループ1のグループ名をスクロール後、登録曲の範囲を表示
↓
（グループ2〜最後のグループ）

再生中のとき

TITLE/CHARA ボタンまたは タイトル/キャラクタ ボタンを押す。

● ボタンを押すたびに次のようになります。

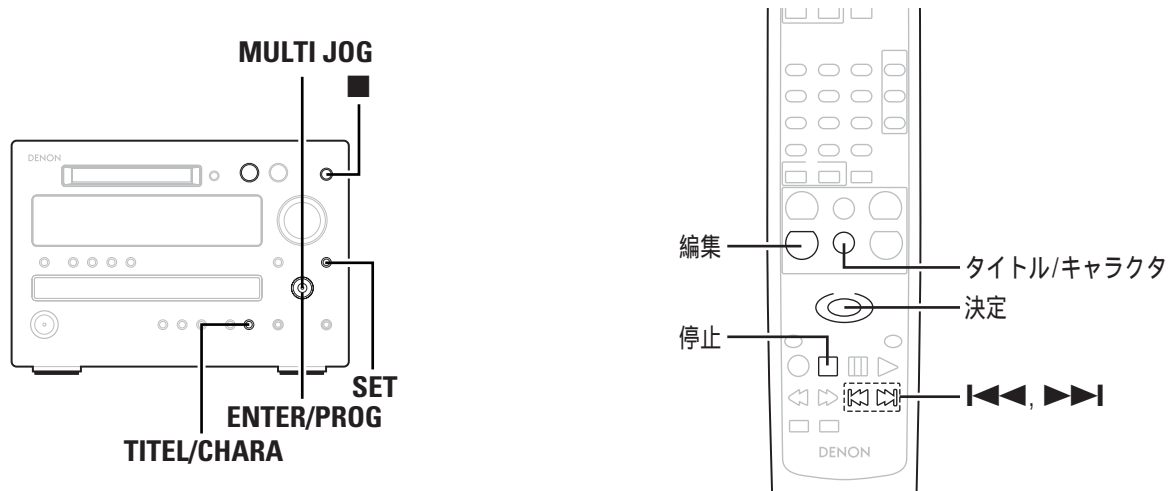
→ **MD再生状態（解除）**
↓
再生曲の曲名を表示
↓
再生曲のグループ名を表示

MDの編集のしかた（D-MX33MDのみ）

編集機能を使用すると、曲番を付けたり、曲をつないだり、不要な部分を消したりすることができます。
また、MDや曲ごとにタイトルを付けることもできます。
いろいろなMDの便利な編集操作を存分にお楽しみいただけます。

MD編集機能の紹介

本機の編集機能には、通常編集機能とグループ編集機能があります。

■ 通常編集機能

	項　目	機　　能	参照ページ
1	DIVIDE	曲の途中や必要なところにトラックマークを追加して曲を分けます。	61
2	COMBINE	トラックマークを削除して指定した曲とその1つ前の曲を1つの曲にまとめます。	62、63
3	MOVE	曲を移動します。	63
4	ERASE	**1曲消去**：消したい曲を選んで消去します。 **全曲消去**：MDの内容をすべて消去します。	64、65

■グループ編集機能

		項　目	機　　能	参照ページ
※	1	GP NAME IN?	指定したグループのグループ名を入力します。	59
	2	NEW GROUP?	グループとして管理されていない連続している曲を選んでグループにします。1曲でもグループにすることができます。	51
※	3	GP MODIFY?	グループ内の曲を変更できます。	52
※	4	GP CANCEL?	指定したグループのグループ管理を解除します。	65
※	5	GP ALL CANCEL?	MD内のすべてのグループのグループ管理を解除します。	66
※	6	G-NAME ERASE?	指定したグループのグループ名を消去します。	60
※	7	GP ERASE?	選んだグループを消去します。	66、67

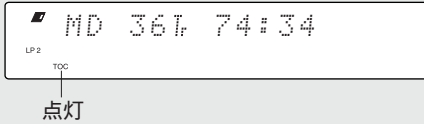
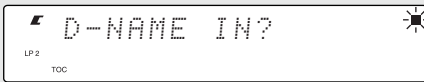
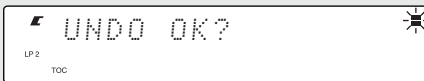
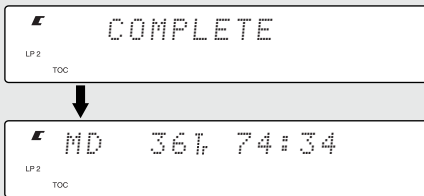
※は次の場合、表示されません。
①グループモードがオフのとき（☞ 37ページ）
②グループ録音されていないMDを編集するとき

メモ

- 本機で編集作業をおこなうと、本機の制限を超える情報は消去されます。
- グループ録音されたMDをグループ機に対応していない他の機器で再生すると、ディスク名にグループ管理のために数字・記号が表示されます。この数字・記号を編集により削除すると、グループ登録が消去されます。ご注意ください。
- 編集およびタイトル入力をおこなうときは、誤録音/誤消去防止ツメをずらして孔を閉じて録音できる状態にしてください。（☞ 9ページ）
- MDが“PROGRAM”または“RANDOM”モードのときは、編集ボタン（EDIT）を押しても、編集モードに入れません。

編集内容を取り消す

次の操作により、編集内容を取り消すことができます。

1 編集後、ディスプレイの“TOC”表示が点灯していることを確認する。

2 停止中に EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押す。

3 MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、“EDIT UNDO?”が表示されたら、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

4 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押して、編集内容の取り消しを確定する。

※ TOC情報の書き替えをおこなったときは、編集内容の取り消しはできません。
（本機をスタンバイ状態にしたとき、
■ ボタンまたは **停止** ボタン押したとき、
およびディスクを排出したときなど）

※ 連続して2回以上編集をおこなった場合は、最後に実施した編集内容のみ取り消されます。

※ 停電したときは、編集内容が取り消されます。

録音したMDにタイトルをつける

- 英大文字、英小文字、特殊文字、カタカナで曲名やディスク名を入力することができます。
- 曲名やディスク名、グループ名はそれぞれ100文字まで入力することができます。
（グループ名の文字入力制限については、50ページをご覧ください。）

ディスク名をつけるには

1 MD挿入口にディスク名をつけるMDを入れる。

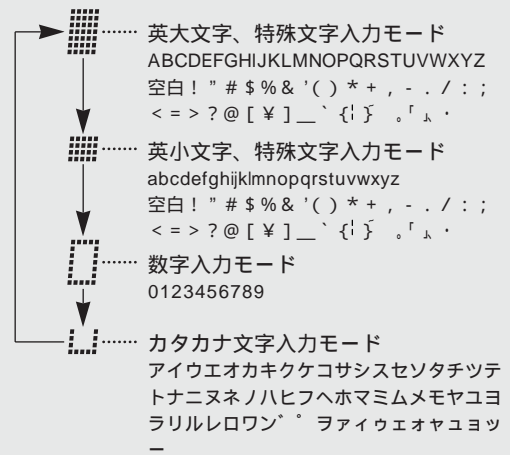
2 停止中に EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押す。

3 “D-NAME IN?”が表示されているときに、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

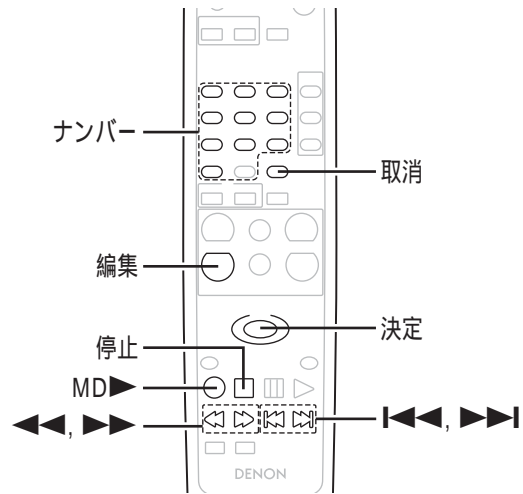
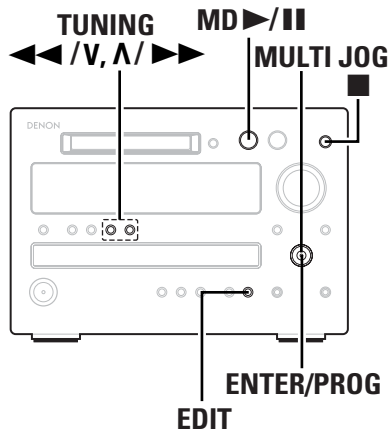
- タイトル入力待ちを表すカーソルが点滅します。

4 TITLE/CHARA ボタンまたは タイトル/キャラクタ ボタンを押して入力モードを選び、MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押した後に、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押してタイトル文字を入力する。

- 本機で入力できても他の機種では表示されない特殊文字がありますので、ご注意ください。

- **TITEL/CHARA** ボタンまたは **タイトル/キャラクタ** ボタンを押すたびに、入力モードが変わります。
（カーソルの形が変わります。）

5 文字の入力が終わったら、 EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押して確定する。

- 確定したディスク名がスクロールします。

6 ■ ボタンまたは 停止 ボタン押し、MDへの書き込み動作を完了させる。

文字を消去するには

操作5で確定する前に ◀◀ /V， Λ/ ▶▶ ボタンまたは ◀◀， ▶▶ ボタンを押して、消したい文字にカーソルを合わせてから 取消 ボタンを押す。

文字を修正するには

修正したい文字を消去してから、もう一度文字を入力する。
ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

※ 濁音（゛）または半濁音（゜）を付けた文字を消去するときは、濁音または半濁音も合わせて消去されます。

メモ

- 本機でつけたカタカナのタイトルは、カタカナ入力に対応していない他の機器では正しく表示されません。また、一部のカタカナ入力対応機器では正しく表示されない場合があります。
- 他のMDレコーダーで記録されたカタカナと特殊記号を組み合わせたタイトルは、正しく表示されない場合があります。このような場合は、本機でタイトルを再入力し直すことをおすすめします。
- ディスク名と曲名は、それぞれ100文字まで入力することができます。（グループ名の文字数は100文字です。）100文字を超えるとディスプレイに“ TITLE FULL ”が表示されます。
- ディスク名、グループ名と曲名を合わせて1700文字まで入力できます。文字数を超えるとディスプレイに“ TITLE FULL ”が表示されます。但し、本機で2倍/4倍長時間録音（LP2/LP4）した曲はその情報（LP：）が記録されるため、1700文字以下でも“ TITLE FULL ”が表示されることがあります。
- カタカナ文字は1文字当たりのデータ量が多いため、入力できる文字数が英数字に比べて少なくなります。

リモコンのタイトル入力文字対応表

操作4でタイトル文字を入力する。

- **ナンバー** ボタン“ **1** ”～“ **0** ”を押してもできます。

ボタン	英大文字	英小文字	数字	カタカナ
1			1	アイウエオァィゥェォ゛゜ー
2 ABC	ABC	abc	2	カキクケコ
3 DEF	DEF	def	3	サシスセソ
4 GHI	GHI	ghi	4	タチツテトッ
5 JKL	JKL	jkl	5	ナニヌネノ
6 MNO	MNO	mno	6	ハヒフヘホ
7 PQRS	PQRS	pqrs	7	マミムメモ
8 TUV	TUV	tuv	8	ヤユヨャュョ
9 WXYZ	WXYZ	wxyz	9	ラリルレロ
0 @	特殊文字		0	ワヲン

【特殊文字で表示するキャラクタ】

- **ナンバー** ボタン“ **0** ”で選択します。

空白		!	”	#	$	%	&	’	(	)	＊	＋
,	—	.	／	：	；	＜	＝	＞	?	@	[	¥
]	_	`	{	¦	}	~	■	。	「	」	、	・

曲名をつけるには

1 名前をつける曲の再生中に EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押す。

T-NAME IN?

2 “T-NAME IN?”が表示されているときに、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

- タイトル入力待ちを表すカーソルが点滅します。

3 タイトルを入力する。

- タイトルの入力のしかた以降は、“ディスク名をつけるには”（☞ 57ページ）の操作**4**〜**6**を参照してください。

※ 停止中に曲を選んでいるときや、一時停止中にも曲名をつけることができます。
※ 名前を付ける曲の再生が終わり次の曲になると、タイトル入力モードは解除されます。
※ 文字の消去・修正は、58ページを参照してください。

グループ名をつけるには

1 MD挿入口にグループ名をつけるMDを入れ、MD►/II ボタンまたは MD► ボタンを押してから、■ ボタンまたは 停止 ボタン押す。

- ファンクションが“MD”になり、停止状態になります。
- ディスプレイの“GROUP”表示が点灯していることを確認してください。消灯しているときは、グループモードを“ON”に設定してください。（☞ 37ページ）

2 停止中に EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押す。

3 MULTI JOG ダイヤルを回すか、I◄◄, ►►I ボタンを押して、“GP NAME IN?”が表示されたら、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

4 MULTI JOG ダイヤルを回すか、I◄◄, ►►I ボタンを押して、グループ名を付けたいグループを選び、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

- タイトル入力待ちを表すカーソルが点滅します。

5 タイトルを入力する。

- タイトルの入力のしかた以降は、“ディスク名をつけるには”（☞ 57ページ）の操作**4**〜**6**を参照してください。

※ 文字の消去・修正は、58ページを参照してください。

タイトルを消去する

ディスク名、曲名やグループ名を消去することができます。

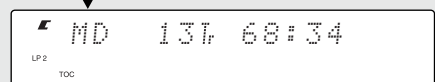
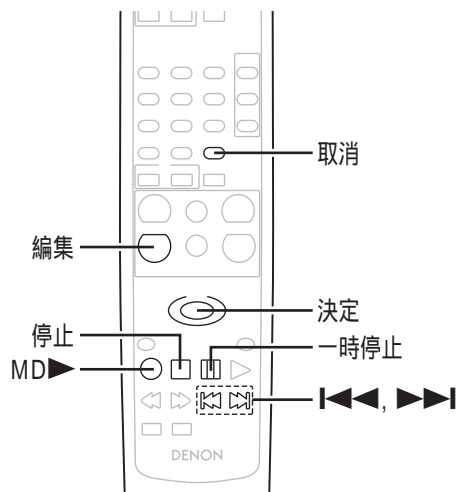
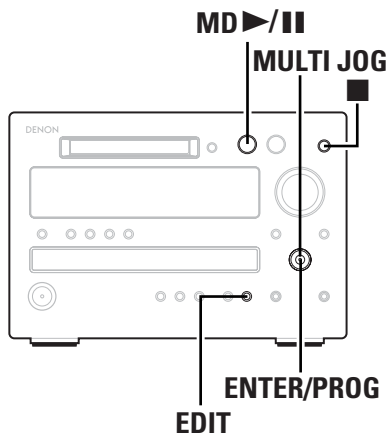
ディスク名を消去するには

1 MD挿入口にディスク名を消去したいMDを入れ、MD►/II ボタンまたは MD► ボタンを押してから、■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。

- ファンクションが“MD”になり、停止状態になります。

2 停止中に EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押す。

3 MULTI JOG ダイヤルを回すか、I◄◄, ►►I ボタンを押して、“D-NAME ERASE?”が表示されたら、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

4 “ERASE OK?”が表示されたら、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

5 ■ ボタンまたは 停止 ボタン押し、MDへの書き込み動作を完了させる。

曲名を消去するには

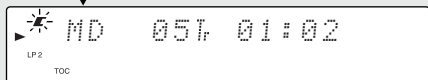
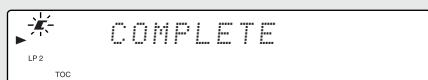
1 **MD挿入口に曲名を消去したいMDを入れ、MD▶/❚❚ ボタンまたは MD▶ ボタンを押してから、■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。**

- ファンクションが " MD " になり、停止状態になります。

2 **曲名を消去したい曲の再生中に EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押す。**

3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、⏮, ⏭ ボタンを押して、" T-NAME ERASE? " が表示されたら、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- " ERASE OK? " が表示されます。

4 **" ERASE OK? " が表示されたら、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

5 **■ ボタンまたは 停止 ボタン押し、MDへの書き込み動作を完了させる。**

※ 停止中に曲を選んでいるときや、一時停止中にも曲名を消去することができます。
※ 名前を消去する曲の再生が終わり、次の曲になるとタイトル消去モードは解除されます。

グループ名を取り消すには

1 **MD挿入口に編集するMDを入れ、MD▶/❚❚ ボタンまたは MD▶ ボタンを押してから、■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。**

- ファンクションが " MD " になり、停止状態になります。
- ディスプレイの " GROUP " 表示が点灯していることを確認してください。消灯しているときは、" グループとして録音するには "（☞ 37ページ）の操作**3** で " ON " を選択してください。

2 **停止中に EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押す。**

3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、⏮, ⏭ ボタンを押して、" G-NAME ERASE? " が表示されたら、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

グループ名を表示

4 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、⏮, ⏭ ボタンを押して、グループ名を消去したいグループを選ぶ。**

［例］グループ3のグループ名を消去したいとき

5 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- " ERASE OK? " が表示されます。

6 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

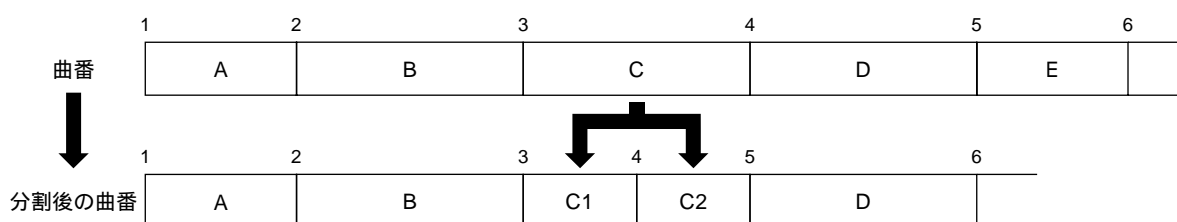
●“COMPLETE”表示後、停止状態になります。

7 **■ ボタンまたは 停止 ボタン押し、MDへの書き込み動作を完了させる。**

通常編集機能

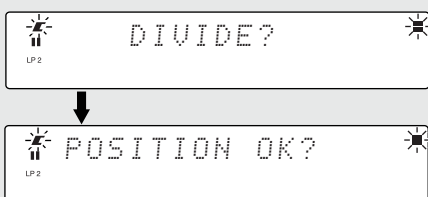
●録音後に曲を分割して、曲番を付けることができます。
●好きなところで曲番を付けることができ、選曲を簡単におこなうことができます。

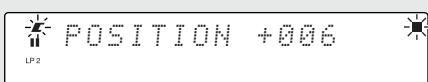
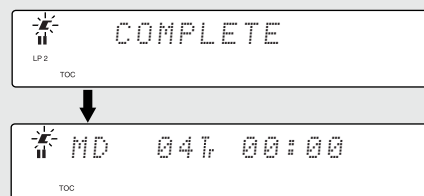
曲を分割するには

[例] 3曲目を分割するとき

1 **MDを再生中に、曲を分けたいところで、MD►/❚❚ ボタンまたは 一時停止 ボタンを押して、一時停止させる。**

2 **一時停止中に EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押す。**

3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ❙◄◄, ►►❙ ボタンを押して、“DIVIDE?”が表示されたら、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

●曲を分割する部分が数秒間くり返し再生されます。

4 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ❙◄◄, ►►❙ ボタンを押して、分割する位置を移動させる。**

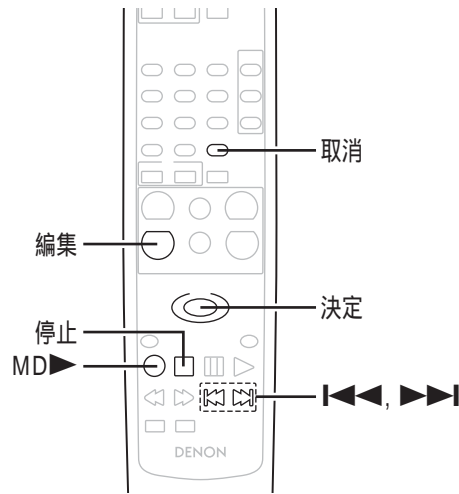
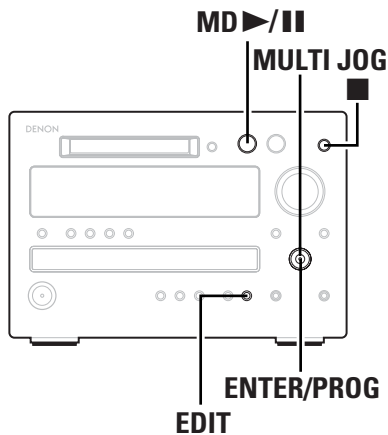
●“ ±ポイント数 Point ”が表示されます。
●微調整できる範囲は、最大－255～＋255ポイントまでです。
●微調整後の分割する部分が数秒間くり返し再生されます。

5 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押して、曲の分割を確定する。**

6 **■ ボタンまたは 停止 ボタン押し、MDへの書き込み動作を完了させる。**

※ 曲名が付いている曲を分割したときは、分割した両方の曲に同一の曲名が付きます。

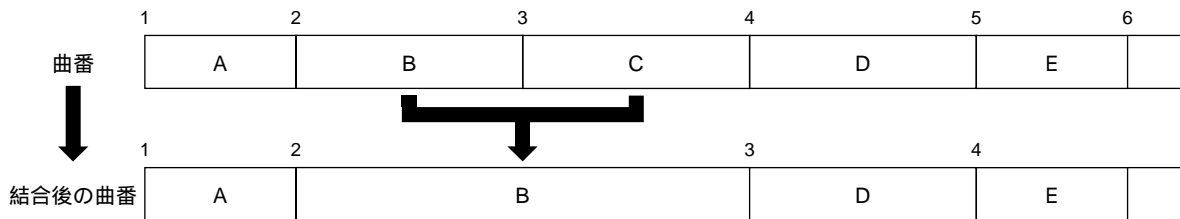
曲の分割を止めるには

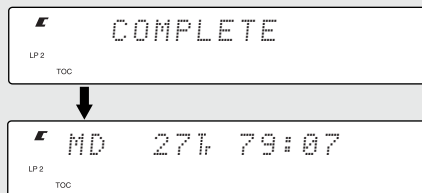
操作5の前に MD►/❚❚ ボタン，MD► ボタン，■ ボタン， 停止 ボタンまたは 取消 ボタン押す。

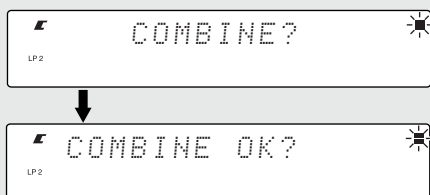
分割した曲を元に戻すには

62ページの“ 曲を結合するには ”を参照してください。

●連続した2つの曲をつないで、1曲にすることができます。

曲を結合するには

[例] 2曲目と3曲目をつないで、1曲にするとき

1 **MD挿入口に編集するMDを入れ、MD▶/II ボタンまたは MD▶ ボタンを押してから、■ ボタンまたは 停止 ボタン押す。**

●ファンクションが“MD”になり、停止状態になります。

2 **停止中に MULTI JOG ダイヤルを回すか、I◀◀, ▶▶I を押して結合する後ろの曲を表示させたら、EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押す。**

3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、“COMBINE?”が表示されたら、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

4 **もう一度、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押して、曲の結合を確定する。**

5 **■ ボタンまたは 停止 ボタン押し、MDへの書き込み動作を完了させる。**

※ グループ名/曲名は結合した2つのグループ/曲の前のグループ名/曲名が付きます。
但し、そのグループ/曲にグループ名/曲名が付いていないときはグループ名/曲名が付きません。

※ 一時停止中でも曲を結合することができます。この場合、一時停止している曲とその前の曲が結合されます。

曲の結合を止めるには

操作4の前に、■ ボタン, 停止 ボタンまたは 取消 ボタン押す。

結合した曲を元に戻すには

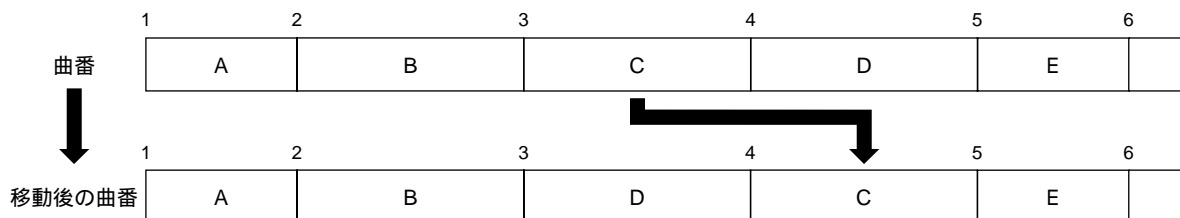
61ページの“曲を分割するには”を参照する。

メモ

- デジタル録音された曲とアナログ入力から録音された曲を結合することはできません。
- 15秒以下の短い曲では、結合できないことがあります。
  （操作*3*で **ENTER/PROG** ボタンまたは **決定** ボタンを押したときに、“ CANNOT EDIT ” が表示されます。）
- 録音モード（SP/LP2/LP4）が異なる曲を結合することはできません。
- 離れた2つの曲を結合するには、あらかじめ“ MOVE ” を使って2つの曲を連続させてから結合させてください。

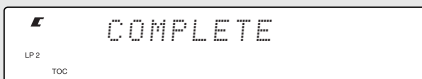
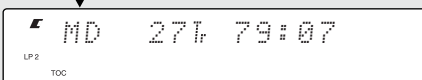
- 移動させたい曲を選んで、目的の曲番へ移動します。
  前後の曲番は自動的に調整されます。

曲を移動するには

［例］ 3曲目を移動するとき

1 **MD挿入口に編集するMDを入れ、MD▶/II ボタンまたは MD▶ ボタンを押してから、 ■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。**

- ファンクションが “ MD ” になり、停止状態になります。

2 **停止中にMULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して移動したい曲番を表示させたら、 EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押す。**

3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、“ MOVE? ” が表示されたら、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

4 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、移動したい曲番を選ぶ。**

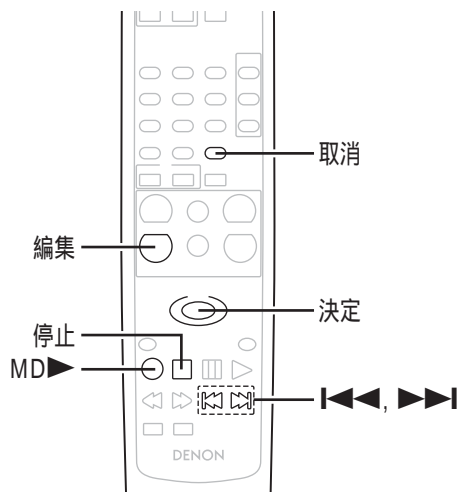
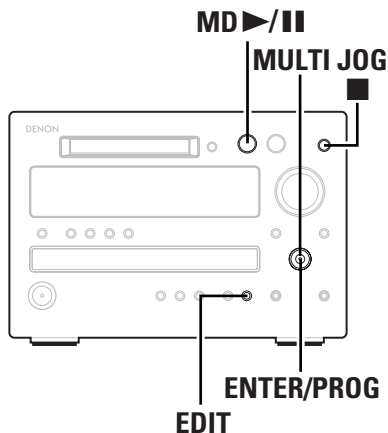
03Tr → 04Tr

5 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押して、曲の移動を確定する。**

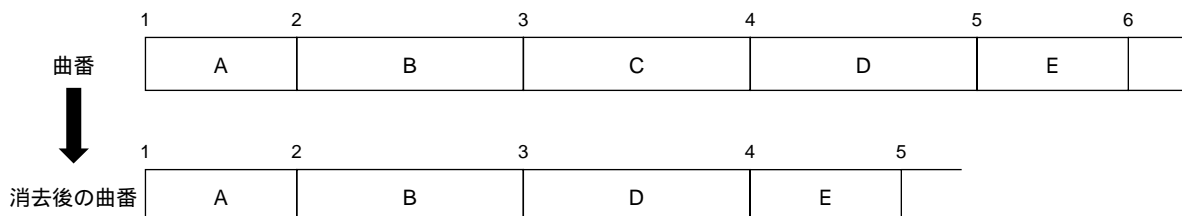
6 **■ ボタンまたは 停止 ボタン押し、MDへの書き込み動作を完了させる。**

※ 一時停止中でもその曲を移動することができます。

曲の移動を止めるには

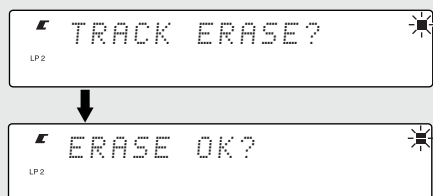
操作*5*の前に、 ■ ボタン, 停止 ボタンまたは 取消 ボタン押す。

●不要な曲を消去します。

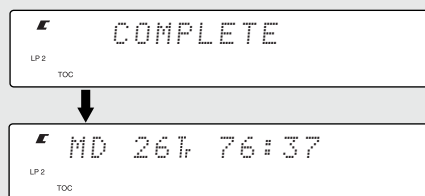
1曲ずつ曲を消去するには

[例] 3曲目を消去するとき

1 **MD挿入口に編集するMDを入れ、MD►/II ボタンまたは MD► ボタンを押してから、■ ボタンまたは 停止 ボタン押す。**

- ファンクションが“MD”になり、停止状態になります。

2 **停止中に MULTI JOG ダイヤルを回すか、I◄◄, ►►I ボタンを押して消去したい曲番を表示させたら、EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押す。**

3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、I◄◄, ►►I ボタンを押して、“TRACK ERASE?”が表示されたら、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

4 **もう一度、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押して、1曲消去を確定する。**

- 動作が完了すると、停止状態になります。
- 曲が消去されると、消去された曲の後ろの曲番が順に前詰めされた番号になります。

5 **■ ボタンまたは 停止 ボタン押し、MDへの書き込み動作を完了させる。**

※ 一時停止中の曲を消去することができます。その場合、一時停止中に **EDIT** ボタンまたは **編集** ボタンを押して操作**2**からはじめてください。
動作が完了すると、消去した次の曲番の頭で一時停止状態になります。

1曲消去を止めるには

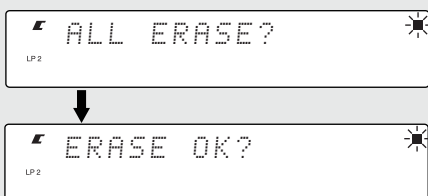
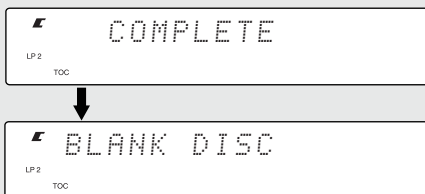
操作4の前に、■ ボタン，停止 ボタンまたは 取消 ボタン押す。

すべての曲を消去するには

1 **MD挿入口に編集するMDを入れ、MD▶/II ボタンまたは MD▶ ボタンを押してから、 ■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。**

- ファンクションが“ MD ”になり、停止状態になります。

2 **停止中に EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押す。**

3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、“ALL ERASE?”が表示されたら、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

4 **もう一度、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押し、全曲消去を確定する。**

5 **■ ボタンまたは 停止 ボタン押し、MDへの書き込み動作を完了させる。**

※ 全曲消去すると、同時にディスク名も消去されます。

全曲消去を止めるには

操作*4*の前に、 ■ ボタン, 停止 ボタンまたは 取消 ボタン押す。

メモ

- 一度消去された曲はTOC情報の書き替えをおこなう前であれば、57ページの“ 編集内容を取り消す ”で元に戻すことができますが、必ず確認してから消去してください。

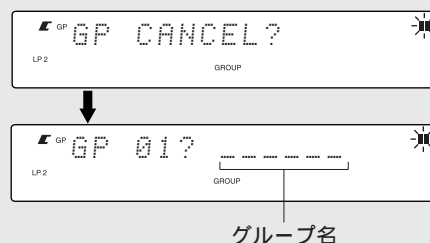
グループ編集機能

指定したグループを解除するには

1 **MD挿入口に編集するMDを入れ、MD▶/II ボタンまたは MD▶ ボタンを押してから、 ■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。**

- ファンクションが“ MD ”になり、停止状態になります。
- ディスプレイに“ GROUP ”表示が点灯していることを確認してください。
消灯しているときは、“ グループとして録音するには ”（☞ 37ページ）の操作*3* で“ ON ”を選択してください。

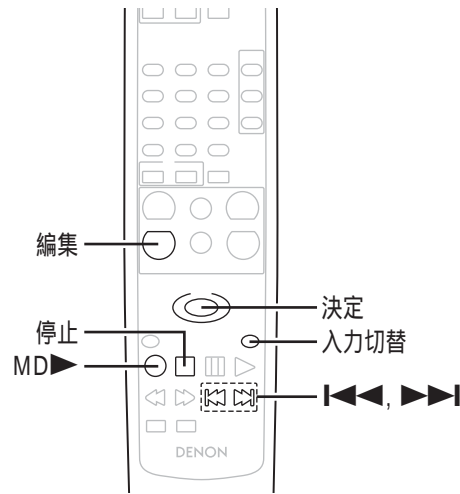
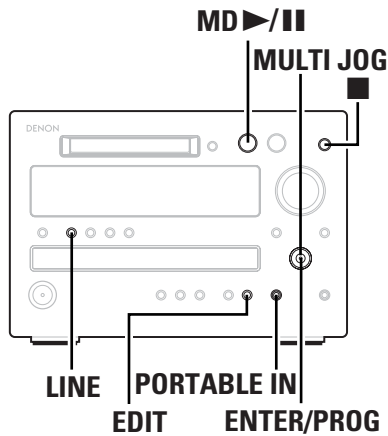
2 **停止中に EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押す。**

3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、“GP CANCEL?”が表示されたら、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

4 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、解除したいグループを設定する。**

［例］グループ3を解除するとき

5 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

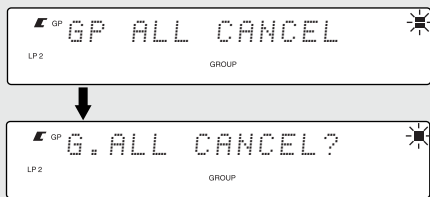
- “COMPLETE”表示後、停止状態になります。

6 **■ ボタンまたは 停止 ボタン押し、MDへの書き込み動作を完了させる。**

すべてのグループを解除するには

1 MD挿入口に編集するMDを入れ、MD▶/II ボタンまたは MD▶ ボタンを押してから、■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。

- ファンクションが“ MD ”になり、停止状態になります。
- ディスプレイに“ GROUP ”表示が点灯していることを確認してください。
  消灯しているときは、“ グループとして録音するには ”（☞ 37ページ）の操作***3*** で“ ON ”を選択してください。

2 停止中に EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押す。

3 MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、“ *GP ALL CANCEL* ”を表示させたら、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

4 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

- “ *COMPLETE* ”表示後、停止状態になります。

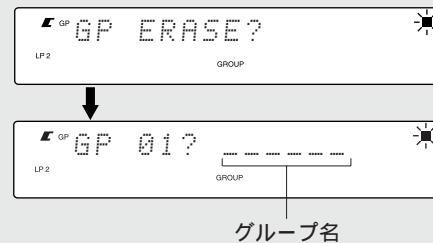
5 ■ ボタンまたは 停止 ボタン押し、MDへの書き込み動作を完了させる。

指定したグループを消去するには

1 MD挿入口に編集するMDを入れ、MD▶/II ボタンまたは MD▶ ボタンを押してから、■ ボタンまたは 停止 ボタン押す。

- ファンクションが“ MD ”になり、停止状態になります。
- ディスプレイに“ GROUP ”表示が点灯していることを確認してください。
  消灯しているときは、“ グループとして録音するには ”（☞ 37ページ）の操作***3*** で“ ON ”を選択してください。

2 停止中に EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押す。

3 MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、“ *GP ERASE?* ”が表示されたら、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

4 MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、消去したいグループを選ぶ。

［例］グループ3を消去したいとき

GP 03? DENON

GROUP

5 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- "ERASE OK?" が表示されます。

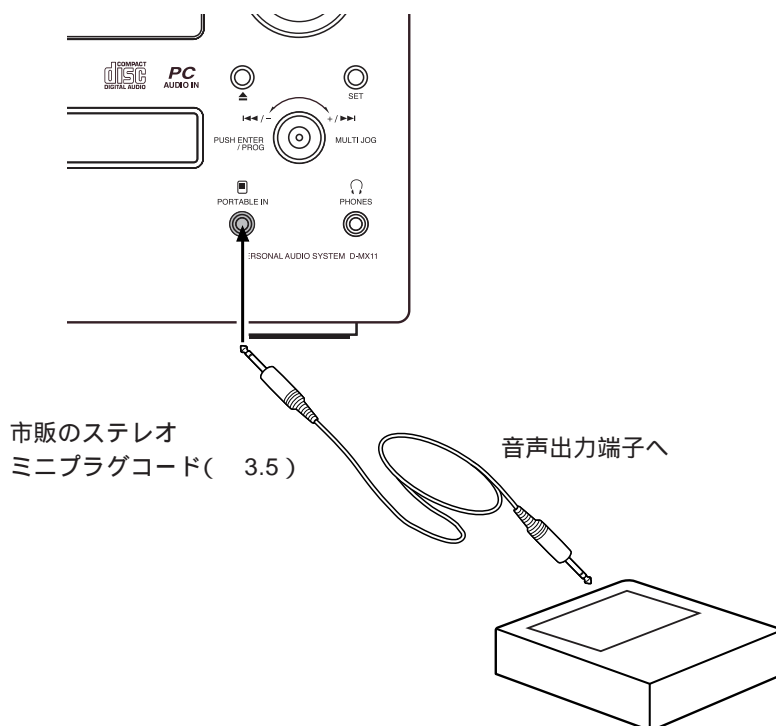
6 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- "COMPLETE" 表示後、停止状態になります。

7 **■ ボタンまたは 停止 ボタン押し、MDへの書き込み動作を完了させる。**

ポータブル機器と接続して使う

お手持ちのポータブル機器の音声出力端子を本機のポータブル入力端子につなぐと、簡単に音楽を楽しむことができます。

- 接続する前に、各機器の電源を切ってください。
- 各プラグは確実に差し込んでください。

1 **ポータブル機器の音声出力端子と本機のPORTABLE IN を接続する。**

2 **LINE ボタンまたは 入力切替 ボタンを押してPORTABLEに切り替える。**

- 音が歪む場合には、音源からの出力レベル（ボリウム）を下げて、本機のボリウムをあげると改善されることがあります。
- ノイズが多い場合には、音源からの出力レベル（ボリウム）を上げて、本機のボリウムを下げると改善されることがあります。

メモ

- 接続前に、各機器の電源を切ってください。
- プラグはしっかりと差し込んでください。不完全な接続は、雑音発生の原因になります。
- 接続コードと電源コードを一緒に束ねますと、ハムや雑音の原因になることがあります。
- **PORTABLE IN** 端子は、ポータブルオーディオプレーヤーの出力レベルに合わせた感度設定になっています。そのため本端子に据置型プレーヤーなど出力レベルの高い音声出力を接続すると、音が歪んだり突然大きな音が出て聴力障害などの原因になることがあります。
- 据置型プレーヤなど出力レベルの高い機器は本機背面の外部機器入力端子をご利用ください。
- **PORTABLE IN** 端子の最大許容入力は1Vrmsです。

他の機器と接続して使う

● 接続する前には、各機器の電源を切ってください。
● 各プラグは確実に差し込んでください。

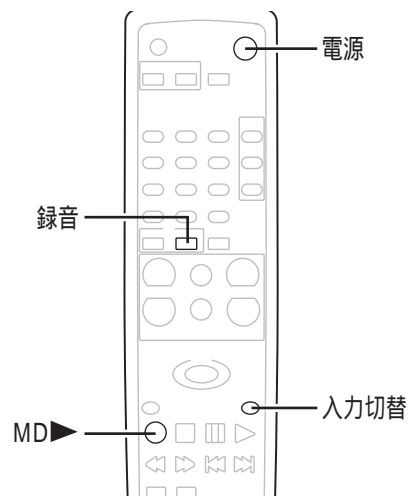
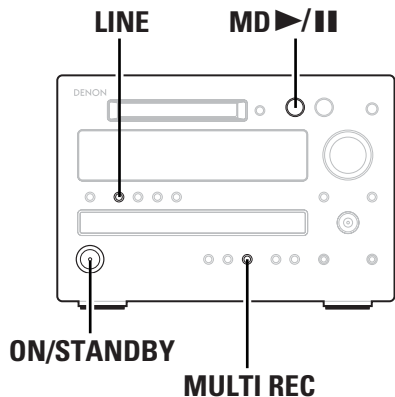
● 本機とカセットデッキ（DRR-M33）をDRR-M33に付属のシステムコードを使ってシステム接続すると、便利なシステム機能が働きます。
● システム機能については79ページを参照してください。
● 動作中にシステムコードなどを抜くと、誤作動の原因となりますので、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後で接続の変更を行ってください。
● 入力切替ボタンを押して選ばれたソースがTAPE OUT端子から出力されます。
● 本機のソースをカセットデッキなどの外部の機器で録音している間は入力切替ボタンを押さないでください。録音するソースが切り替わってしまいます。
● アナログプレーヤーは、フォノイコライザー付きを使用してください。

デジタル出力端子（D-MX11のみ）

● デジタル機器を接続するときは、DIGITAL OUT端子(OPTICAL)に接続します。
● 光デジタル出力端子から出力されるのはファンクションが『CD』の音声信号のみです。
ファンクション『FM/AM』、『TAPE』、『AUX』、『PORTABLE』、『USB』の信号は出力されません。

【本機背面】D-MX11

メモ

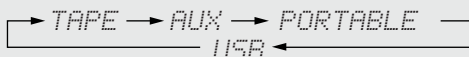
- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないようにしてください。
- 接続コード（ピンコード）のプラグは、図のように正しくLとL（白）、RとR（赤）を接続してください。
- プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は、雑音発生の原因になります。
- スピーカー端子とスピーカーは必ず同じ極性（⊕と⊕、⊖と⊖）を接続してください。極性を間違えて接続しますと、中央の音が抜けたようになり、楽器の定位がはっきりせず、ステレオの方向感が損なわれます。
- 一度電源コードをコンセントから抜いた場合は、約5秒経ってからもう一度コンセントに差し込んでください。
- 接続コードと電源コードを一緒に束ねますと、ハムや雑音の原因になることがあります。
- 大変危険ですので、アンテナ端子やアース端子をガス管に接続しないでください。

他の機器の再生音を聞く

● 接続している機器の電源はあらかじめ入れておいてください。

1 **ON/STANDBY ボタンまたは 電源 ボタンを押して、電源を入れる。**

2 **LINE ボタンまたは 入力切替 ボタンを押して、接続した機器のファンクションを表示させる。**

● 次のように切り替わります。

TAPE → AUX → PORTABLE → USB →（TAPEに戻る）

3 **接続した機器を再生する。**

4 **音量や音質を調整する。**
（☞ 22ページ）

他の機器の再生音を録音する (D-MX33MDのみ)

1 **"他の機器の再生音を聞く" の操作*1*、*2*をおこなう。**

2 **MD挿入口に録音用MDを入れる。**

3 **MULTI REC ボタンまたは 録音 ボタンを押す。**

● 通常録音一時停止状態になります。

※ 必要に応じて録音レベルを調節してください。（☞ 40ページ）

4 **録音を開始する。**
MD►/❚❚ ボタンまたは MD► ボタンを押す。

5 **接続した機器を再生する。**

※ ピックレックをおこなうときは、操作***3***で **MULTI REC** ボタンまたは **録音** ボタンを2回押して、"PICK REC" 表示を点灯させ、**MD►/❚❚** または **MD►** を押してください。
※ ピックレックは、46ページの操作***1***、***2***をおこなって終了させてください。

メモ

● 本機のUSB端子に接続したパソコンからの音声は、本機のMDで録音できません。

パソコンと接続して使う

● USB端子にパソコンを接続することで、パソコンからの音声を聞くことができます。

（1）ご使用の前に

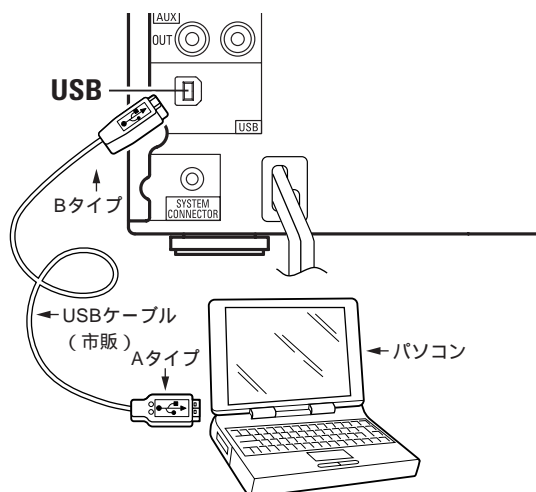
USB接続するためには、次の条件を満たすパソコンが必要です。

- Microsoft社のWindows 98、Windows Me、Windows 2000またはWindows XPの日本語版がプリインストールされていて、USB端子を持ち、CPUがIntel MMX 166MHz以上のパソコン。

本機と接続する前に、次のことを確認してください。

- Windows 98、Windows Me、Windows 2000またはWindows XPの日本語版が正しく起動できること。
- BIOSの設定でUSB機能が『使用する』に、USB IRQが『AUTO』または使用可能なIRQに設定されていること。

※ 必要条件を満たすパソコンであっても、パソコン固有の仕様やお客様の使用環境の違いにより本機が正常に動作しなかったり、正しい音質で再生されない場合があります。
※ MMX、PentiumはIntel Corporationの登録商標です。
※ Microsoft、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XPは、米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。
※ 本文中では、®マークは明記しておりません。

（2）パソコンからの音声を聞く

ご注意

- 本機の **USB** 端子に接続したパソコンからの音声は、本機のMDで録音できません。
- パソコンからの音声が出ているときは、USBケーブルを抜かないでください。故障の原因になります。
- 本機の **入力切替** をUSBに切り替えてからパソコンの音声ファイルの再生をはじめてください。パソコンの音声ファイルの再生中に本機の **入力切替** をUSBに切り替えても音声出力がされない場合があります。

1 パソコンの電源を入れて、起動する。

※正しく起動できることを確認してください。

2 LINE ボタンまたは 入力切替 ボタンを押して、“USB”を選ぶ。

3 USBケーブル（市販品）を使って本機とパソコンを接続する。

※初めて接続したときは、72ページのドライバーのインストールに進んでください。

※2回目以降のときは操作**4**へ進んでください。

4 パソコンに本機が検出されたら、音声ファイルを再生する。

※音声ファイルにはMP3、WMAなどがあります。再生のしかたは、パソコンまたはアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

5 本機で音量や音質の調整をする。

※パソコンの音声ファイルを再生中は、本機の電源を『切』にしないでください。次回電源を『入』にしたときに正しく動作しません。このような場合は、操作**1**からやり直してください。

(3) はじめてパソコンに接続する【ドライバーのインストール】

はじめて本機のUSB端子にパソコンを接続した場合ドライバーをインストールする必要があります。ドライバーのインストールは、パソコンの指示によりおこないます。一度おこなえば次回からはインストールする必要はありません。
パソコンによってはOSインストール用のCD-ROMが必要になる場合があります。
インストールの際にはパソコンに付属の取扱説明書もご覧ください。

ドライバーのインストール

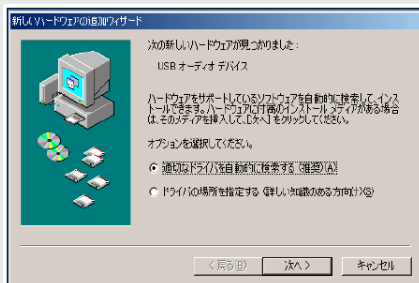
1 **パソコンの電源を入れ、OSを起動させる。**

2 **本機の電源を入れる。**

3 **USBケーブルを使って、本機とパソコンを接続する。(71ページ参照)**

Windows 98、Windows Meのとき

● パソコンが本機を自動検出し、必要なドライバーインストールのウィザードが起動します。

[例] Windows MeでUSBオーディオデバイスのとき

ウィザードでは、特に問題がないときは［次へ］をクリックしていきます。［次へ］がクリックできないとき、またはパソコンのウィンドウに指示が出ているときは、その指示にしたがって操作をしてください。

Windows 2000、Windows XPのとき

● パソコンが本機を自動検出し、必要なデバイス(OS標準のドライバー)が自動的にインストールされます。

※インストールされない場合は、モニターに表示される指示に従って操作してください。

※検出中は、USBケーブルの抜き差しはしないでください。

ご注意

パソコンが本機を検出しないときは

数秒間待っても本機が検出されないときは、USBケーブルをもう一度接続し直してください。それでも検出されないときは、Windows 98、Windows Me、Windows 2000またはWindows XPを再起動してください。

正しくインストールされているか確認する

1 **『スタート』メニューから『設定』→『コントロールパネル』を選び、クリックする。**

2 **コントロールパネルの画面が出てきたら、『システム』のアイコンをダブルクリックする。**

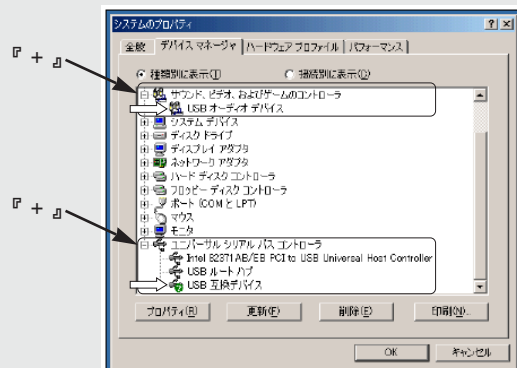
3 **『デバイスマネージャー』のタブをクリックする。**

※ Windows 98、Windows Meのとき、“種類別に表示”にチェックが入っているか確認してください。

4 **各項目の『＋』をクリックして、それぞれの項目内のデバイスを確認する。**

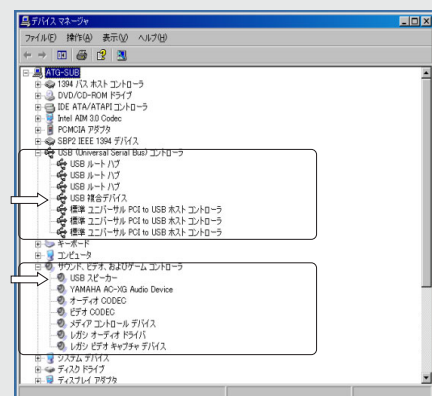
Windows 98、Windows Meのとき

●『サウンド、ビデオおよびゲームのコントローラ』の項目の中に『USBオーディオデバイス』がある。

●『ユニバーサルシリアルバスコントローラ』の項目の中に『USB互換デバイス』がある。

(画面は、Windows Meです。)

Windows 2000、Windows XPのとき

●『USB (Universal Serial Bus) コントローラ』の項目の中に『USB複合デバイス』がある。

●『サラウンド、ビデオおよびゲームコントローラ』の項目の中に『USBスピーカー』がある。

(画面は、Windows XPです。)

(4) パソコンからの音声が聞こえないとき

パソコンからの音声が聞こえないときは、次のことを確認してみてください。

1 **『スタート』メニューから『設定』→『コントロールパネル』を選び、クリックする。**

2

Windows 98、Windows Meのとき

コントロールパネルの画面が出てきたら、『サウンドとマルチメディアのプロパティを選び、ダブルクリックする。

Windows 2000、Windows XPのとき

コントロールパネルの画面が出てきたら、『サウンドとオーディオデバイスのプロパティ』を選び、ダブルクリックする。

3

『サウンドとマルチメディアのプロパティ』の画面が出てきたら、『オーディオ』のタブをクリックする。

『サウンドとオーディオデバイスのプロパティ』の画面が出てきたら、『オーディオ』のタブをクリックする。

4

[再生]の優先するデバイスが『USBオーディオデバイス』になっているか確認する。

[音の再生]の既定のデバイスが『USBスピーカー』になっているか確認する。

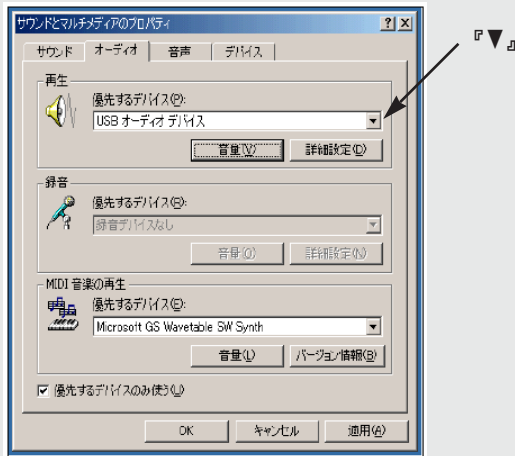
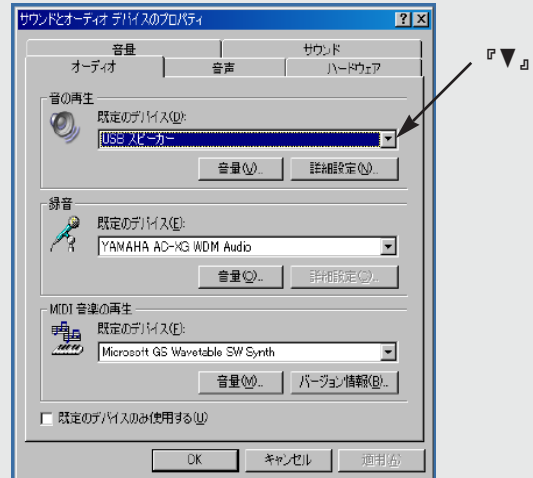
5

なっていない場合

▼ボタンをクリックして、プルダウンメニューの中から『USBオーディオデバイス』を選ぶ。

(画面は、Windows Meです。)

なっていない場合

▼ボタンをクリックして、プルダウンメニューの中から『USBスピーカー』を選ぶ。

(画面は、Windows XPです。)

6

『音量』の項目がある場合は、クリックして音量の設定を確認する。

(画面は、Windows Meです。)

※ 音量が最小になっていたり、『ミュート』にクリックマークがついていないかを確認します。

『音量』の項目がある場合は、クリックして音量の設定を確認する。

(画面は、Windows XPです。)

※ 音量が最小になっていたり、『ミュート』にクリックマークがついていないかを確認します。

ご注意

パソコンの音声ファイルを再生中に本機の **入力切替** をUSBに切り替えた場合やパソコンの音声ファイルを再生中に本機の **入力切替** をいったん他の入力に切り替えてから再度USBに戻した場合、本機の再生音声が出力されない場合があります。
このような場合は、パソコンの音声ファイルの再生をいったん停止してから再度再生をはじめてください。

タイマーの使いかた

- タイマーを利用して次のようなことができます。

音楽で目覚める
◎設定した時刻にCD、ラジオ放送、MD（D-MX33MDのみ）を聞くことができます。

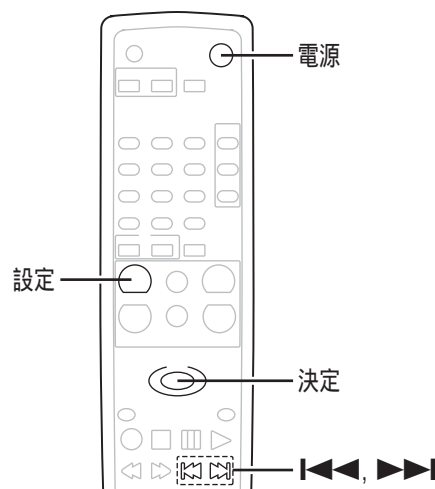
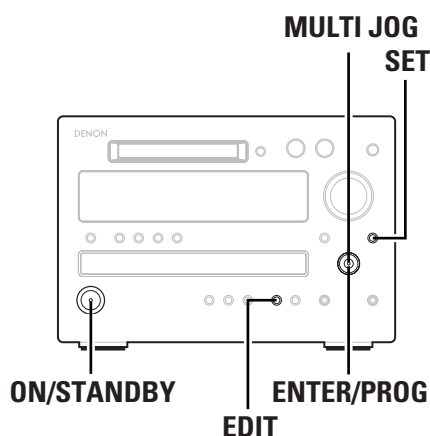
留守中に録音する（D-MX33MDのみ）
◎設定した時刻にラジオ放送をMDに録音することができます。

音楽を聞きながらおやすみになる
◎設定した時刻にCD、ラジオ放送、MD（D-MX33MDのみ）を停止することができます。（スリープタイマー）

タイマーを使う前に

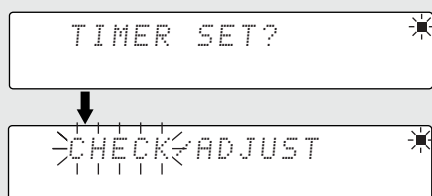
- 必ず現在時刻を設定してください。
  現在時刻を設定していないと、タイマーは使用できません。（スリープタイマーは機能します。）
- 再生や録音の準備をする。（録音はD-MX33MDのみ）
  CDまたはMDを入れてください。
  ラジオ放送を聞いたり録音するときは、放送局を登録してください。

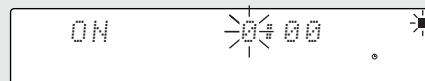
メモ

- 他の機器は、この製品のタイマー設定では操作することができません。
- 電源が“ ON ”の状態では、タイマーは動作しません。
- 次のとき、タイマー録音はできません。（D-MX33MDのみ）
  - ・再生専用のMDが入っているとき
  - ・MDが誤消去防止状態になっているとき
  - ・MDに録音できる部分がないとき
    （“ TITLE FULL ”“ DISC FULL ”状態など）

音楽で目覚めたり、留守中に録音する（録音はD-MX33MDのみ）

タイマーを設定するには

1 **SET ボタンまたは 設定 ボタンを押す。**

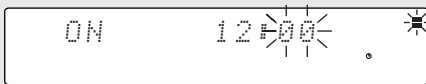
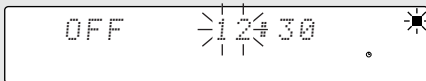
2 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、“ TIMER SET? ”が表示されたら、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、“ ADJUST ”を点滅させ、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

ON　0:00

- 現在時刻が設定されていないと“ CLOCK ERROR ”が表示され、自動的に時間設定モードになります。
  現在時刻設定後、再度操作 ***1*** から設定し直してください。（☞ 24ページ）

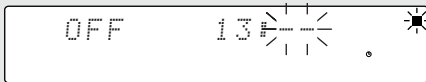
4 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、時の桁を設定し、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

ON 12:00

5 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、分の桁を設定し、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

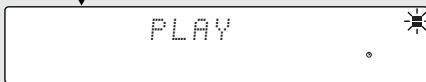
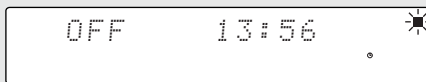
OFF 12:30

- タイマー開始時刻が12時30分に設定されました。

6 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、時の桁を設定し、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

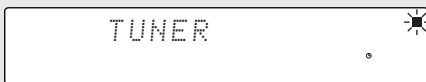
OFF 13:--

7 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、分の桁を設定し、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- タイマー終了時刻が13時56分に設定されました。

OFF 13:56

↓

PLAY

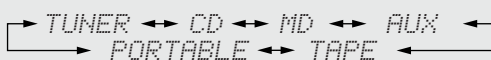
8 **タイマー再生するには**

“PLAY”⇔“REC”の表示切り替えのとき MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押し、“PLAY”表示のとき ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。(表示切り替えはD-MX33MDのみ)

TUNER

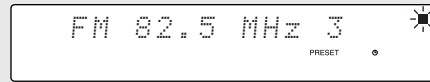
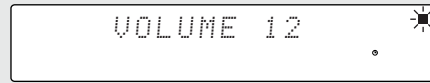
9 **聞きたいソースの設定**

MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して聞きたいソースを選び、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

※ 次のように切り替わります。
(MDはD-MX33MDのみ)

→ TUNER ↔ CD ↔ MD ↔ AUX ←
PORTABLE ↔ TAPE ←

- “ TUNER ” を選んだときは…
操作**10**に進んでください。
- “ CD ”“ MD ”“ AUX ”“ TAPE ”“ PORTABLE ” を選んだときは…
- 操作**12**に進んでください。

10 **TUNERを選んだとき**

MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、プリセット番号を選ぶ。

FM 82.5 MHz 3
PRESET

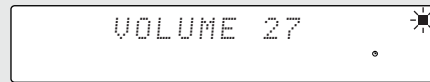
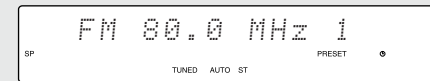
11 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

VOLUME 12

12 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押し、ボリウムレベルを調整する。**

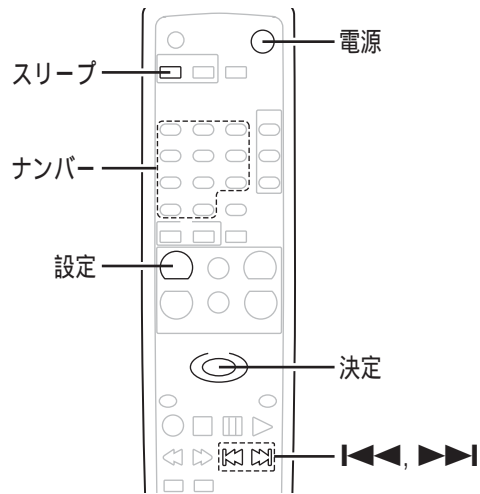
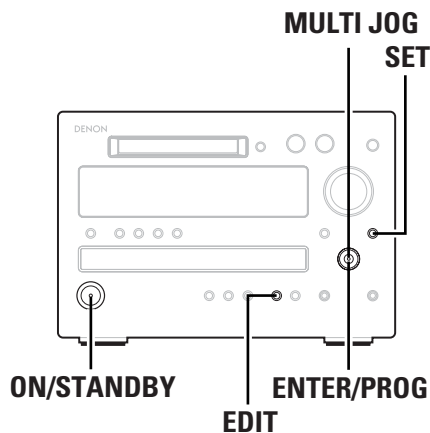
VOLUME 27

13 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

FM 80.0 MHz 1
SP PRESET
TUNED AUTO ST

- タイマー設定項目が表示された後、タイマー設定前の表示に戻ります。

14 **ON/STANDBY ボタンまたは 電源 ボタンを押して、タイマー動作に入る。**

- タイマー“ ON ” となり、 **ON/STANDBY** ボタンのインジケーターが点灯（オレンジ色）になります。

※ タイマー予約はスタンバイ状態でもおこなうことができます。(**13**の操作後、自動的にタイマー動作に入ります。)
※ MDまたはCDが入っていない状態でタイマーがはじまったとき、本機はチューナーモードになります。
※ 停電になったときや電源コードをコンセントから抜いたときには、タイマーの設定は消えてしまうことがあります。
※ タイマーおよびチューナーのプリセット内容が消えていた場合は、もう一度プリセットし直してください。

タイマーの予約内容を確認するには

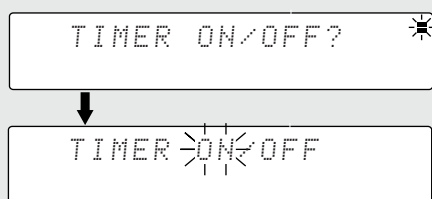
"タイマーを設定するには"（☞ 74ページ）の操作*3*で"CHECK"を点滅させ、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

- 設定内容が確認できます。

タイマーを解除するには

タイマーを"OFF"にする。

1 **SET ボタンまたは 設定 ボタンを押す。**

2 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、|◀◀, ▶▶| ボタンを押して、"TIMER ON/OFF?"が表示されたら、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- **MULTI JOG** ダイヤルを回すか、|◀◀, ▶▶| ボタンを押すと"ON"、"OFF"を選択できます。

3 **"OFF"を点滅させて、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

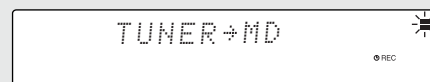
留守中に録音するには(D-MX33MDのみ)

1 **ON/STANDBY ボタンまたは 電源 ボタンを押して、電源を入れる。**

2 **MD挿入口に録音用MDを入れる。**

3 **"タイマーを設定するには"（☞ 74ページ）の*1～7*の操作をおこなう。**

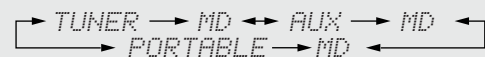
4 **タイマー録音するとき**

MULTI JOG ダイヤルを回すか、|◀◀, ▶▶| ボタンを押して、"REC"表示のとき、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

TUNER→MD

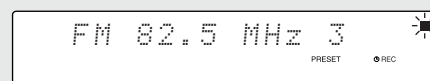
5 **録音したいソースを設定するとき**

MULTI JOG ダイヤルを回すか、|◀◀, ▶▶| ボタンを押して、録音したいソースを選び、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

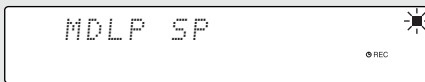
※ 次のように切り替わります。

→ TUNER → MD ↔ AUX → MD → PORTABLE → MD →

- "TUNER→MD"を選んだときは…
  操作*6*に進んでください。
- "AUX→MD""PORTABLE→MD"を選んだときは…
  操作*8*に進んでください。

6 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、|◀◀, ▶▶| ボタン押して、プリセット番号を選ぶ。**

FM 82.5 MHz 3

- **ナンバー** ボタンではプリセット番号を選べません。

7 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

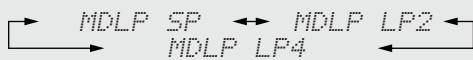
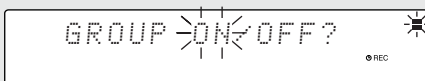
MDLP SP

8 **録音モードの設定するとき**

MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、録音モードを選ぶ。

- 録音モードは、次のように切り替わります。

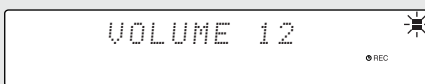
MDLP SP ↔ MDLP LP2 → MDLP LP4 → MDLP SP

9 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

GROUP ON OFF?

10 **グループとして登録するか選択するとき**

MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、選択する方を点滅させる。

11 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

VOLUME 12

12 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀, ▶▶I ボタンを押して、ボリウムレベルを調整する。**

- 録音レベルには影響しません。

13 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- タイマーの設定内容を順次表示され、タイマー設定前の表示に戻ります。

14

FM 80.0 MHz 1

ON/STANDBY ボタンまたは 電源 ボタンを押して、タイマー動作に入る。

- タイマー“ ON ”となり、 **ON/STANDBY** ボタンのインジケーターが点灯（オレンジ色）になります。

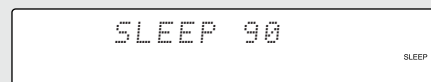
※ タイマー予約は、スタンバイ状態でもおこなうことができます。（*13* の操作後、自動的にタイマー動作に入ります。）
※ タイマー録音をおこなう前に、必要に応じてあらかじめ録音レベルを調整してください。（☞ 40ページ）
※ MDまたはCDが入っていない状態でタイマーがはじまったとき、本機はチューナーモードになります。
※ 停電になったときや電源コードをコンセントから抜いたときには、タイマーの設定は消えてしまうことがあります。
※ タイマーおよびチューナーのプリセット内容が消えていた場合は、もう一度プリセットし直してください。
※ 録音済みのMDを使用するときは、録音可能時間を確認してください。（録音モード（SP/LP2/LP4）で、録音可能時間が異なります。）
※ MDへの録音は、タイマー開始時刻から約10秒後に録音をはじめます。
録音ミスを防ぐため、番組がはじまる1分程度前の時刻に合わせることをおすすめします。

音楽を聞きながらおやすみになる（スリープ）

電源が切れる時間を10分間隔で最大90分まで予約することができます。

[例] 80分後に電源を切るとき

1 **聞きたい音楽を再生中に スリープ ボタンを押す。**

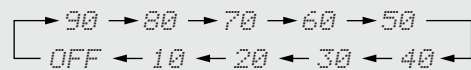
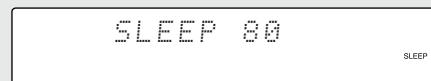
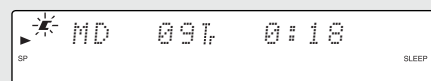
SLEEP 90

- ボタンを押すたびに次のように表示が切り替わります。

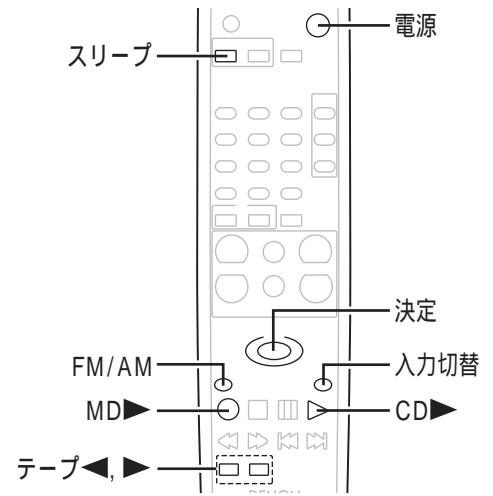
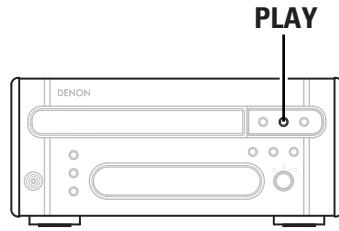
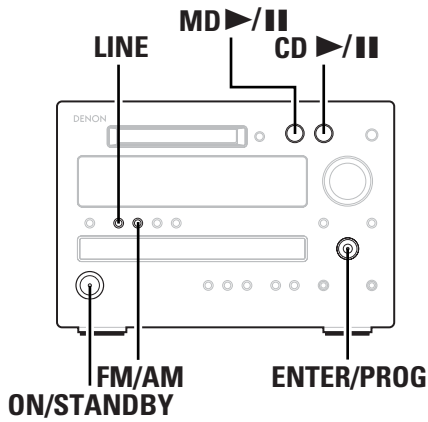
90 → 80 → 70 → 60 → 50 → 40 → 30 → 20 → 10 → OFF → 90

2 **“ SLEEP 80 ”を表示させる。**

SLEEP 80

3 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

MD 09Tr 0:18

- ディスプレイが暗くなり、スリープ設定前の表示に戻ります。

※ スリープタイマーのときは、ディスプレイの表示は明るくできません。

スリープタイマー動作をおこなわないときには

操作 *1* で“SLEEP OFF”を選び、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。
ON/STANDBY ボタンまたは 電源 ボタンを押して、電源を切る。

スリープ時間を確認するには

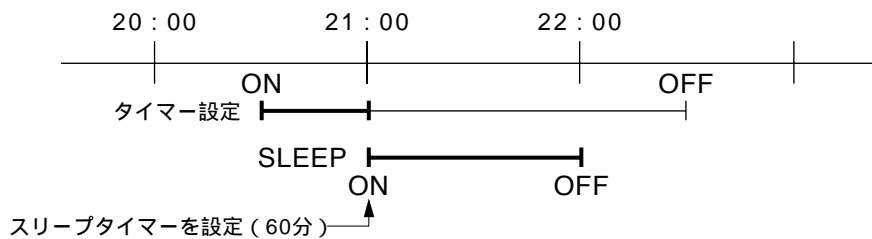
スリープ ボタンを押す。

- 電源が切れるまでの時間を約5秒間表示します。

メモ

- スリープタイマーとタイマーの設定時刻が重なっている場合はスリープタイマーが優先されます。

タイマーとスリープタイマーの優先順位について

タイマーの終了時刻は、スリープタイマーが優先します。（太線が実行を表します。）

タイマー中でも、タイマーで設定された終了時刻より早くスリープタイマーの残り時間がなくなると、その時点でタイマーは終了します。

システム機能について

本機を別売りのカセットデッキ（DRR-M33）とシステム接続するとさらに使いやすさが向上します。(接続のしかたは68、69ページの " 他の機器と接続して使う " を参照してください。)

オートパワーオン機能

本機とカセットデッキの電源がスタンバイ状態のとき、カセットデッキ（DRR-M33）の **PLAY** ボタンまたはリモコンの **テープ ◀, ▶** ボタンを押すだけで本機とカセットデッキの電源が入り、カセットデッキにカセットテープがセットされていればカセットテープの再生をおこなうことができます。

本機とカセットデッキ（DRR-M33）がスタンバイ状態のとき、リモコンの テープ ◀, ▶ ボタンを押す。

メモ

- 本機とカセットデッキがスタンバイ状態のとき、本機の電源をオンにしてもカセットデッキの電源は連動してオンにはなりません。

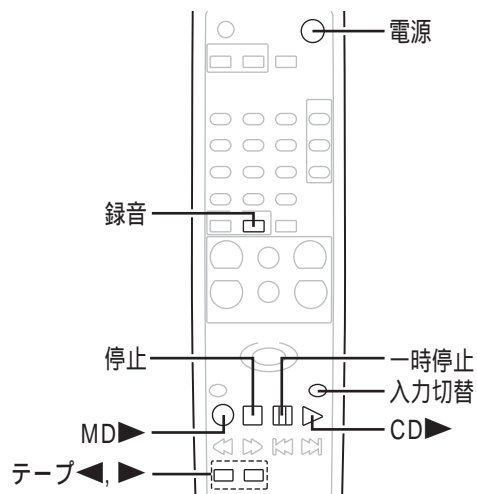
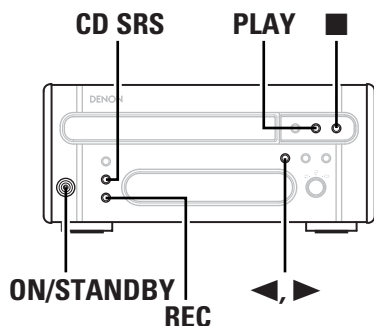
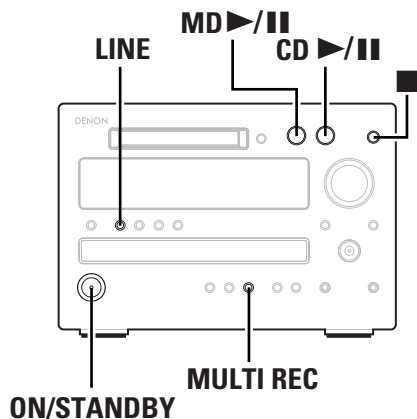
オートファンクション機能

ボタン1つの操作で再生するファンクションを切り替えることができます。

カセットデッキの再生中に MD▶/II ボタン（D-MX33MDのみ） MD▶ ボタン（D-MX33MDのみ）, CD▶/II ボタン CD▶ ボタン, LINE ボタン, 入力切替 ボタン LINE ボタン, FM/AM ボタンのいずれかを押す。

- カセットデッキの再生が停止します。同時に本機のファンクションが切り替わります。" CD " または " MD " に切り替えたときディスクが本機にセットされていれば再生をはじめます。

メモ

- 本機のファンクションソースを聞いているときに、本機にシステム接続されたカセットデッキ（DRR-M33）の **PLAY** ボタンを押した場合も同様にオートファンクション機能が働き、カセットテープがセットされていれば再生をはじめます。
- AUXやOPT出力端子に接続された外部機器に対しては、オートファンクション機能は働きません。

CD、 MD→TAPE録音機能（本機、DRR-M33、システムコード接続時）

CDまたはMDを簡単にカセットテープに録音することができます。（MDはD-MX33MDのみ）

1 同期録音機能

CDまたはMDをカセットテープに録音します。

1 **ON/STANDBY ボタンまたは 電源 ボタンを押して、電源を入れる。**

2 **カセットテープに録音したいCDもしくはMDを本機に入れる。**

3 **カセットホルダーを開けて、録音するカセットテープを載せ、カセットホルダーを閉じる。**

4 **カセットデッキの REC ボタン(DRR-M33)を1回押して、録音一時停止状態にする。**

5 **CD►/II ボタン, CD► ボタン, MD►/II ボタンまたは MD► ボタンを押す。**

- 自動的にCDまたはMDの録音をはじめます。

※ CDまたはMDの再生が終わると、録音一時停止状態になります。

※ 途中で録音を止めるときは、カセットデッキの ■ ボタンを押してください。

2 シンクロ録音機能（CDのみ）

CDをカセットテープに録音します。

1 **録音したいCDについて 1の*1～3*と同じ操作をおこなう。**

2 **カセットデッキ（DRR-M33）の CD SRS ボタンを押す。**

- 自動的にCDの録音をはじめます。

※ CDに収録されているすべての曲の再生が終わると、本機とカセットデッキは自動的に停止します。

※ また、CDの再生が終わらないうちにカセットテープ一杯に録音されたときも、本機とカセットデッキは自動的に停止します。

※ シンクロ録音を止めるときは、本機またはカセットデッキの ■ ボタンを押してください。

メモ

- プログラム再生モードのとき、シンクロ録音機能は動作しません。また、ランダム再生モードのときは、モードを解除して動作します。

TAPE→MD同期録音機能（本機、DRR-M33、システムコード接続時）

本機をMD録音一時停止状態にして、カセットデッキの **PLAY** ボタンまたはリモコンの **テープ** ◀, ▶ ボタンを押すと自動的に録音がはじまります。（D-MX33MDのみ）

1 **ON/STANDBY ボタンまたは 電源 ボタンを押す。**

2 **本機のディスク挿入口に、録音するディスクを入れる。**

3 **LINE ボタンまたは 入力切替 ボタンを押して、TAPEを選ぶ。**

4 **MULTI REC ボタンまたは 録音 ボタンを1回押して、録音一時停止状態する。**

5 **カセットデッキ（DRR-M33）の PLAY ボタンまたはリモコンの テープ ◀, ▶ ボタンを押す。**
- 自動的に録音をはじめます。
- カセットデッキの再生が終わると本機は自動的に録音一時停止状態になります。

※ **途中で録音を止めるときは**、カセットデッキの ■ ボタンを押して、カセットテープの再生を停止させてください。本機は録音一時停止状態になります。

※ **録音を止めるときは**、本機の ■ ボタンまたはリモコンの **停止** ボタンを押してください。TOC情報の書き込みがおこなわれます。

メモ

- 録音終了後、TOC情報の書き込みをはじめると“ TOC ”表示が点滅しますので、このとき本機に振動を与えたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。録音された内容が損なわれたり、正しく記録されないことがあります。
- 編集をおこなった後、TOCの記録をおこなわないと“ Write UTOC ”が表示され、録音モードには入れません。

タイマー再生機能（本機、DRR-M33、システムコード接続時）

設定された時間にカセットテープ再生をおこなうことができます。

1 **カセットデッキの ON/STANDBY ボタンを押す。**

2 **カセットデッキのカセットホルダーにタイマー再生をおこなうカセットテープをセットする。**

3 **カセットデッキ（DRR-M33）の テープ ◀, ▶ ボタンまたはリモコンの テープ ◀, ▶ ボタンを押して、テープの走行方向を切り替える。**

4 **リバースモードを設定する。**
- DRR-M33の取扱説明書を参照ください。

5 **ドルビーNRモードを設定する。**
- DRR-M33の取扱説明書を参照ください。

6 **74ページの“ タイマーを設定するには ”を参照して、タイマー再生するソースを“ TAPE ”に設定する。**

その他

MDの規格上の制約について

MDの規格は、カセットデッキなどの従来の録音方式と異なる方式でおこなわれます。そのため、いくつかの規格上の制約があります。次のような現象が出ても故障ではありませんので、ご了承ください。

曲数の制約

- 何も録音されていないMDやディスク名だけで何も録音されていないMDに1曲目から順次録音した場合は、最大255曲まで録音できます。しかし、編集を多く繰り返したりすると255曲まで録音できなくなることがあります。
- デジタル録音のとき、エンファシス情報などの入切が多いと曲の区切りと同じ扱い（曲番は変わらない）になり、録音時間や曲数に関わらず録音できなくなることがあります。

録音機能の制約

- MDの最大録音時間に達しなくても、曲数が255になるとこれ以上録音できません。
- 録音は、約2秒単位でおこなわれます。それに満たない部分でも約2秒間分のディスクスペースを使用しますので、実際に録音できる時間は短くなります。
- MDに傷があるとその部分は録音できませんので、その分の時間が減ります。
- CDをデジタル録音するとき、CDの録音内容により数秒程度の無音部ができることがあり、曲数がCDと異なることがあります。
- 短い曲を消去してもMDの残り時間が増えないことがあります。これはMDの残り時間を表示するとき、12秒以下の部分を無視するためです。

編集機能の制約

- 編集をおこなってできた短い曲を結合できない場合があります。
- CDから録音した曲（デジタル録音）とラジオ放送から録音した曲（アナログ録音）をつなぐことはできません。
- 録音モード（標準録音（SP）、2倍長時間録音（LP2）、4倍長時間録音（LP4））の異なる曲をつなぐことはできません。
- 録音や編集を繰り返したMDでは、マニュアルサーチ中に音が途切れることがあります。

故障かな？と思ったら

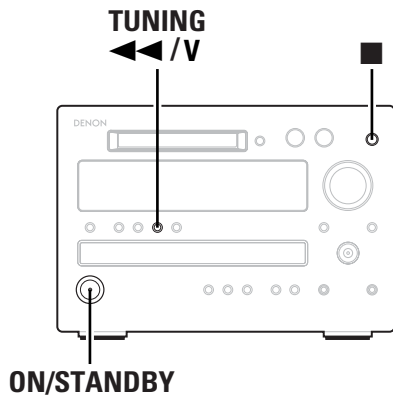
故障？と思っても、もう一度確かめてみましょう

■各接続は正しいですか
■取扱説明書に従って正しく操作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜きとり、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、販売店でおわかりにならない場合は、当社のお客様相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

	現　象	原　因	処　置	関連ページ
共通部	電源が入らない。	●電源プラグがコンセントから外れている。	●電源プラグをコンセントに差し込んでください。	18
	スピーカーから音が出ない。	●音量を最小にしている。 ●ヘッドホンが差し込まれている。 ●スピーカーケーブルの接続が不完全である。	●適当な音量にしてください。 ●ヘッドホンを外してください。 ●しっかり接続してください。	22 23 18、20
	高音が出ない。 音源の位置が不明瞭。	●スピーカーの極性（⊕ ⊖）が合っていない。	●スピーカーケーブルを正しく接続してください。	18、20

	現　象	原　因	処　置	関連ページ
共通部	リモコンが動作しない。	●電源が入っていない。 ●乾電池が正しく入っていない。 ●乾電池が消耗している。	●電源を入れてください。 ●乾電池を正しく入れ直してください。 ●新しい乾電池に入れ替えてください。	21 17 17
	スタンバイ状態になり、電源表示インジケーターが点滅する。	●保護回路（☞ 19ページ）が動作している。	●電源プラグを抜いて、本体側、スピーカー側のコードを差し直してください。 ●電源プラグを抜いて配線や接続を確認してください。 ●電源プラグを抜いて本体が冷えるのをまって、周囲の通風状態を良くしてから、もう一度電源を入れ直してください。	20 18〜20 18
チューナー部	FM放送に"ザー"という音が入る。	●アンテナの方向が悪い。 ●放送局の電波が弱い。	●アンテナの方向を変えてください。 ●屋外アンテナを接続してください。	19 18、19
	AM放送に"シー"や"ザー"という音が入る。	●テレビなどから雑音が入る。 ●放送局の干渉音が聞こえる。	●テレビを消してください。 ●AM用ループアンテナの向きを変えてください。 ●屋外アンテナを接続してください。	ー 19 18、19
	AM放送に"ブーン"という雑音（ハム）が入る。	●電源コードを伝わってくる電波が電源周波数によって変調を受ける。	●電源プラグの方向を逆に差し込んでみてください。	ー
CDプレーヤー部	操作ボタンを押しても、動作しない。 曲の途中で止まってしまい、正しい再生をしなくなる。	●CDの裏表を間違えている。 ●ディスクホルダーの中に異物が入っている。 ●CDが汚れている。 ●CDに傷がある。	●CDを入れ直してください。 ●CDを取り出し、異物を取り除いてください。 ●CDをクリーニングしてください。 ●傷のないCDと交換してください。	27 8 8 8
	再生音が途切れる。	●CDにほこりや指紋、つばなどが付いている。 ●CDに傷がある。 ●振動の多い、不安定な場所に置いてある。	●CDをクリーニングしてください。 ●傷のないCDと交換してください。 ●振動の少ない安定した場所に置き換えてください。	8 8 ー
	再生音に"ブーン"という音が混じる。	●電源コードを伝わってくる電波が電源周波数によって変調を受ける。	●電源プラグの方向を逆に差し込んでみてください。	ー
※MDレコーダー部	操作できない。	●MDが入っていない。 ●MDが損傷または汚れている。	●MDを入れてください。 ●他のMDと取り替えてください。	30 9
	再生できない。	●MDに録音されていない。 （"BLANK DISC"または"NO TRACKS"が表示されます。）	●録音されているMDと取り替えてください。	85
	録音できない。	●MDが誤録音防止状態になっている。 （"PROTECTED"が表示されます。） ●MDに残り時間がない。 （"DISC FULL"が表示されます。） ●255曲収録されたMDに録音しようとしている。 （"DISC FULL"が表示されます。） ●デジタル録音されたソースをデジタル録音しようとしている。 （"COPY PROHIBIT"が表示されます。）	●MDの誤録音防止ツメをずらして、孔を閉じた状態にしてください。 ●MDを取り替えてください。 不要な部分があれば消去して、録音時間を確保してください。 ●MDを取り替えてください。 不要な部分があれば消去して、録音時間を確保してください。 ●SCMSにより、デジタル録音することはできません。アナログ録音に切り替えて録音してください。	9、85 64、65、85 64、65、85 10、85
USB部	音が途切れる。 パソコンの画面がフリーズする。	●音楽再生用ソフト以外のソフトを開いている。	●音楽再生用ソフト以外のソフトを閉じてください。 ●音楽再生用のソフトを軽いものにしてください。	ー ー
	音が出ない。	●パソコン本体の音量、音楽ソフトの音量を絞り込んでいる。 ●オーディオのプロパティの再生項目にある優先デバイスがUSBオーディオデバイス（USBスピーカー）になっていない。	●パソコン本体の音量、音楽ソフトの音量を調整してください。 ●優先するデバイスを『USBオーディオデバイス（USBスピーカー）』にしてください。	73 72

※は、D-MX33MDのみです。

異常が起きたら

この製品を使用中に強い外来ノイズ（衝撃、過大な静電気または落雷による電源電圧の異常など）を受けたときや誤った操作をしたときなどに正しく表示しなくなったり、操作を受け付けなくなるなどの異常が発生することがあります。
このようなときは、次のようにリセット操作をしてください。

1 電源コードをつないだまま **ON/STANDBY** ボタンを押して、電源を " 切 " にする。

2 ■ ボタン→ **◀◀ /V ボタン**→ ■ ボタンの順序で約2秒以内にボタンを押す。
- " CLEAR " が表示され、本機がリセットされます。

CLEAR

※ リセットすると、登録した内容はすべて消えます。
※ 万一、異常な音・におい・煙りが出たときや異物が中に入ったときには、電源を切り、電源コードを抜いてお買い上げの販売店に連絡してください。

保証とサービスについて

1 この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますので、ご注意ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。

※修理相談窓口については、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

5 お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

6 この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

7 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
※当社製品のお問い合わせについては、お客様相談窓口にご連絡ください。
詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

メッセージについて

MDのメッセージ（D-MX33MDのみ）

メッセージ	内　　容
MD 001 00:00	● MDが入っていません。
DISC FULL	● MDの残り時間がなくなりました。 ● 曲数が255曲を超えてしまいました。
TITLE FULL	● グループ名/ディスク名/曲名が100文字を超えています。 ● グループ名/ディスク名/曲名として入力した文字の合計が最大1700文字を超えています。 ● タイトル入力の文字数の制限により、NEW GROUP、GROUP MODIFY、MOVE、DIVIDEの編集ができません。
BLANK DISC	● 何も録音されていないMDが入っています。
NO TRACKS	● ディスク名はありますが、曲が入っていません。
READING	● TOC情報を読み込んでいます。
WRITING	● 編集または録音時の各種情報を書き込んでいます。
DISC ERROR	● 記録されているTOC情報がMDの規格に合っていないか、他の障害により読み込むことができません。
CANNOT EDIT	● 編集できません。
CANNOT JOINT	● つなごうとしている曲の録音モードが異なっているため、曲をつなぐことができません。 ● デジタル入力から録音された曲とアナログ入力から録音された曲は、つなぐことができません。
CANNOT REC	● MDが動作中（READING、WRITINGなど）のため録音できません。 ● MDまたはCDが入っていないため、録音できません。 ● USB端子に接続したパソコンからの音声は、D-MX33MDのMDでは録音できません。
CANNOT SRS	● MDが動作中（READING、WRITINGなど）のためSRS録音できません。 ● MDまたはCDが入っていないため、SRS録音できません。 ● 高速録音を始めて74分以内に101曲目を録音しようとしています。
PROTECTED	● MD誤録音防止状態になっています。 ● 255曲入りのMDをALL ERASEしようとしています。 （このような場合は、曲数を減らしてからALL ERASEをおこなってください。）
PLAY ONLY	● 再生専用MDに録音や編集操作をおこなっています。
COPY PROHIBIT	● SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）により、デジタルコピー禁止のソースです。
ALREADY DUBB.	● 再生/録音用MDである曲を高速録音すると、録音をはじめた時点から74分間は、同一の曲を高速録音できません。
WAIT ○○MIN	● HCMS（ハイスピードコピーマネージメントシステム）が解除されるまでの時間です。
NOT AUDIO	● オーディオ用の信号ではありません。
GROUP OVER	● 登録されているグループ数がすでに99グループを超えてグループの追加/編集ができません。
CANNOT GROUP	● 登録されているグループ数がすでに99グループを超えて録音後、グループの登録ができません。 ● タイトル入力の文字数の制限により、録音後、グループの登録ができません。
NO GROUP	● グループ管理のないMDで、1-GROUPモードには入れません。
DIN UNLOCK	● 外部光入力端子からの信号が無いので録音できません。
REC ERROR	● SRS録音中、CDのフォーカスエラーが発生して、録音できません。
FULL	● プログラムされている曲数がすでに25曲を超えているため、プログラムの追加ができません。 ● すべてのグループをプログラムしているため、プログラムの追加ができません。

CDのメッセージ

メッセージ	内容
CD 001 00:00	●CDが入っていません。
CD SAME TRACK	●同じ曲をプログラムして、高速録音しようとしています。(D-MX33MDのみ)
ERROR	●CDメカが正しく働いていません。 ●電源を切って、再度電源を入れてください。
FULL	●プログラムされている曲数がすでに25曲を超えているため、プログラムの追加ができません。
DISC CHECKING	●SCMS(シリアルコピーマネージメントシステム)信号を確認しています。(D-MX33MDのみ)

著作権についてのご注意

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

■放送やCD、その他の録音物(ミュージックテープ、カラオケテープなど)の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。

■従って、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利(店のBGMなど)のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。

■使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、『日本音楽著作権協会』(JASRAC)の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問い合わせ先
(社)私的録音補償金管理協会
☎ 03(5353)0336

(社)日本音楽著作権協会(JASRAC)

支部	電話
本部	☎ 03(3481)2121
北海道支部	☎ 011(221)5088
盛岡支部	☎ 019(652)3201
仙台支部	☎ 022(264)2266
長野支部	☎ 026(225)7111
大宮支部	☎ 048(643)5461
上野支部	☎ 03(3832)1033
東京支部	☎ 03(3562)4455
西東京支部	☎ 03(5321)9530
東京イベント・コンサート支部	☎ 03(5321)9881
立川支部	☎ 042(529)1500
横浜支部	☎ 045(662)6551
静岡支部	☎ 054(254)2621
中部支部	☎ 052(583)7590
北陸支部	☎ 076(221)3602
京都支部	☎ 075(251)0134
大阪支部	☎ 06(6244)0351
神戸支部	☎ 078(322)0561
中国支部	☎ 082(249)6362
四国支部	☎ 087(821)9191
九州支部	☎ 092(441)2285
鹿児島支部	☎ 099(224)6211
那覇支部	☎ 098(863)1228

主な仕様

センター部（CMR-MX33MD/RCD-MX11）

《CDプレーヤー部》

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
サンプリング周波数	44.1kHz
チャンネル数	2チャンネル、ステレオ
周波数特性	20Hz～20kHz

《MDレコーダー部》（CMR-MX33MDのみ）

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
サンプリング周波数	44.1kHz
音声圧縮/伸長方式	ATRAC/ ATRAC3　24ビット演算方式
チャンネル数	2チャンネル、ステレオ
周波数特性	20Hz～20kHz

《チューナー部》

受信周波数	FM：76.0～108.0MHz AM：522～1629kHz
アンテナ	FM：75Ω不平衡型 AM：ループアンテナ

《アンプ部》

音声入力端子	TAPE（IN） AUX（IN） PORTABLE IN
音声出力端子	TAPE（OUT） AUX（OUT） ヘッドホン スピーカー（1系統）
デジタル音声出力	光出力端子（1系統） (RCD-MX11のみ)
実用最大出力	20W＋20W（JEITA 6Ω）

《タイマー部》

タイマー形式	エブリデイタイマー （オン/オフ1日1動作）
スリープタイマー	10、20、30、40、50、60、70、80、90分
時計表示	24時間表示 （時計精度　月差1～2分）

《共通部》

最大外形寸法	（幅）　210mm （高さ）　145mm （奥行き）345mm
質量	約6.4kg（CMR-MX33MD） 約6.1kg（RCD-MX11）

スピーカー部（SC-MX33）：1台当たり

形式	2ウェイ・2スピーカー バスレフ型・防磁設計
スピーカー	ウーハー　：14cm　コーン形×1 ツィーター：2.5cm　ドーム形×1
入力インピーダンス	6Ω
最大入力	50W
最大外形寸法	（幅）　160mm （高さ）　270mm （奥行き）231mm
質量	約2.9kg

パーソナルオーディオシステム部（D-MX33MD/D-MX11）

電源	AC 100V（50/60Hz共用）
消費電力	電源　入（ON）時： 55W (D-MX33MD) 50W (D-MX11) （電気用品安全法による） 待機（スタンバイ）時：1.0W以下
最大外形寸法	（幅）　530mm （高さ）　270mm （奥行き）345mm
質量	12.2kg (D-MX33MD) 11.9kg (D-MX11)

リモコンユニット部（RC-1012/RC-1086）

リモコン方式	赤外線パルス式
電源	DC 3V　単4形乾電池2本使用
最大外形寸法	（幅）　50mm （高さ）　200mm （奥行き）28mm
質量	120g

■※JEITA：（社）電子情報技術産業協会（略称：JEITA）が制定した規格です。

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。
※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。
※本機は国内仕様です。
必ずAC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。
AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。

ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

株式会社デノンコンシューマー マーケティング

本　社　〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2
茅場町タワー 14F

お客様相談センター　TEL：045-670-5555
【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】
受付時間　9：30〜12：00、12：45〜17：30
（弊社休日および祝日を除く、月〜金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の URL でもご確認できます。

http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください。

購入店名：	電話（　-　-　）
ご購入年月日：	年　月　日

Printed in China　00D 511 4674 107B